科目名:MG22L1L02　キャリアデザインⅡ	担当者:茶谷 淳一、高谷 邦彦、辻 広志、綾部 六郎、山下 玲香、小出 祥子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
各回ごとに専門家をお招きし、15回にわたっておカネの授業を行います。卒業して社会人になるとすぐ必要となる金融に関する知識を学び、将来を見据え、有効により良い暮らしを送るために、金融に関する知識と判断力を身につけます。

授業の到達目標
この授業は社会生活を送る上で必要とされる知識と、新しいことを学び続ける姿勢を養うことを目的としています。講演会を通して学ぶ姿勢を強化し、また金融知識を身につけることで卒業後、社会生活を不安なくスタートすることができるようになることが目標です。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
①事前、moodleある資料をダウンロード・プリントアウトし目を通しておくこと。授業中はその資料に適宜メモをすること。授業後はメモを記入した資料をもとに授業を振り返りながら、moodleのクイズにすべて正解するまで回答すること。②毎回の授業の受講前、または受講後、オンライン講座「gacco」の「マネビタ」を受講し、期限までに修了証を入手すること、以上の学習を4時間行うこと。

評価方法
毎回の授業のクイズ75％（各回5点）、ライフデザイン見直しワークシート提出15％（15点）、マネビタ修了証の提出10％（10点）。各クイズは答え合わせ時にmoodleで、ワークシートは授業時にフィードバックします。

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
この授業のガイダンスは後期ガイダンスと同時にmoodleで行います。各回の授業内容が開講までに変更される可能性があります。ガイダンスで配布するスケジュール表で日程を確認すること。

01	あなたの夢の実現と持続可能な社会の形成に向けて　～なぜ金融リテラシーが必要か？
02	キャッシュレス決済
03	金利の基礎、金利と経済
04	ライフプランを描く①生活設計
05	ライフプランを描く②家計管理
06	お金を借りる①ローンの基礎
07	お金を借りる②クレジットカード
08	お金を借りる③住宅ローン
09	お金を借りる④奨学金
10	お金を増やす①資産運用を始める前に
11	お金を増やす②投資リスクの管理（リスクの軽減）
12	お金を増やす③NISAと確定拠出年金（iDeco）
13	リスクに備える、トラブルを避ける①生命保険
14	リスクに備える、トラブルを避ける②損害保険
15	リスクに備える、トラブルを避ける③消費者トラブルに遭わないために
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG20L1S02　教養演習Ⅱ	担当者:茶谷 淳一	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
地球を守り、よりよい未来を築くために世界の人々が取り組んでいる「SDGｓ（持続可能な開発目標）」についてテキスト学習やフィールドワークなどを通して学び、私たちができることを学び、実践します。教養演習Ⅱと卒業研究の両方の時間を使って授業を進めます。テキストの購読、ビデオ学習、フィールドワークなどあらゆる活動の最中や後で、活動のすべてをゼミノート（毎回ゼミに必携）に記述し、まとめていただきます。レポートなどの提出物については次回の授業、またはteamsやmoodleにて講評します。【AL】

授業の到達目標
①テキスト学習を通して、テキストの内容を正確に理解し、意見や質問を考え、発表することができる。（DP）②ゼミの仲間やその他の人たちとともに活動するなかで、自分のやるべきことを考え、行動することができる。（DP）③フィールドワークで得られた知見や調査データをもとに、情報を整理、分析し、まとめることができる。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識
◎幅広い知識と広い視野に基づく思考力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
①ボランティア活動は前期の休日などに、数日行う（要請がある場合のみ）。②発表内容を考えたり、卒業研究レポートを作成するための大切な資料となる活動記録（ゼミノート）を付け、整理する。③時間内にできなかった作品や発表資料、レポートなどを作成する。④SDGｓは世界中の、特に若い人たちが多く取り組んでいます。日頃からTVのニュース、ドキュメンタリーなどを見たり、新聞を読んだりしましょう。また、ネットでもSDGｓの言葉を目にしたら読んでみましょう。⑤暮らしの中でも何かやってみたり、周りの人たちと話してみましょう。これらの学習活動を4時間ほど行います。

評価方法
①発言、行動などゼミ活動に取り組む姿勢･･･40%②各種のレポート、ゼミノート、展示資料、プレゼンテーション･･･60%（うち、卒業講演会レポート５%）。フィードバックの方法は「授業の概要と方法」に記載しています。

教科書	参考図書
適宜資料を配付します。	適宜

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
活動すればするほど、楽しくなります。やりがいがあります。なお、予定が変更されることがあります。

01	ゼミでの学びについての説明（第１週）
02	SDGｓってなんだろうーテキストをABDで読む
03	活動しながらSDGｓの個別テーマについて考える（第2週～第15週） たとえば、気候変動対策を考えよう、LGBTQの子どもたちを救うための方法を考えよう、プラスチックを削減しよう、新しい食べモノを考えよう、など。
04	ふうどトレード（4月）
05	竹灯籠の地域での活用調査と作成（5月）
06	アダプテッドスポーツを学ぶ（ボッチャ、ゴールボール、風船バレー、フライングディスクなど。6・7月）
07	名古屋市スポーツ祭ボッチャ大会運営ボランティア（8月）
08	
09	海洋ゴミ調査ー収集、分析、レポート執筆（第16～17週）
10	大学祭での展示資料の作成　大学祭の準備　　（第18週～第22週）
11	～巨大竹灯籠の作成、子ども向けイベントの準備
12	卒業レポート・卒業レポート集の作成　　（第23週～第25週）
13	ゼミ活動のまとめ（第26週～第30週）
14	第31週は「試験なし」
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	

26	
27	
28	
29	
30	
31	

2024年度シラバス

科目名:MG20L1S02　教養演習Ⅱ	担当者:高谷 邦彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
現代社会の諸問題を探求する学科カリキュラムの一環として、「SNSコンテンツの分析と制作」というテーマでメンバー全員でディスカッションをしながら人気・話題のSNSコンテンツに対する考察を進めていきます。主に動画コンテンツの分析をしながら、実際に自分たちでも広報用の動画コンテンツの制作を行います。【ＡＬ】

授業の到達目標
コンテンツの制作活動を通して、テレビやウェブのコンテンツを読み解くメディア・リテラシーを身につける。
自分たちの考えを映像と文字で表現し発信する力を身につける。
ゼミ内でのディスカッションを通して他者の意見を理解する力と自分の意見を相手に伝えるコミュニケーション力を身につける。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識
◎幅広い知識と広い視野に基づく思考力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
自分が気に入っている動画コンテンツまたはクリエイターについて、各自でその魅力を分析したうえで、ゼミのディスカッションの話題を提供する準備しておくこと（毎回90分程度）。
また、他のゼミ生が紹介したコンテンツについては各自で確認してみること（毎回90分程度）。

評価方法
各種ゼミ活動への参加意欲（30%）とディスカッションへの参加状況（20%）、課題への取り組み内容（50%）で評価します。
課題やレポートについてはTeamsを使って随時フィードバックします。

教科書	参考図書
特になし。必要に応じてプリント等を配布します。	授業内で指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
教材や資料についてはTeams経由で共有します。連絡についてはゼミのグループLINE、またはTeamsの「投稿」「チャット」を使います。

01	SNS（X：旧Twitter、Instagram、YouTube等）の基本を学ぶ
02	自分たちがSNSを利用する際の意識を客観化してみる
03	自分たちがSNSを利用する際の動機を客観化してみる
04	ゼミ生の話題提供に基づくディスカッション（１）YouTuber編
05	ゼミ生の話題提供に基づくディスカッション（２）TikToker編
06	ゼミ生の話題提供に基づくディスカッション（３）Instagrammer編
07	コンテンツ分析：YouTube編
08	コンテンツ分析：TikTok編
09	コンテンツ分析：X（Twitter）編
10	コンテンツ分析：Instagram編
11	コンテンツ分析：その他のSNS編
12	コンテンツ分析のまとめ
13	動画撮影の基礎知識と技術の習得
14	動画編集の基礎知識と技術の習得
15	コンテンツ制作①：企画会議
16	コンテンツ制作①：撮影
17	コンテンツ制作①：編集
18	コンテンツ制作①：講評会
19	大学祭準備（企画）
20	大学祭準備（模擬店）
21	大学祭準備（展示物作成）
22	コンテンツ制作②：企画会議
23	コンテンツ制作②：撮影
24	コンテンツ制作②：編集
25	コンテンツ制作②：講評会
26	コンテンツ制作③：企画会議
27	コンテンツ制作③：撮影
28	コンテンツ制作③：編集

29	コンテンツ制作③：講評会
30	1年間の学びについての振り返り
31	研修旅行

2024年度シラバス

科目名:MG20L1S02　教養演習Ⅱ	担当者:辻 広志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
このゼミでは、キャンパス内外の自然や生き物との触れ合いを通して、様々な環境問題について考える。学内と学外でフィールドワークを行う。【AL】
レポート等、提出物の講評は授業中に行う。

授業の到達目標
自然環境の調査や動植物の観察、作物の栽培等を通して、自然への理解を深める。また、実践的活動や課題研究を通して、社会人基礎力の向上をはかる。【DP】

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識
◎幅広い知識と広い視野に基づく思考力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
卒業研究のテーマについて、資料の収集、調査・分析・考察、原稿の作成、発表の準備を行う（4時間）。

評価方法
ゼミでの取り組み姿勢（50%）、報告内容（レポート、発表）（50%）等から総合的に評価する。授業において提示した課題については、次回以降にフィードバックを行う。

教科書	参考図書
使用しない	授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
チームワークを大切にして、何事にも真面目に取り組くむこと。天候や進行状況等により、授業計画を変更することがあります。

01	ガイダンス
02	学内実習と学外研修の事前学習
03	文献輪読①（世界史を変えた50の動物）
04	学外研修①（藤前干潟で干潟生物の観察）
05	文献輪読②（ナショナルジオグラフィック）
06	学内実習①（キャンパスの樹木の葉の採取）
07	学内実習②（キャンパスの樹木の葉の標本作製）
08	卒業研究準備①（図書館で参考文献探し）
09	学内実習③（サツマイモの苗植え）
10	学外研修②（東山動物園で絶滅危惧種の観察）
11	学内実習④（昆虫模様の切り絵）
12	学内実習⑤（キャンパスの池の水生生物調査）
13	学外研修③（竹島水族館・竹島海岸で生物観察）
14	卒業研究準備②（テーマ報告書作成）
15	学外研修④（伊吹山で高山植物観察）
16	学外研修レポート作成
17	卒業研究中間発表
18	大学祭ゼミ展示準備①（樹木の葉の栞作製）
19	学内実習⑥（サツマイモの収穫）
20	大学祭ゼミ展示準備②（看板作製）
21	学内実習⑦（サツマイモの調理）
22	卒業研究論文作成①（目次作成）
23	卒業研究論文作成②（はじめに）
24	卒業研究論文作成③（結果）
25	ＤＶＤ視聴（生物の進化）
26	卒業研究論文作成④（結論）
27	卒業研究論文作成⑤（要約）
28	卒業研究発表①（前半の4名）
29	卒業研究発表②（後半の4名）
30	まとめ

31	試験なし

科目名:MG20L1S02　教養演習Ⅱ	担当者:綾部 六郎	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
　全員で本科目の統一テーマである「マイノリティをめぐる現代的諸問題の探究」に関係する課題文献を読み、プレゼンテーションもおこなうことなどを通じて、さまざまなスキルを学んでいきます。【AL】
　また、学内イヴェントの実施や学外の関連施設などを訪問する予定ですので、その準備も同時におこないます。

授業の到達目標
　上記の事項に加えて、2年次の前期に配当されている「現代の労働法」や、1年次前期の「法学」などの授業で学んだ知識をより一層深めながら、自立した市民となるために必要な知識や技能を修得し、受講生のみなさんが社会へと旅立っていくために必要な思考力・行動力・チームワーク力を身につけます（DP）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識
◎幅広い知識と広い視野に基づく思考力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
・担当になった場合は、授業内でおこなうプレゼンテーションの準備が必要です。
・全員に課題文献についての予習が毎回求められます。
・正課の授業だけではなく、学外訪問にも積極的に出席してください。
以上、各回につき4時間程度かかります。

評価方法
授業での取り組みなどの平常点（60%）および各種イヴェントにおける達成度などを踏まえた評価（40%）。
各評価結果については、授業中に適宜フィードバックします。

教科書	参考図書
授業中に指示します。	授業中に紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
担当者への連絡先も含む必要な事項については、開講後のガイダンスで説明します。

01	ガイダンス（ゼミプロジェクトのテーマ確認・役割分担の決定など）
02	課題文献の検討・決定
03	効果的なプレゼンテーション方法についての解説
04	学術的なリサーチ・スキル向上についての解説
05	クリティカル・リーディング習得についての解説
06	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
07	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
08	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
09	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
10	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
11	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
12	学外研修実施のための準備
13	学外研修実施のための準備
14	学外研修実施のための準備
15	学外研修実施のための準備
16	学外研修の実施
17	学外研修の実施
18	学外研修の実施
19	学内イヴェント実施のための準備
20	学内イヴェント実施のための準備
21	学内イヴェント実施のための準備
22	学内イヴェント実施のための準備
23	学内イヴェントの実施
24	学内イヴェントの実施
25	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
26	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
27	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
28	卒業研究報告会の準備

29	卒業研究報告会の実施
30	授業のまとめなど
31	なし

科目名:MG20L1S02　教養演習Ⅱ	担当者:山下 玲香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
自然を活用した様々なアクティビティを通し、１）仲間と協力したり、自ら積極的に活動に取り組む姿勢を養う、２）豊かな自然を活用し、柔軟に対応する能力を養う、ことをねらいとする。
学外学習では、近隣の大学や消防署などを活用し、学内では実践できない応急手当講習や消防車や救急車の見学を行う。ゼミ合宿では長野県または愛知県でキャンプを行う。【AL】
　卒業研究は「運動・スポーツ」「身体活動」「野外活動」「健康」に関することなどから興味のある内容を一人1テーマ設定し、取り組む

授業の到達目標
１）野外で役に立つ知識や技能を身につけ、ゼミ合宿で応用することができる…GDP１○
２）いろんな場面で身体活動をたのしむことができる…GDP２○
３）仲間と協力し、積極的な姿勢と柔軟に対応する能力が身につく…GDP３◎

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識
◎幅広い知識と広い視野に基づく思考力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
ゼミ活動で行う身体活動に関する文献や書物を読んでおく。（毎週合計最低2時間）
また、振り返り活動は毎回行い、適宜課題を提出するので期限を守って考察をする。
レポートについては採点のうえ、翌週フィードバックを行う。

評価方法
参加態度　45点（野外活動関連実践など）
課題や制作物　50点（手作り作品、しおりの作成、事前調査など）
芸術鑑賞会レポート5点
課題などに対するフィードバックは授業時間内に行う。また課題物の添削等はTeamsや紙面で行う。

教科書	参考図書
教員から随時指示を出す	教員から随時指示を出す

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
仲間との協力・積極性を重視しますので、遅刻や無断欠席は厳禁である。
仲間と協力してゼミ活動に取り組むよう努力すること。

01	ガイダンス　ゼミ運営について
02	自然観察　タケノコ堀り
03	学内の自然観察およびロープワーク
04	学内デイキャンプの準備
05	学内デイキャンプの実践／小石の収集
06	工作活動：廃棄するガラス屑でフォトフレームづくり
07	工作活動：ストーンペイント
08	消防署見学の事前準備
09	豊明市消防署見学
10	学内の自然観察とロープワークの実践
11	野外活動用具の知識と理解
12	野外活動における食事の知識と理解
13	ゼミ合宿に向けての準備①
14	ゼミ合宿に向けての準備②
15	ゼミ合宿：セミナーハウス
16	前期の振り返り　レポートの作成と後期に向けての話し合い
17	学外キャンプの準備
18	学外キャンプの実践（豊田市野外センター／岡崎市野外教育センター）
19	大学祭展示準備
20	大学祭展示準備
21	大学祭展示準備
22	大学祭展示準備
23	大学祭展示準備
24	大学祭の振り返りと卒業論文要約集制作に向けての準備
25	学内の自然観察と落ち葉の収集

26	工作活動：落ち葉でしおり作り
27	卒業研究要約集のゼミ頁作成
28	卒業研究要約集のゼミ頁作成
29	卒業研究要約集のゼミ頁作成
30	1年間の振り返り／授業アンケート
31	試験なし

科目名:MG20L1S02　教養演習Ⅱ	担当者:小出 祥子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
私たちが普段、普通に使っている「日本語」を改めて見つめなおし、様々な視点から「なぜ？」と考え、その答えを見つける手法を学びます。具体的には、テーマに従って、日本語の用例を集め、分析し、発表(1人2回以上)し、議論します。発表された内容については、どのように展開していくと課題解決に繋げることができるか、具体的に伝えることで、次回の発表が発展的なものになるように指導します。プレゼンテーションや、ディスカッションのスキルを身につけるとともに、身の回りの「当たり前」を問い直し、客観的に観察する視点を養うという点で、ディプロマポリシーの１に該当します。【AL】

授業の到達目標
・日本語についての基本的な知識が身につく(DP)
・物事を客観的に考察し、問題解決に主体的に取り組む姿勢が身につく(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識
◎幅広い知識と広い視野に基づく思考力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
発表の準備は前日までに行い、メンバー分のレジュメを用意してください。(発表ごとに5～20時間程度)
学内のイベントへの参加や、学外見学(言語景観観察)等も予定しています。積極的に参加してください。(5時間程度)
日常生活を通じて、日本語に興味を持ち、観察を続けてください。

評価方法
レジュメ作成・発表・ディスカッションへの参加態度45%、ゼミの行事への参加態度50%、卒業講演会レポート5%

教科書	参考図書
授業内で指示します	適宜、提示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
ゼミ活動に積極的に取り組む姿勢を求めます。グループでの作業も多くなるため、各自責任感を持ち、協力して、様々な活動に楽しく取り組みましょう。

01	ガイダンス
02	日本語研究の方法
03	課題文献の読み方
04	プレゼンテーションの方法
05	日本語の辞書
06	言葉を集める
07	言葉を説明する
08	言葉について発表する
09	発表の準備
10	課題文献の輪読
11	課題文献　担当者による発表
12	言語景観の観察準備
13	言語景観の観察実施
14	言語景観の観察振り返り
15	辞書の編集
16	文献の探し方
17	進捗状況発表の準備
18	研究テーマについての進捗状況発表
19	大学祭ゼミ参加の準備(計画)
20	大学祭ゼミ参加の準備(実施)
21	大学祭ゼミ参加の準備(最終確認)
22	研究テーマについての言語調査報告
23	研究テーマについての先行研究まとめ
24	論文の執筆
25	論文の添削指導
26	中間報告会
27	論文の推敲
28	論文の完成

29	研究発表会
30	ゼミ活動の振り返り
31	試験なし

科目名:MG20L1S07　卒業研究	担当者:茶谷 淳一、高谷 邦彦、辻 広志、綾部 六郎、山下 玲香、小出 祥子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
　本科目は受講生による主体的な取り組みが必要です。各自で課題を設定し、関連する文献や資料を収集したり、フィールドワークを行ったりして、担当教員の指導のもとに研究を進めていきます。最終的には本文8000字以上の文章にまとめて提出します。【ＡＬ】

授業の到達目標
　社会で必要とされる力、すなわち自ら設定した課題について深く学び、問題点を見つけ出し、その解決のために必要なことなどを文章化することができるようになります。[GDP２、３]

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識GDP2
◎幅広い知識と広い視野に基づく思考力GDP3

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　所定の時間だけですぐれた内容の文章を書くことは難しいので、授業時間外にも各自で研究・調査や執筆を進める必要があります（毎週合計1時間）。文献調査として、週に1回は図書館へ行くかサイニーなどで論文検索をしましょう。

　また、執筆開始までにパソコンソフト（Word、Excel、PowerPoint）などの基本的な使い方を習得しておかなくてはなりません。

評価方法
卒業研究への取り組み状況（50%）、卒業研究の内容・完成度（50%）で評価します。
卒業研究物や取り組み状況に関するフィードバックは翌週の授業で行います。なお、Teams上での電子データまたは紙面で提出された課題については直接書き込む場合もある。

教科書	参考図書
担当教員から指示します。	担当教員から指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　良い卒業研究をまとめるためには、社会に対する問題意識や旺盛な好奇心が必要です。インターネット上の記事だけに頼ることなく、さまざまな書籍や新聞を読むことや多くの人々との出会いも貴重な機会となります。何事にも積極的に挑戦しましょう。

01	卒業研究とは何かを学ぶI（テーマの決め方）
02	卒業研究とは何かを学ぶII（卒業生の論文の読みまわし）
03	卒業研究とは何かを学ぶIII（小さなテーマで何ができるか、マインドマップ作成）
04	卒業研究とは何かを学ぶIV（実験のやり方）
05	卒業研究とは何かを学ぶV（質問紙調査、統計のやり方）
06	文章の書き方指導I（論文の構成）
07	文章の書き方指導II（論文の具体的な書き方）
08	文章の書き方指導・個別指導I　（短い文章を書いてみる）
09	文章の書き方指導・個別指導II　（短い文章をつなげてみる）
10	文章の書き方指導・グループワーク
11	調査研究の進め方I（実験計画をたてる）
12	調査研究の進め方II（アンケート計画をたてる）
13	調査研究の進め方III・実践
14	調査研究の進め方IV・個別指導
15	課題登録準備
16	課題登録
17	個別指導および文献収集I　（適切な文献を収集できるか）
18	個別指導および文献収集II　（実験結果がでているか）
19	個別指導および文献収集III　（考察が書けているか）
20	途中経過報告会資料作成I　（結果のまとめ）
21	途中経過報告会資料作成II　（報告用の資料まとめ）
22	途中経過報告会I　（発表者１）
23	途中経過報告会II　（発表者２）
24	要約集作成作業I　（要約の作成）
25	要約集作成作業II　（ゼミ頁の作成）
26	要約集個別指導
27	卒業論文発表会準備I　ゼミ論集の作成Ⅰ
28	卒業論文発表会準備II　ゼミ論集の作成Ⅱ

29	卒業論文発表会準備III　ゼミ論集の作成Ⅲ
30	卒業論文発表会（各ゼミごとに）
31	まとめとフィードバック

2024年度シラバス

科目名:MG21L2S03　プログラミング演習	担当者:高谷 邦彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
高度情報化社会を生き抜くために必要な知識の一つとして、ITの根幹となるコンピュータ・プログラミングに関する専門知識を学び、技術を習得します。
パソコン教室のPCまたは自分のノートPCを使って実習を行い、Windowsに標準装備されているPowerShellを使った基本コマンドの理解からスタートし、最終的にはJavaScriptを使ってオリジナルのプログラムを完成させます。

授業の到達目標
コンピュータとプログラム（アプリ）とは何なのか、その仕組みと原理を理解できるようになる。Windowsに標準装備されているPowerShellとウェブ用のプログラミング言語であるJavaScriptに慣れ親しむことで、社会に出てからも役立つITスキルを身につける。DP4

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
ウェブ上にPowerShellを使った操作サンプルが数多く公開されているので、それを見てコンピュータをコマンドで操作する魅力と可能性を確認しておきましょう（毎回45分程度）。授業で紹介しきれないコマンドについても確認しておくこと（毎回90分程度）。
JavaScriptについてもウェブ上でサンプルを探して実践してみましょう（毎回45分程度）。

評価方法
授業の参加状況（40%）と課題の取組状況（60%）によって評価します。
Teamsでフィードバックします。

教科書	参考図書
なし	必要に応じて授業の際に紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
演習内容についてはTeamsを使って連絡、サポートを行います。またフィードバックについてもTeamsで行います。

01	オリエンテーション：コンピュータとテキスト処理～テキストエディタを使ってみよう
02	テキストファイルの処理：検索と置換、正規表現
03	文章の構造化：XMLやHTMLのタグの意味を理解しよう
04	構造化された文書を作ってみよう（Word、PowerPoint）
05	コンピュータとプログラムの仕組み：PowerShellを使ってみよう
06	コマンド／コマンドレットとは何か～ディレクトリの概念と表記
07	複数のコマンドを組み合わせてみよう：パイプライン
08	スクリプトとは何か～スクリプトを使ったテキスト処理／ファイル処理
09	オリジナルのスクリプトを作ってみよう
10	プログラミングの基本：プログラミング言語とは何か
11	プログラムを書いてみよう（１）基本編
12	プログラムを書いてみよう（２）応用編
13	オリジナルのプログラムを作ってみよう（１）ウィンドウプログラミング
14	オリジナルのプログラムを作ってみよう（２）ゲームプログラミング
15	課題の講評とまとめ
16	試験なし

科目名:MG20L2S04　ビジネスコミュニケーション	担当者:吉田 智美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
この授業では、ビジネスで必要とされるコミュニケーションを①伝える、②対応、③書くに分け、あらゆる業種や職種において必要とされるビジネスのマナー、ルールを理解する。グループディスカッション（全2回）、グループワーク（全４回）やインバスケット（全7回）を行い、知識を理解し、臨機応変に応用できる力を修得する。さらに社会でより良い人間関係を構築するため、コミュニケーションに必要な知識も学ぶ。
社会生活で必要とされる知識を身につけ、その持てる力を活かし、社会へ貢献することを目的とする。【ＡＬ】
【担当者の実務経験】企業での実務経験、接客経験などから机上の内容でだけでなく、卒業後の仕事に活かせる内容を意識し、授業を行う。

授業の到達目標
①伝えることは、ビジネスで必要とされる言葉遣い、電話応対、②対応では来客応対、慶弔のマナーなどの仕事の基本的な進め方を理解することを目標とする。③書くでは、ビジネス文書を学ぶ。さらに、まとめとしてのインバスケットでは、事務処理の応用力を磨き、卒業後の社会生活に対応できるよう知識を身に付けることができるようになる。社会生活で必要とされる知識を身につけ、その持てる力を活かし、社会へ貢献することを目的とする。「（DP）」さらに、秘書検定2級、準1級の取得を目標とする。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
社会の出来事について、興味をもって新聞やニュースを見て理解すること。事前課題、事後課題、復習、試験対策などでおおよそ30時間程度の予習復習を要する。具体的な内容は授業中に指示する。2～３回（事後）授業で学んだ内容を意識しながら、普段の生活でのコミュニケーションスキル振り返り、より良いコミュニケーションができるよう対応する（4時間）。4～10回（事後・事前）普段使用する言葉（アルバイトなど）や電話応対を振り返り、疑問点を出し、正しい言葉遣いで対応する（4時間）11～14回(事後）接遇での知識をアルバイトで活用

評価方法
授業への参加態度30％　実技・提出課題30％　確認テスト40％
提出課題については、次回授業時に解説、返却を行う

教科書	参考図書
『よくわかる社会人の基礎知識　マナー、文書、仕事のキホン』	授業中に指示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
卒業後の社会人生活を意識しながら授業に参加してほしい。
質問などはオフィスアワーで対応、連絡先は授業内に伝える。

01	学習の目的と進め方について　グループディスカッション
02	コミュニケーション・1　聴き方　グループワーク
03	コミュニケーション・2　伝え方　グループワーク
04	①伝える・1　言葉遣い　敬語について
05	①伝える・2　言葉遣い　接遇用語
06	①伝える・3　言葉遣い　状況対応
07	①伝える・4　電話応対　求められるマナー
08	①伝える・5　電話応対　かけ方について
09	①伝える・6　電話応対　受け方について
10	①伝える・7　電話応対　状況対応について　ケーススタディ、グループワーク
11	②対応・１　来客応対　心構えについて
12	②対応・２　来客応対　名刺交換、案内、グループワーク
13	②対応・３　来客応対　席次、茶菓のマナー、見送り
14	②対応・４　来客応対　状況対応
15	前半のまとめと確認テスト
16	②対応・5　慶事のマナー
17	②対応・６　弔辞のマナー
18	②対応・7　贈り物のマナー
19	③書く・１　社内文書の作成
20	③書く・２　社外文書の作成
21	③書く・3　はがき、封筒の書き方
22	和食、洋食、立食など　グループディスカッション
23	インバスケット１　仕事の優先順位について
24	インバスケット２　社外文書・社内文書復習
25	インバスケット３　電話応対復習

26	インバスケット４　慶弔の取り扱い復習
27	インバスケット５　出張業務
28	インバスケット６　ファイリング
29	インバスケット７　報告、連絡、相談について
30	まとめ、確認テスト
31	試験なし

科目名:MG21F1L04　心理学	担当者:岡本 加苗	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
心理学の各領域における基礎的知識を概説する。グループワークとグループ発表（全３回）を行う。【AL】
【担当者の実務経験】医療･保健領域カウンセラー、学校・保育カウンセラーとしての経験を踏まえ､日常的な視点から理解が深まるように講義する。

授業の到達目標
①心理学領域の基礎的な知識が身につく。
②グループワークで興味があるテーマを探求することにより、理解を深めて説明できるようになる。
【到達目標と深く関連する学科DP】
◎GDP2〔専門知識〕幅広い分野にわたる知識を身につけ、人間、社会、自然に対する理解を深める。
○GDP3〔思考力〕幅広い知識に基づき、より広い視野に立って、物事を考えていくことができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業で興味を持った内容やグループワークで設定したテーマについて関連図書を読み、理解を深める（1回の授業につき約4時間）。

評価方法
毎回の小レポート（20%）グループワークの取り組みと発表（30%）確認テスト（50%）
小レポートに書かれていた疑問点については次授業で解説する。

教科書	参考図書
使用しない	授業時に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　本科目「心理学」、「社会福祉概論」、「経済学」、「法学」の4科目から計3科目を履修することで、社会福祉主事任用資格が取得できます。

01	知覚･認知心理学：だまされる脳、外界を知る
02	感情心理学：感情のメカニズム
03	グループワーク1（テーマを決める、役割分担を決める、図書館やネットで調べる）
04	欲求の心理：行動したい気持ち
05	学習心理学、動機づけ：考えること･学ぶこと
06	発達心理学：ヒトの成長発達
07	グループワーク2（調べたことを発表できる形にまとめる）
08	性格・知能心理学：性格の違い
09	生理心理学：こころとからだの関係
10	行動分析学
11	グループワーク3（グループ発表）
12	犯罪心理学
13	無意識の心理学
14	心の病について知る
15	まとめと確認テスト
16	なし

科目名:MG22F1L05　人間関係と恋愛の心理	担当者:木村 洋太	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法

恋愛をはじめとする様々な人間関係における現象について心理学的な視点で検討する。具体的には、①自分とはどのような人間か、どのように人間関係をとっているのか等、対人関係の根幹にある自己の理解を適切にする力を身につける。②対人関係に関係する社会心理学、恋愛心理学、自己理解のための性格心理学など、幅広い分野にわたる知識を身に着け、より広い視野に立って物事を考えていくことができる思考力を身に付ける。③心理テスト、簡単な心理学実験、ＤＶＤ視聴、グループディスカッションを度々行うことにより理解を深める。【AL】

授業の到達目標
①性格心理学、アイデンティティ、防衛機制などの理解を深めながら、発達の過程で更新される自己を適切に理解できるようになることを目標とする。
②対人関係にまつわる社会心理学の諸研究（対人認知、同調、役割演技など）についての理解を深め、日常生活で人間関係をうまく形成するために社会心理学の知識を役立たせることができるようになることを目標とする。
③愛の深さや質の違い、恋愛にまつわる傾向を測る様々な心理テストをやりながら、恋愛に関する社会心理学や様々な恋愛心理学研究（ラブスタイルを調べる研究、モテを科学する研究、男女の違い、恋愛戦略の研究、恋の盲目さ、デートバイオレンス）について深く理解し、知識を役立たせることができるようになることを目標とする。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎専門知識
○思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
①授業の中で関心を持ったテーマについて，関連書籍などを読み，理解を深める。
②授業で得た学びを積極的に日々の生活に取り入れ，日常生活における対人関係を通して実践的に学びを深める。
③アップされた各授業での感想や質問（振り返りレポート）を読み、多様な意見があることを知る。また、振り返りレポートに対するフィードバックを出すことで、思考の言語化チャレンジする。
（①②③を合わせて1つの授業につき４時間）

評価方法
確認テスト(55%)+授業への参加態度(15%)＋各授業の振り返りレポート（30%）。振り返りレポートに書かれていた疑問点については次授業で説明を加える。

教科書	参考図書
指定なし	授業中に適宜紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先は、オリエンテーションでお伝えします。
manabaに資料や課題をアップするので、登録し、頻繁に確認してもらいます。

01	オリエンテーション　心理学の面白さ
02	自己理解①　性格ってなんだろう。自分の内面と対人交流のあり方について考えてみる
03	自己理解②　自分のアイデンティティを考える（発達心理学から）
04	自己理解③　役割性格　キャラになりきって性格が変わる
05	対人関係の理解①　仲間関係の発達と同調（実践質問紙　同調傾向尺度）実験DVDの視聴
06	対人関係の理解②　価値観の違い　　―ディスカッション
07	恋愛の社会心理学①　愛を診断し測定する心理学―愛と友情を考えるー（実践質問紙　恋愛尺度）
08	恋愛の社会心理学②　あなたの愛のタイプは？　（実践質問紙　ラブスタイル）
09	愛着形成①　　愛の出発点を探る
10	愛着形成②　　愛着がうまく築かれなかったとき
11	恋愛の社会心理学③　女は男の指をみるー進化心理学から愛を考える
12	恋愛の社会心理学④　恋に落ちる過程の心理学ー恋愛における戦略的自己呈示の諸研究
13	恋愛の社会心理学⑤　愛が終わっていく過程の心理学
14	恋愛と病的な傾向　　危険な恋から離れられない
15	まとめと確認テスト
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG21F1L07　ジェンダーとセクシュアリティ	担当者:綾部 六郎	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　みなさんはジェンダーやセクシュアリティということばをこれまでに聞いたことがありますか？ わたしたちが先人たちの努力によってこのことばを知ったときから、性をめぐる考え方の新たな可能性が大きく切り開かれました。
　性の多様性を意識できる自立した市民となるために、こうした考え方についてさまざまな観点から学んでみましょう。

授業の到達目標
　この授業では、こうしたジェンダーやセクシュアリティということばや、それらがわたしたちの社会のあり方とどうかかわっているのかということについて、具体的な題材を通じて学び、それまでの自分とは違う視点を得られるようにします（DP）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　日常的な出来事のなかに潜んでいるジェンダー／セクシュアリティと関わるさまざまな問題を、わたしたちが抱きがちな偏見に惑わされずに正しく批判的に分析するための視点を獲得することが大切です。
　そのための手がかりとして、まずは教科書の予復習が毎回4時間程度必要です。

評価方法
1. 確認テスト（レポート試験になることもありうる）の成績（90%）
2. 受講態度などの勘案（10%）
★確認テストについての講評は最終回におこなう予定です。

教科書	参考図書
開講までに指示します。	授業中に紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先はガイダンスで示します。

01	ガイダンスの実施（授業での約束事などについて説明します。）
02	導入：ジェンダー／セクシュアリティとはなにか？
03	性別：法的性別の根拠は？
04	性同一性障害：性別不合をもつ当事者に法は応答できているか？
05	性刑法：誰をどのように守るものであるべきか？
06	親子：性的マイノリティは親になれるのか？
07	婚姻：カップルの特別扱いに合理性はあるか？
08	暴力：ドメスティック・ヴァイオレンスは異性間だけの問題か？
09	企業：企業が性的マイノリティにできることとは？
10	学校教育：「性の多様性」学習の保障に向けて必要なこととは？
11	人権：誰のどのような人権か？
12	ノルム：平等か解放か？
13	クィア：クィアな視点は法になにをもたらすのか？
14	補論：科学・技術の発展が法や性的マイノリティに与える影響とは？
15	授業のまとめなど
16	なし

科目名:MG21F1L09　多文化社会論	担当者:塚本 江美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
多文化の共存の実現を試みるべく政策を展開してきた国々（アメリカ・イギリスなど）について、社会のなりたち、文化的葛藤、アイデンティティを巡るせめぎ合い、その対応策の変遷、展望を概論として学ぶ。そして、日本に住む外国にルーツを持つ人々の現実、地域社会での共生の課題を把握し、日本の未来について考える。【AL】【担当者の実務経験】国際交流協会（公益財団法人）に16年勤務。

授業の到達目標
世界の多民族国家におけるケーススタディを通し、多様な背景を持つ人々の共生の現実と課題を理解する。
日本の地域社会における多文化共生の現実と課題を理解する。

【到達目標と深く関連する学科DP】
幅広い分野にわたる知識を身につけ、より広い視野に立って、物事を考えていくことができる思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学習（2時間）：授業で行う発表準備（順番）、授業前に配布される資料は事前に必ず読むこと。
事後学習（2時間）：授業内で学んだ内容について復習し、情報を自分なりに整理、分析、考察を行い、指示された成果物（レポート等）を提出すること。
授業において提示した課題に対するフィードバックは提出後の授業の中で共有します。

評価方法
授業への参加態度（プレゼンや授業内の発言など）40%、確認テストとレポート60%
授業において提示した課題に対するフィードバックは提出後の授業の中で共有します。

教科書	参考図書
プリントを配布します。	エマニュエル・トッド『世界の多様性 家族構造と近代性』藤原書店（2008） サスキア・サッセン『グローバル空間の政治経済学』岩波書店（2004）

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業内で取り上げるトピックについて、ただ受動的に受け止めるだけでなく、能動的に自分なりに考える姿勢を大切にしましょう。「自分はどう感じ、考えたか」に常に意識的になってください。オフィスアワー、教員連絡先は授業内に指示します。

01	オリエンテーション
02	多文化社会（歴史的視座）
03	アメリカの事例①（移民の現実）
04	アメリカの事例②（移民と女性）
05	ヨーロッパの事例①（イギリスと移民）
06	ヨーロッパの事例②（イギリスのNGOの活動）
07	ヨーロッパの事例③（ドイツと移民）
08	グループディスカッション（海外の事例から）
09	日本に存在する多文化（総論）
10	日本の多文化共生の事例①（ことばの壁）
11	日本の多文化共生の事例②（コミュニティ）
12	日本の多文化共生の事例③（教育）
13	偏見・マイクロアグレッション・差別 とは何か
14	グループディスカッション（日本の事例から）
15	まとめと確認テスト・レポート
16	なし

2024年度シラバス

科目名:MG22F1L10　日本の文学	担当者:鶴田 武志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
映画化されている日本の文学作品を扱い、原作と映画の双方に触れることで映像表現と文章表現との違いを知り、それぞれの技法や構成を考える。講義としては3回で1作品、映画も実際に観てもらい、日本の文学を理解する。

授業の到達目標
映像表現と文章表現との違いから、それぞれのメディアの特性を考えることを目指す（DP）。また、「日本の文学」が人間関係というテーマを、どのような表現技法、あるいは物語の構成で描いていたのかを論理的に考える（DP）。最終的には、それらの表現構造に対する自身の考えを書けるようになる（DP）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
講義で扱う小説を1冊以上完読。（4時間以上）
読書体験記というレポートを課す（7時間以上）。

評価方法
確認テスト70%、レポート課題+毎時間のコメントシート30%

教科書	参考図書
適宜プリントを配布	なし

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
毎回、コメントシートを書くことで自分の考えを的確に記述できるようにしていきましょう。またコメントシートに書かれた質問には次回講義の冒頭で答えていきます。
なお、連絡などはMoodleをとおして行います。

01	オリエンテーション。授業のテーマの概説。授業の進め方の説明。
02	谷崎潤一郎原作『春琴抄』（2008）の前半を観る。谷崎潤一郎の文学史的意義について解説。
03	谷崎潤一郎原作『春琴抄』（2008）の後半を観る。『春琴抄』についての概説。
04	原作『春琴抄』の表現技法について解説。2008年版以外の『春琴抄』映画との比較。
05	東野圭吾原作『手紙』（2006）の前半を観る。東野圭吾についての解説。
06	東野圭吾原作『手紙』（2006）の後半を観る。前回、感想の共有。
07	原作『手紙』の表現技法を解説。映像表現と文章表現の比較。
08	松本清張『ゼロの焦点』（1961）の前半を観る。松本清張の文学史的意義、東野圭吾との関係について。
09	松本清張『ゼロの焦点』（1961）の後半を観る。松本清張についての解説。
10	原作『ゼロの焦点』の表現技法を解説。映像表現と文章表現の違いの意味について解説。
11	恩田陸原作『夜のピクニック』（2006）の前半を観る。恩田陸についての解説。
12	恩田陸原作『夜のピクニック』（2006）の後半を観る。前半の感想の共有。
13	原作『夜のピクニック』の表現技法について解説。原作を映像化への工夫について解説。
14	恩田陸原作『夜のピクニック』関連作品の解説。
15	まとめ+レポート提出
16	テスト

科目名:MG22F1L11　芸術の世界	担当者:大竹 有子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
芸術のさまざまな分野（美術・音楽など）を、他分野（文学・歴史・民俗・文化人類学など）との関わりを通して紹介する。
さまざまな実例を通して、芸術とはなにか、人間との関りを自分ごととして考え、また芸術を楽しむ。
高校までの美術・音楽の授業や一般的な芸術へのイメージにとらわれず、芸術とはなにか、人間にとってどのような意味があるのか、を繰り返し考察する。
現在、芸術の各分野から「芸術」「美術」についての再定義の試みがなされている。それに基づき、受講者個々と芸術の関係を再構築することを目標とする。

授業の到達目標
講義で紹介する実例や様々な見解を通し、受講者それぞれの芸術についての意見・姿勢や、芸術との付き合い方を形成する（DP）。受講者それぞれが、好きな芸術分野や作家を持ち、自分のものとして芸術を享受する。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識…文学、芸術学、民俗学・文化人類学などの内容を総合的に含む内容
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力…上記に基づき、各自の芸術への姿勢・価値観を涵養する

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業内で紹介する参考文献や自分が興味を持った書籍を読み、講義の内容について考察を深める(DP)。インターネットを利用した関連事項の予習・復習をする。また興味ある分野について美術館・博物館・実演に触れる(DP)（出かけてライブに参加が望ましいが、無理せずネット配信などを活用する）。計３時間程度。

評価方法
授業中の参加態度および授業後の小レポート（感想文）40%、期末レポート60%
フィードバックは、授業時等において、課題・レポート等について、個別あるいは全体へ行う。試験においても提出後に行う。

教科書	参考図書
指定しない。レジュメを配布。	都度紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
予備知識や技術は問わない。積極的な態度を歓迎する。受講者の関心・希望を可能な限り反映するため、またゲストの都合などにより、授業計画は内容・順番などを変更する場合がある。

01	オリエンテーション：あなた／わたし　と「芸術」を再考する
02	「芸術」とはなにか：さまざまな「芸術」、さまざまな関連・隣接分野
03	伝統芸能の世界①インドネシア・バリ島の伝統舞踊　鑑賞（講師による実演）・体験
04	「芸術」とファッション：「民族衣装」の美
05	「きもの」の成立と文化：衣生活の歴史的変遷と美意識
06	日本と沖縄の伝統的衣装の美意識と現在
07	アクセサリー・ジュエリーの美意識と民俗
08	「美女」とはなにか：人体に対する美意識とその表現
09	上村松園と日本近代の美人画
10	伝統芸能の世界②能楽の囃子について（ゲストの大つづみ奏者による解説・実演・体験）
11	「用の美」：民藝と手しごと
12	沖縄の美：染織・芸能 音楽と社会：『オーケストラ！』前半鑑賞
13	ことばによる表現と芸術：文学との関わり
14	「芸術」と「手づくり」「手芸」のあいだ
15	まとめ：自分にとっての「芸術」とのつきあい方とは
16	なし

2024年度シラバス

科目名:MG21F2S03　Ｅｘｃｅｌプログラミング	担当者:木下 博光	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
企業において幅広く活用されている表計算ソフトウェアExcelの基本関数を学び、実戦に近い練習問題をすることで、具体的な問題解決にチャレンジし、知っている関数から、使える関数にしていきます。

授業の到達目標
企業などにおいて即戦力としてExcelが使えるように、より実務的な機能を習得することを目的とします。基礎で学んだものをベースに、複合関数の使い方を学んでいく。知っている関数ではなく、使える関数40個を目指す。 (DP)製作者以外の人が、まちがいなく使いやすい入力方法やレイアウトを習得する。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
日常生活で困ったことをメモに残し、Excelを使用して効率のよい方法を考える。

評価方法
授業への参加態度50%　随時提出ファイル50%により評価する。

教科書	参考図書
随時プリント配布	ビジネスExcel 完全版　出版社: 日経BP社　ISBN-10: 4822258459

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
複合関数を使い１セル内で結果が出せるように、がんばってみましょう。Teamsにて連絡してください

01	ガイダンス、複合関数体験
02	エクセル基礎の確認 1　基本的な操作、ファイル形式と保存方法、ショートカットキー エクセル基礎の確認 1　基本的な操作とファイル保存形式と方法
03	エクセル基礎の確認 2　基本的な関数　SUM・AVERAGE・IF・XLOOKUP
04	IF関数のマスター　ネスト処理　ORとAND
05	VLOOKUP　完全一致と近似値のちがい、エラー表示をなくそう
06	INDEXとMATCHで送料を求めよう
07	INTで金種計算と四捨五入
08	WEEKDAY で日曜日を赤色表示
09	リスト入力　動的変化するリストで簡単入力
10	ROWとCOLUMN で消えない行番号表示
11	文字列を制御 LEFT・MID・RIGHT、FIND、LEN
12	時間を制御 TIME・HOUR・MINUTE・NOW　給与計算にチャレンジ
13	日付を制御 DATE・YEAR・MONTH・DAY・TODAY　スケジュール帳作成
14	総合問題
15	総合質問・復習
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG21F2S03　動画コンテンツ制作	担当者:高谷 邦彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
現代を創造的に生き抜く力を身につけるという学科の教育目的に基づき、スマートフォンの動画編集アプリを使って短い動画コンテンツを制作する実習です。春休み期間中の4日間の集中講義で、オリジナル作品の企画・撮影・編集を行います。制作した作品はウェブ（YouTube等のSNS）で公開することを予定しています。【ＡＬ】

授業の到達目標
SNSの時代に必要となるコンテンツ制作の知識と技術を身につけることを目標とします（DP）。コンテンツ制作の経験を通して、SNS利用者としてコンテンツの制作意図を読み取るメディアリテラシーも学びます。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業内でも参考作品を紹介しますが、各自でYouTubeやTikTok等の動画コンテンツの制作手法を分析しながら鑑賞してみること（60分程度）。
授業時間内で撮影や編集が終わらない場合は、各自で作品完成に向けて作業を進めること（60分程度）。

評価方法
授業への参加態度（30%）と制作した作品（70%）で評価します。
フィードバックはTeamsで行います。

教科書	参考図書
特になし	必要に応じて指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
1日で4コマの授業を行いますので、欠席しないように気をつけてください。
TeamsやLINE、メール等を使って随時サポートやフィードバックを行います。

01	オリエンテーション：参考コンテンツ紹介
02	動画撮影の基本：カット割り、イマジナリーライン等
03	動画編集の基本：スマホアプリの使い方
04	課題コンテンツ（個人）撮影：カット割りを駆使してアクションシーンの撮影
05	課題コンテンツ（個人）編集：コマ単位での編集、さまざまなカットの組み合わせ
06	作品講評会
07	企画会議
08	課題コンテンツ（グループ）撮影
09	課題コンテンツ（グループ）編集
10	作品講評会
11	最終課題（個人）制作：企画
12	最終課題（個人）制作：撮影
13	最終課題（個人）制作：編集
14	最終課題（個人）制作：仕上げと公開
15	作品講評会とまとめ
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG21F2L04　ＳＮＳとコミュニケーション	担当者:高谷 邦彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
情報のデジタル化が進んで急激に変化している現代社会に適応するために、特にウェブで起きている技術やサービスの変化、そしてスマートフォンとSNSの普及から生じたコミュニケーションの変化に注目しながら解説します。
一方的な講義ではなく、受講生が授業中に感じた疑問や意見に対してTeamsのチャット機能を使ってリアルタイムにフィードバックをしながら対話的に進めます。

【担当者の実務経験】
NPO法人の代表者として、北海道宗谷地方の観光情報を発信するウェブサイト（SNS）を15年間にわたって運営管理していた。

授業の到達目標
SNSを中心としてウェブのさまざまなサービスを利用する際に必要となるリテラシー（知識や経験、マナー、常識など）を身につける。SNSの歴史を学ぶことで、より幅広い視野に立って現在のSNSを理解することができるようになる（DP）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
○幅広い分野にわたる専門知識
◎幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
ふだんSNSを利用していて感じたことや疑問等について、授業の際に質問できるように整理しておくこと（毎回90分程度）。
講義の中で紹介するインターネットのいろいろなサービスについては、興味があれば自分でも試してみるようにしてください（毎回90分程度）。

評価方法
各回のミニレポートの提出状況30%、確認テスト70%。
フィードバックはTeamsで行います。

教科書	参考図書
なし（必要に応じて参考サイト等を指示します）	授業中に指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
ウェブの最新動向（新しいサービスの登場やSNSに関する事件やニュースなど）によって、講義の内容が変わることがあります。
各種連絡および確認テストのフィードバック等はTeamsを通じて行います。ミニレポートに書かれた質問に対しては翌回の授業冒頭で解説を行います。
資料はTeamsで共有しますので、授業にはPCを持参してください。

01	オリエンテーション ～ 情報社会とは何か
02	今ウェブで何が起きているのか
03	メディアとは何か ～ 電話というメディア
04	もうテレビはいらない？ ～ マス・メディア時代の終わり
05	SNSとは何なのか ～ 承認欲求がすべて？
06	ウェブのコミュニケーション ～ AIとコミュニケーションは可能か
07	X（旧Twitter）の多様性
08	初音ミクの正体
09	YouTubeが変えたもの　～ 動画によるクチコミ
10	YouTuberたちの世界
11	ニコニコ動画のコミュニケーション ～ SNSと時間について考える
12	マイノリティとSNS
13	SNS事件簿 ～ ウェブで身を守るために
14	災害とSNS
15	確認テストと全体のまとめ
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG21F2S06　ウェブデザイン	担当者:岩佐 孝子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
ウェブページをデザインする際に必要となる、HTMLやCSSのコーディングについて実践的に行い、自らページを制作してその仕組みを学ぶ。

授業の到達目標
普段から日常的に閲覧・利用しているウェブページの仕組みや原理について理解し、HTMLやCSSを用いてウェブページをデザインすることができるようになる。(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
昨今のウェブページの傾向や自分がよく利用しているウェブページを、「デザイン」や「構成」、「利用し易さ」という観点から意識して閲覧してみる。（週に１度は30分ほど意識をして閲覧してください。）

評価方法
授業への取組意欲50%　提出課題50%によって総合的に評価する。
各個人に伝達したり、Ohka moodleやTeamsにより課題等のフィードバックを行う。

教科書	参考図書
適宜プリント配布	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先は授業で開示する。データ保存用にUSBメモリを用意すること。
パソコンは大学のコンピュータルームのものを使用する。
資料の提示やレポート等の提出をOhka moodleやTeamsで行う。

01	ウェブサイトのしくみと作成手順
02	コーディングとマークアップ言語
03	HTMLの基礎知識
04	HTMLの実習
05	CSSの基礎知識
06	CSSの実習
07	Webサイトの構築
08	トップページ、サブページの作成、画像表示
09	リンクの設定
10	サイドメニューの作成、表の作成
11	動画の挿入、見栄えとバランス
12	課題ページ作成（１）
13	課題ページ作成（２）
14	課題ページ作成（３）
15	総まとめ
16	なし

2024年度シラバス

科目名:MG22F2S07　デジタルデザイン	担当者:岩佐 孝子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
デジタルデザインの原理・原則を学び、画像編集ソフトを使って実践的に名刺やフライヤー（チラシ）などの制作を行う。

授業の到達目標
・デザイン制作におけるテクニックやルール（原理・原則）を理解している。(DP)
・コンピュータを用いて画像の加工や基礎的なグラフィックデザインの構想、制作が出来るようになる。　(DP)
【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
普段からよく目にする広告やチラシの「構成」や「レイアウト」「配色」などを意識して観察する。週に1度は30分ほど意識して閲覧し、メモを取っておいてください。（自分の制作物に役立てるため）

評価方法
授業への取り組み意欲50%　提出課題50%によって総合的に評価する。
Ohka moodleやTeamsにより課題等のフィードバックを行う。

教科書	参考図書
なし。適宜プリントを配布	授業内で紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先は授業で開示する。データ保存用にUSBメモリを用意すること。
パソコンは大学のコンピュータルームのものを使用する。
資料の提示やレポート等の提出をOhka moodleやTeamsで行う。

01	デザイン基礎知識（フォント・オブジェクト装飾・配色・レイアウト）
02	レイアウトソフト(Inkscape)の基本操作
03	オブジェクトツールとテキストツール
04	名刺の制作(1) 画面の設定、素材の作成、レイアウト
05	名刺の制作(2) 色彩の調整
06	画像編集ソフト（GIMP）の基本操作
07	選択範囲、パスの作成
08	レイヤーのしくみと画像の加工テクニック（フィルター）
09	色調補正、フォント加工
10	レイアウトの基本ルールと色彩について
11	フライヤーの制作(1) 目的・ターゲット決め（情報設定）キャッチフレーズ
12	フライヤーの制作(2) 素材準備・全体のレイアウト
13	フライヤーの制作(3) デザイン（配色・フォント）
14	作品講評
15	総まとめ
16	なし

2024年度シラバス

科目名:MG22F2S04　応用Ｅｘｃｅｌプログラミング	担当者:木下 博光	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
Excel攻略！。VBA（Visual Basic for Application）を使用し、Excelの可能性にチャレンジしながら学びます。より多くの例題、企業でのExcel使用例やサンプルプログラム作成を行うことで、VBAの使い方を身に付けます。関数ではできない高度な処理が可能になり利用範囲が広い。

授業の到達目標
実務においてVBAは必須となっているので、サンプルプログラムを作成をすることでコマンドの基本、プログラミングの流れを学び、VBA基礎知識の習得を目標とする。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
時間内に完成しなかった課題は次の演習までに完成しておくこと。

評価方法
授業への参加態度50％　作成したスケジュール帳50％で評価する。

教科書 随時プリント配布	参考図書 授業内で紹介

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
自分で使いたい、他人が使ってみたいと思うような作品をつくることが必要。Teamsにて連絡してください

01	ガイダンス、ＶＢＡ体験　マクロとVBAの違い
02	ＶＢＡ基本操作方法の実習　エディタの使い方　デバッグとエラー処理
03	ＶＢＡの基礎実習　コントロールの使用法　ラベル、ボタン、テキストボックス、フォーム
04	ＶＢＡの基礎実習　簡単なプログラムをつくってみよう 1　変数、データ型、代入
05	ＶＢＡの基礎実習　簡単なプログラムをつくってみよう 2　セルとワークシートの操作
06	ＶＢＡの基礎実習　簡単なプログラムをつくってみよう 3　動的配列、配列の演算
07	ＶＢＡの基礎実習　簡単なプログラムをつくってみよう 4　ループ処理For文、While文
08	ＶＢＡの基礎実習　簡単なプログラムをつくってみよう 5　文字列の操作
09	スケジュール帳を作ってみよう 1
10	スケジュール帳を作ってみよう 2
11	スケジュール帳を作ってみよう 3
12	スケジュール帳を作ってみよう 4　提出
13	Excelの復習　基本操作、基本関数、ショートカットキー
14	Windowsの基本操作の復習　ファイル管理、ショートカットキー
15	パソコン全体について復習
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG21F4L07　事務管理	担当者:加藤 洋美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
仕事において必要な事務処理の基礎的能力を身に付けるためにビジネス文書作成について学ぶ。文書作成は仕事を進めるうえで必要不可欠であり、職業人としてのみならず社会生活全般で求められる基本的素養である。作成に必要な用語、表現、書式など具体的な事例を学び、毎回講義で実践演習を行い、次回の小テストにより知識の定着を図り、情報伝達のコミュニケーションとしてこれらを活用することができるようにする。

授業の到達目標
①事務の本質、経営の側面からみた役割を理解することにより、仕事の基礎的能力を修得する。(DP)
②社会人として、基本的な表現力を身につけることにより、様々な人生の局面における問題に対応していく力を養う(DP)
③日本語文法に沿った正確かつ状況に応じた丁寧な文章表現を用い、社内宛、社外宛の簡単な文書を作成できるようになる。(DP)
④ビジネス文書検定の合格を目指す。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎〔思考力〕幅広い分野にわたる知識を身につけ、人間、社会、自然に対する理解を深める。
○〔専門知識〕幅広い知識に基づき、より広い視野に立って、物事を考えていくことができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
日頃から身の回りにある手紙や新聞などに関心を持ち、文章を注意深く読んでみる。言葉の意味に加え、正確でわかりやすい文章、感じのよい表現とはどのようなものかを意識する習慣をつける。
単元ごとに小テストを行うので、毎回講義終了後、学んだ内容を振り返り疑問点を解消し、基本事項は覚えること。

評価方法
確認テスト・小テスト・提出物など（70%）、授業に対する意欲的な取り組み・参加態度（30%）を評価し総合的に行う。

教科書
使用しません。初回授業で説明します。

参考図書
『よくわかる社会人の基礎知識　マナー、文書、仕事のキホン』
『ビジネス文書検定受検受験ガイド3級』　『ビジネス文書検定受験ガイド1・2級』

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
配付プリントは各自で整理しファイルしてください。連絡先は授業で開示します。

01	授業のオリエンテーション
02	ビジネスに使われる漢字、固有名詞
03	間違えやすい漢字
04	仕事の基本姿勢
05	文書の基礎知識
06	正確な文書
07	分かりやすい文書
08	礼儀正しい文書
09	社内文書
10	社外文書
11	社交文書
12	文書の取り扱い
13	ビジネス文書検定とは
14	就職活動に関する文書・メールの作成とマナー
15	学習のまとめと確認テスト
16	なし

2024年度シラバス

科目名:MG21F4L08　現代の労働法	担当者:伊藤 静香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
国際化や多様化が進む現代社会のさまざまな問題に適切に対応する力を養うために、幅広い知識を身に着け自己を成長させる。授業では「労働」をテーマに、講義だけでなく、プリント資料やDVDを活用して、すぐに役立つ実践的な内容で進める。また、コメントシート記入（毎回）やグループワークやワークショップ（2～3回）を行い、課題解決のために自主的、主体的に取り組む力を身に着ける。授業中に出した課題は次回の授業日にコメントする。【ＡＬ】

授業の到達目標
現代社会における働く女性の現状と課題を知り、学習を通して、一人ひとりが自分の人生に向き合あい、働く目的、目標を持つことができるようになる【DP】。労働に関する法律や制度を学び、雇用社会を生き抜く知恵を身に着けられるようになる。学修やグループワークを通じて、より広い視野に立って、物事を考えていくことができるようになる。【DP】
【到達目標と深く関連する学科DP】◎幅広い分野にわたる専門知識○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
準備学修：次回の授業で学習するテーマについて具体的な事例を考える。　事後学修：労働に関する記事や情報に関心を持ち、毎日1回は新聞やインターネットで労働に関連する記事や探し読み、自分なりの考えを持つ。　（準備学修、事後学修あわせて毎週4時間程度）

評価方法
①授業への参加態度20%　②授業に出席した際に配布するコメントシート30%　③期末レポート50%

教科書	参考図書
特に指定しない	授業中に指示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
対面授業におけるコメントシートは出席当日のみ受け付けます。教員の連絡先は授業にてお知らせします。

01	オリエンテーション：現代社会で女性が働くこと（グループワーク）
02	働く女性のあゆみ（グループワーク）
03	ワークルール①労働者を守る法律について
04	ワークルール②働く前に知っておきたいこと（採用・労働契約等）
05	ワークルール③働き始めに知っておきたいこと（労働条件、賃金、労働時間等） ワークルール：労働者を守る法律について
06	ワークルール④職業生活と社会保障
07	ワークルール⑤まとめ
08	職場のトラブル：ハラスメントの構造を学び、防止策を考える
09	人権問題としてのセクシュアル・ハラスメント
10	女性の就業をめぐる現状と課題
11	女性と子どもの貧困問題
12	多様化する雇用について考える
13	男女平等な働き方とは
14	女性と人身取引の問題
15	女性のキャリアと労働：自分らしい生き方を考える（ワークショップ）
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG21F4L06　国際社会と日本	担当者:櫻井 雅俊	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
「国際情勢のいま」を理解できるように5つのテーマ（「Gゼロ時代（危機にある国際秩序）」、核兵器の管理、中東の諸問題、地球環境問題、アジア太平洋と日本）についてパワーポイントを用い、基礎的な内容を学んでいく。各回の授業終わりに理解度を確認する小テストを実施する。

授業の到達目標
国際情勢に関する報道に関心を持ち、その内容の大筋を理解できるようになる。「幅広い分野にわたる専門知識（DP）」
授業を通じそのための基盤となる幅広い知識を手に入れる。「幅広い知識と広い視野に基づく思考力（DP）」

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
新聞を読む習慣をつける。授業と関連する記事を中心に毎日30分程度かけ目を通すべきである。全国紙（朝日、毎日、読売など）かブロック紙（中日）から1紙選び、朝刊のみに絞っても構わない。

評価方法
1.確認テスト×15回　75%
2. 授業への取組姿勢　25%

教科書	参考図書
使用しない。	『最新世界史図説タペストリー（20訂版）』（2022, 帝国書院）。ほか講義で紹介する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
特になし

01	オリエンテーション／地域からなる世界
02	「Gゼロ」の時代1　G7・G20・Gゼロ
03	「Gゼロ」の時代2　冷戦2.0か、地域分裂か
04	核管理1　原爆・水爆・ICBM
05	核管理2　「恐怖の均衡」
06	核管理3　核軍拡の時代、再び？
07	中東の考え方1　イスラーム入門
08	中東の考え方2　パレスチナ問題とアラブ民族主義
09	中東の考え方3　イスラーム主義と「テロとの戦い」
10	地球環境問題1　「持続可能な開発」とSDGs
11	地球環境問題2　地球温暖化問題
12	地球環境問題3　脱炭素社会へ／生物多様性の保全
13	アジア太平洋と日本1　「東アジアの奇跡」
14	アジア太平洋と日本2　製造拠点から市場へ
15	アジア太平洋と日本3　外国人労働者
16	なし

2024年度シラバス

科目名:MG22F4L09　企業と会計	担当者:久世 俊彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
私たちの身の回りでは、沢山の企業が活動しています。会計は、それら企業の活動を「貨幣」という尺度で写し取り、財務諸表として私たちに多くの情報をもたらしてくれます。この授業では、財務諸表を読み取る能力を育て、さらに現実の総務・経理実務で遭遇しそうな論点について解説をしていきます。

授業の到達目標
①財務諸表を読んで、企業の安定性・収益性・成長性を判断できるようにようになる（DP)。
②現実の総務・経理業務で遭遇しそうな論点につき、何を調べればよいかといった解決する方策を知識として習得する（DP)。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
〇幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
①ニュースや新聞などで最新の企業の活動をチェックしてください。
②強制する訳ではないのですが、財務諸表の「作り方」を学ぶ簿記３級を並行して学習するとよいと考えます。

評価方法
小テスト：3回実施、各10点　中間レポート：30点　確認テスト：30点　受講態度:：10点
　合計：100点

教科書	参考図書
講義資料を配布予定	谷武幸・櫻井久勝　編著『１からの会計』中央経済社

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
レジュメは配賦しますが、目次的なもので、当日の講義内容・板書を書き写して頂く事を想定しています。

01	講義の説明及び決算書を読むために必要最小限の簿記の知識の解説
02	企業を取り巻く各種法令（会社法、金融商品取引法、法人税法の３法について）
03	企業の業務サイクルの理解と商品売買（ERPパッケージソフトを例に）
04	総務、経理、営業事務の仕事
05	重要な三つの財務諸表ー貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書
06	人件費取引に関する会計処理
07	有価証券取引、固定資産取引の基礎①（主として有価証券取引）
08	有価証券取引、固定資産取引の基礎②（消耗品費、修繕費と資本的支出）
09	経費取引（交際費及び寄付金）に関して
10	金融商品会計とリース会計の基礎
11	経理業務（消費税の基礎と月次決算）①
12	経理業務（確定申告）②
13	本支店会計、連結財務諸表
14	会社法における様々な組織再編手法
15	ケース・スタディ（企業内容開示情報を入手する手法）
16	考査

2024年度シラバス

科目名:MG22F5L04　人体の科学	担当者:山下 玲香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
【担当者の実務経験】高等学校教諭
この授業科目では、元高等学校教諭での経験を踏まえ、学校保健の知見から、生命科学を日常生活で活用するための具体的な方策を学ぶ。また女子教育において必要な知識を身につけるだけでなく、自ら課題を発見し、発表に向け計画・準備を行い、他者へ伝える発信力を養う。また、この授業はアクティブラーニング形式を取り入れ授業展開をする。（AL）

「いのち」とは、2つの生命の結合により発生するものであり、その連続が今日の自分にたどり着いた生命の歴史そのものである。ヒトが生まれて死ぬまでの人体の不思議や身の回りの生き物の生態など、生命科学の基礎を学び、理解を深める。

この授業を受けることにより、生理学的な分野の知識を身につけ物事を考えていくことができる思考力と、課題解決に取り組むことができる行動力、様々な方法により他者に伝えようとするコミュニケーション力が身につく。

授業の到達目標
１）ヒトが生まれて死ぬまでの人体の不思議や身の回りの生き物の生態など、生命科学の基礎を理解する。…GDP１◎
　GDP２○
２）授業のテーマについて自ら考え、意見を述べたりまとめたりする。…GDP２、３○
３）ディスカッションや個人発表において、他者の意見や発言を聞き、協働して受講することができる。…GDP4○

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力
○仲間と協働して目標達成する行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
１）興味のあるテーマについて、書籍やインターネットで調べる。（週に30分程度）
２）提出された課題について、授業内で指定された方法で取り組む。（週に30分程度）

評価方法
１）まとめのテスト２0点、課題６０点（ノート、課題、発表など）、授業への意欲２０点（ディスカッション、質問など）の合計100点満点で評価する。なお、紙面のまとめや課題は翌週に口頭で、Teams上のデータの場合はコメントの記載でフィードバックをする。
２）授業中の迷惑行為（私語、化粧、スマホや携帯電話等の無断使用、遅刻、無断退出等）を行った場合は授業への意欲点に反映する。

教科書	参考図書
教員から随時指示する	教員から随時指示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
１）授業には前向きな姿勢で取り組むことを期待しています。課題には真摯に打ち込み、グループワークは積極的に発言してください。
２）PCでレジメを配布しますが、紙面の場合もあります。

01	いのちの多様性
02	ヒトのからだの不思議
03	ヒトのからだの構造と内分泌系
04	血液・心臓について　知る、考える／個人発表テーマ決め
05	個人発表準備
06	骨・筋肉について　知る、考える
07	個人発表
08	脂肪について　知る、考える
09	グループディスカッション
10	内臓について①　知る、考える
11	内臓について②　／菌（細菌、常在菌）について　知る、考える
12	ウイルスについて　知る、考える
13	ヒトと疾病の歴史について　知る、考える
14	感染症について　知る、考える
15	１～14回の授業まとめのテストおよびフィードバック
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG21F4L04　環境の科学	担当者:辻 広志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この授業では、様々な生態系における環境問題と生物の保全対策について学び、ヒトと自然の共生のあり方について考える。配布プリントによる講義を中心に、視聴覚教材、現物資料の提示、新聞記事、インターネット等を通して、自然環境や野生生物に対する理解を深める。フィールドワーク（1回）と少人数のプレゼンテーション（4回）も実施する。【AL】レポートや確認テスト等、提出物の講評は授業中やmoodle等で行う。

授業の到達目標
地球環境、生物多様性、生態系のしくみについて理解し、環境保全活動の実践方法を知る。【DP】

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
自宅周辺にはどのような動植物が生息しているか調べる。環境問題や野生生物に関する最新の情報を、新聞、雑誌、テレビ、インターネット等で入手する（4時間）。

評価方法
レポート点50%、平常点50%（授業感想文、授業への参加態度）で総合評価する。授業において提示した課題については、次回以降にフィードバックを行う。

教科書	参考図書
使用しない	授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
「エコ検定」等の環境に関する資格検定取得を目指す学生は是非受講してください。質問等がある場合は、研究管理棟２Ｆの218研究室に来てください。

01	イントロダクション：生物多様性と生態系サービス（自然の恵み）
02	生物多様性の危機の現状：世界のカエル類の約３割は絶滅の危機に瀕している！
03	生態系のしくみ：オオカミが自然を守っている？
04	植物の種子散布：身近な雑草の繁殖戦略
05	野外実習：キャンパスの樹木観察
06	侵略的外来種：アカミミガメ、ブラックバス、アライグマが日本の生態系を破壊する
07	環境変動による環境負荷：地球温暖化が生物に及ぼす影響
08	有害化学物質による環境汚染：「沈黙の春」と「メス化する自然」
09	生態系の保全：世界自然遺産の光と影
10	希少種の保全：レッドデータブックで絶滅危惧生物を調べよう
11	企業・市民による環境保全活動：企業の環境報告書を読もう
12	自然再生事業：ビオトープと多自然川づくり
13	女子学生の自然体験：身近な生き物アンケート
14	ダーウィンの進化論：生物多様性と進化のしくみ
15	まとめと確認テスト
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG21F3L02　福祉スポーツ	担当者:寺田 恭子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
様々な障がいのある人たちの身体活動とスポーツに関する歴史的変遷および現状について学び、全ての人間がスポーツという文化に親しみ、健康な心身を育んでいくためのスポーツと社会の在り方について理論と実践から学ぶ。

授業の到達目標
学生は、個々人の違いを理解し、より広い視野に立って物事を考える力を身につけ、“共にスポーツを楽しみ”、”共に生きること”をスポーツを通して深く考える。またそれらを通して社会生活に必要な教養と専門的な技術・知識さらに行動力が身につき（DP)、自らの持てる力を活かしてより良い人間関係を築き、社会に貢献することができる力を取得することを目標とする（DP）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○幅広い分野にわたる専門知識
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
2021年（夏季）および2022年（冬季）に開催されたパラリンピック等に関する情報をあらゆる角度から収集し、パラリンピックに関するディスカッションに積極的に参加できるよう準備をする。また事後学修については、新しい用語や制度などをノートに整理すること。1回の授業につき事前事後合計20分以上の学修活動を行うこと。

評価方法
　合計4回のミニレポートが10点満点×4回＝40点。障がいのある方との交流活動参加後のレポート課題20点満点。学期末確認テスト40点満点。以上の合計100点満点で評価する。授業において提示した課題（ミニレポート等）に対してはコメント付きで返却する。

教科書	参考図書
特になし。その都度プリントを配布する。	必要なときに提示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
掲示板を毎回チェックすること。授業は実技あり。実技の際には動きやすい服装と体育館シューズを忘れないように。スポーツを実践している障がいのある方を外部講師としてお呼びする（初級指導資格関連）ので、その授業には必ず参加すること。

01	オリエンテーション　スポーツのインテグリティと指導者の資質
02	障害者福祉施策と障がい者スポーツの諸施策
03	障がい児・者とスポーツの意義と理念および歴史的変遷
04	障がい者スポーツ推進と取り組みを学び、障がい者スポーツの未来を考える
05	障がいの理解：精神障がい者とスポーツ
06	全国障害者スポーツ大会の概要及びボランティアの現状と指導者制度
07	障がい者とのコミュニケーションスキルを学ぶ　重症心身障がい者及び様々な障がい者への理解
08	障がいの理解：肢体不自由・聴覚障がい
09	障がいの理解：知的障がい（発達障がい含む）の理解　映画を題材として
10	スポーツ環境と安全管理　個々の身体への対応
11	障がいの理解：視覚障がいへの理解　視覚障がい
12	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫　その１(肢体不自由、聴覚　内部障がい)
13	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫　その２（視覚障がい、音声言語障がい)
14	障がいのある人との交流：車いすダンススポーツの体験　外部講師（障がいのあるダンスアスリート）と共に
15	2024年に向けての課題とパラリンピックスポーツのレガシーについて考える。確認テスト。
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG22F3L03　社会福祉概論	担当者:新沼 英明	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　社会福祉の基礎的な理論、福祉のニーズとサービス、援助技術や法制度などをテーマに授業をすすめる。事例などを用いて社会福祉の視点を身につける。グループワークを２回程度取り入れ、自分たちの考えや意見を共有し発表する。

授業の到達目標
　現代社会における社会福祉の理念と意義、社会福祉のあゆみの過程と方向性を理解する(DP) 。福祉サービスの提供と組織運営、社会福祉従事者の現状と専門職制度を理解して連携の基盤を形成する(DP) 。社会福祉をめぐる動向を理解する(DP) 。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　それぞれの福祉分野について、自分達でも課題や現状などを調べる。　また、情報を共有した後で再度、理解が深められたかを復習する。予習復習合わせて１時間程度をめどとする。

評価方法
　学習態度と授業後に実施する小レポート（50%）授業内での確認テスト（（50%）

教科書	参考図書
資料を配布	授業時に紹介

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　質問は、小レポートに記入してもらい、次の授業で返答する。　連絡がある場合にはteams等を利用する。

01	現代社会と現代福祉　社会福祉の定義と授業の流れ
02	社会福祉の歴史　日本
03	社会福祉の歴史　主にイギリス
04	社会福祉のニーズそなどの把握
05	社会福祉サービスの概観　サービスの提供と組織運営
06	児童福祉
07	高齢者福祉
08	障がい者福祉
09	社会保障と公的扶助
10	地域福祉
11	社会福祉の法律としくみ
12	社会福祉の機関と施設　社会福祉従事者と専門職 社会福祉の機関と施設　社会福祉従事者と専門職倫理
13	社会福祉援助技術　直接的援助
14	社会福祉援助技術　間接的援助
15	社会福祉の今後の課題
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG21F3L06　フードデザイン	担当者:井寺 麻依	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法 皆さんにとって、食事とは何でしょうか？必要な栄養を体に入れることですか？食欲を満たすもの？ この授業では皆さんにとっての食事の意味を考えていこうと思います。 私たちの体に必要な栄養を知り、食事を作る意味を考え、正しく食べる方法がわかるようになることが目標です。 また、簡単な調理でバランスよく食べられるように調理方法の提案もしていきます。講義や調理デモンストレーションを行い、その後実習をし試食します。
授業の到達目標 ①　食事作りの基本を学び、食事を考え、作り、食べることの楽しさを知る。 ②　健康な食生活の基本や栄養に関する知識を理解する。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 授業内で学んだ調理に関すること、健康に関することを活かして自宅で積極的に料理をしてみてください。また、食や健康に関する情報に関心をもってください。
評価方法 小レポート（調理レポート13回）40%、大レポート60% レポートについては授業内で説明

教科書	参考図書
家庭料理技能検定　公式ガイド4級	家庭料理技能検定　各級テキスト

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 食事についてじっくり考えたい人、お料理が好きな人、これから挑戦していきたい人、是非受講してください。料理未経験でも大丈夫です。

01	健康で美しい身体作りのための生活習慣と食生活
02	ごはん作りの基本ー妊婦さんの食事を例にしてー、だしの取り方
03	おいしいごはんの炊き方、お気に入りのだしで味噌汁を作ろう【味噌汁】
04	野菜を切る①千切り　【サンドウィッチ（コールスロー）】
05	野菜を切る②みじん切り【ハンバーグ】
06	腸内環境を整える大切さ（美と免疫）【ビビンバ】
07	肉は敵か？！（コレステロール①）【鶏胸肉のごまだれ焼き】
08	女子力を上げる魚料理と豆腐料理（コレステロール②）【煮魚】
09	大豆を見直そう（コレステロール③）【麻婆豆腐】
10	骨を元気に！①　【失敗しないこくうまホワイトソース】
11	骨を元気に！②　”日本の調味料と乾物”　【高野豆腐】
12	骨を元気に！③　”衛生管理と常備菜”　【ひじきの煮物を使った副菜】
13	おやつって何だ？【豆腐の白玉】
14	気になる添加物を知る【小麦粉を使ったおやつ】
15	まとめ　献立作成の実際
16	

2024年度シラバス

科目名:MG21F5L03　遊びと運動	担当者:山下 玲香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
担当者の実務経験】高等学校教諭
この授業科目では、元高等学校教諭での経験を踏まえ、体育の知見から、人間の体の使い方、あらゆる身体活動について広く講義を行う。また知識を身につけるだけでなく、自分の体をどのように使うのか実践を行い、発表に向けての計画・準備を通し、他者へ伝える発信力を養う。また、この授業はアクティブラーニング形式を取り入れ展開する。（AL）

ヒトが生きていく中で自然と行える動作も、もとをたどれば遊びから学んでいることが多い。また、幼い頃の遊びは、スポーツ活動や健康行動に発展する。講義の前半では、古くから脈々と受け継がれている遊び（伝承遊び）を中心にヒトの身体活動を学ぶ。中盤では社会におけるスポーツを多方面からアプローチし、様々なかかわり方を学ぶ。後半では余暇としての身体活動について広く学ぶ。全体を通して、遊びやスポーツなどの余暇の活動によって人生が豊かになることを知り、自分の身体活動の視野を広げることを目的とする。
この授業を受けることにより、身体活動全般の知識を身につけ物事を考えていくことができる思考力と、課題解決に取り組むことができる行動力、様々な方法により他者に伝えようとするコミュニケーション力が身につく。

授業の到達目標
１）様々な角度から身体活動を捉え理解することができる…GDP１◎
２）考えたことを表現したり具現化して実践・表現することができる…GDP２，３○

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識
○主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
・普段からスポーツや遊び（レジャーを含める）に興味関心を持ち、文献や書物、テレビ、新聞などに目を通す（週あたり1時間程度）

評価方法
授業の参加態度および発表６0%　制作物・提出物・ノート４0%
授業中の迷惑行為（私語、化粧、スマホや携帯電話等の無断使用、遅刻、無断退出等）を行った場合、平常点から減点する。

教科書	参考図書
指定なし	指定なし

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
・レジメはTeams上で配布しますので、PCを持参してください。
・体を動かしますので、動きやすい服装と靴で参加してください。

01	「遊び」とは　ホモ・ルーデンス
02	子どもと遊び　伝承遊び（昔遊び）
03	伝承遊びの発展　身体活動としての遊びと発育発達
04	身近なもので作って遊ぶ（新聞：お手玉遊び）
05	身近なもので作って遊ぶ（折り紙：メンコ）
06	運動系伝承遊び：ゴム跳び
07	道具操作系伝承遊び：けん玉
08	道具操作系伝承遊び：駒
09	自然の中で行う伝承遊び：かくれんぼ、ドロケイ
10	生涯スポーツ／理想のジムを考えよう
11	理想のジムを発表しあう／競技スポーツ：スポーツをする・見る・支える
12	レクリエーションスポーツ
13	身近なもので作って遊ぶ：ニュースポーツやレクリエーションスポーツ①準備
14	身近なもので作って遊ぶ：ニュースポーツやレクリエーションスポーツ②発表
15	1～14回授業のまとめとフィードバック
16	試験なし

科目名:MG21F6S03　韓国語と韓国文化ⅡＡ	担当者:李 正子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:　韓国語と韓国文化ＩA、ＩBを受講しているか、それに相応する韓国語の実力がある		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
これからの時代は、外国人との共生が必要となる。このような時代や社会環境の変化に対して的確に対応するためにも、英語以外の外国語習得、特にアジア言語の習得は必須であると思われる。また、より広い視野に立って物事を考えるためにも他国の言語や文化を学ぶことは有意義である。韓国語と韓国文化２Aでは、上記の内容を念頭におき、中級レベルの韓国語の文法と会話、文化について理解を深める。【AL】

授業の到達目標
韓国語と韓国文化ＩA、Bですでに学んだ文法をもとに、同じ教科書の続きを学ぶ。後半からは教科書と同時進行しながら、Kポップの歌詞を翻訳してもらい、またその内容とその背景にある文化、思考方式を理解する。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力【DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識【DP】

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学習：前の週に配られたテキストの単語を調べ、読み込んでおく。必要時間：約１時間
事後学習：その日に学んだ単語を覚え、テキストとともに覚える。必要時間：約１時間

評価方法
授業に積極的に取り組み(30%)、2度の確認テストによって自分の達成度を確認し(50%)、単語テスト(20%)によって評価する。出席だけでは授業に参加しているとは評価しません。
単語テストは翌週に返却し、各自が間違えた単語を練習する。
確認テスト①、②はテスト終了後にその場で答えを確認する。

教科書	参考図書
ひかりとシフのどきどき韓国語（1年生のときに購入済み）朝日出版社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
好奇心、興味をもって授業に臨むこと。日常生活において、韓国の音楽、ドラマ、映画はもちろん、それだけでなく、SNSのやりとりもハングルでチャレンジするなど、いろいろなところで韓国語に触れてほしい。

01	授業の説明、導入、ウォーミングアップ　합니다体と助詞
02	第６課①　１）話者の意思、２）目的
03	第６課②　１）逆説、第７課　１）해요体、２）～から（助詞）
04	第８課　１）～や（助詞）、２）否定形
05	第９課①　１）過去形①、２）～て（並列）
06	第９課②　１）過去形②、２）～ので（原因）
07	まとめと確認テスト①　文化体験①映画鑑賞
08	文化体験②映画鑑賞
09	第10課①　１）～しに（移動の目的）、２）～れば（仮定、条件）
10	第10課②　１）計画、意図、K一popとハングル①
11	第11課①　１）過去形の해요体、２）可能形
12	第11課②　１）約束、宣言、K一popとハングル②
13	第12課①　１）～が好きだ、２）聞き手の意向をたずねる
14	第12課②　１）勧誘、２）形容詞連体形、K一popとハングル③
15	まとめと確認テスト②
16	試験なし
17	会話編　第１４課　条件、理由、勧誘
18	会話編　第１５課　意志・意向、逆説、許可
19	まとめと小テスト、文化講義「韓国の結婚式」
20	会話編　第１６課　意図、丁寧な依頼、助言
21	会話編　第１７課　으変則活用、不可能、理由原因
22	確認テスト
23	Ｋ－ｐｏｐ編１　Gee
24	Ｋ－ｐｏｐ編２　내가 제일 잘나가
25	Ｋ－ｐｏｐ編３　나 혼자
26	まとめと小テスト　文化講義「韓国の祝日、記念日」
27	映像編１　イルマーレ
28	映像編２　JSA
29	映像編３　私たちの幸せな時間

30	確認テスト

科目名:MG22F6S04　韓国語と韓国文化ⅡB	担当者:李 正子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限: 韓国語と韓国文化ⅡAを受講しているか、それに相応する韓国語の実力がある		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
これからの時代は、外国人との共生が必要となる。このような時代や社会環境の変化に対して的確に対応するためにも、英語以外の外国語習得、特にアジア言語の習得は必須であると思われる。また、より広い視野に立って物事を考えるためにも他国の言語や文化を学ぶことは有意義である。韓国語と韓国文化２Bでは、上記の内容を念頭におき、中級レベルの韓国語の文法と会話、文化について理解を深める。【AL】

授業の到達目標
韓国語と韓国文化ⅡAですでに学んだ文法をもとに、同じ教科書の続きを学ぶ。後半からは教科書と同時進行しながら、韓国に関する各々の関心事について発表を行い、その内容とその背景にある文化、思考方式を理解する。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力【DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識【DP】

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
準備学習：前の週に配られたテキストの単語を調べ、読み込んでおく。必要時間：約１時間
事後学習：その日に学んだ単語を覚え、テキストとともに覚える。必要時間：約１時間

評価方法
授業に積極的に取り組み(30%)、2度の確認テストによって自分の達成度を確認し(50%)、単語テスト(20%)によって評価する。出席だけでは授業に参加しているとは評価しません。
単語テストは翌週に返却し、各自が間違えた単語を練習する。
確認テスト①、②はテスト終了後にその場で答えを確認する。

教科書	参考図書
ひかりとシフのどきどき韓国語、朝日出版社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
好奇心、興味をもって授業に臨むこと。日常生活において、韓国の音楽、ドラマ、映画はもちろん、それだけでなく、SNSのやりとりもハングルでチャレンジするなど、いろいろなところで韓国語に触れてほしい。

01	前期の復習
02	第13課　　１）長い否定、２）～に（助詞）
03	第14課①　１）意志・推測、２）禁止
04	第14課②　１）ㅂ不規則用言
05	第15課①　１）～する前に、２）感嘆
06	第15課②　１）ㄷ不規則用言
07	まとめと確認テスト①
08	文化授業
09	第16課①　１）動詞連体形、発表①
10	第16課②　１）原因、発表②
11	第17課①　１）動作の順序、２）～まで（助詞）
12	第17課②　１）尊敬表現、発表③
13	第18課①　１）으不規則用言、２）不可能表現
14	第18課②　１）義務、発表④
15	まとめと確認テスト②
16	試験なし
17	会話編　第１４課　条件、理由、勧誘
18	会話編　第１５課　意志・意向、逆説、許可
19	まとめと小テスト、文化講義「韓国の結婚式」
20	会話編　第１６課　意図、丁寧な依頼、助言
21	会話編　第１７課　으変則活用、不可能、理由原因
22	確認テスト
23	Ｋ－ｐｏｐ編１　Gee
24	Ｋ－ｐｏｐ編２　내가 제일 잘나가
25	Ｋ－ｐｏｐ編３　나 혼자
26	まとめと小テスト　文化講義「韓国の祝日、記念日」
27	映像編１　イルマーレ
28	映像編２　JSA
29	映像編３　私たちの幸せな時間

30	まとめと確認テスト

2024年度シラバス

科目名:MG21F6L02　K文学	担当者:金 三淑	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
現代教養学科では国際社会や地域社会における様々な課題とその特徴を理解し、それらに意欲的に取り組むための知識と幅広い教養が 身についている人材であることが求められる。国際的な感覚を身につける人材になるためには、人間のことが深く理解できるように視野を広げて考える力を鍛える必要がある。そういう意味で外国の文学では、近くて遠い国、最近の若者たちに興味深い国、韓国を理解するために文学作品を読むことから始める。作品を読んで、学生自ら質問や話題を考える。それに答える形で授業を進める。さらに、授業に参加する学生みんなで自由に話ができるような雰囲気づくりに気を配り、活発な議論ができるようにする。【AL】

授業の到達目標
本授業は韓国の文学作品を読み、作品の内容・形式が理解できるようになる。特に韓国の代表的詩人・作家である李箱をはじめ、4人の作家の個別の作品を読んで、比較分析する過程で、韓国の文学作品のみならず韓国人に対して理解を深めることができる。(DP)
ただし、学生の構成に合わせ、内容を変更することもある。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎他者の意見を理解する力と自分の意見を相手に伝える力を身につけ、それらに基づいてよりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：授業で扱われる作品を読むこと。議論したいテーマを考えること。必要時間：約2時間
事後学修：自分の感想・見解をまとめてみること。必要時間：約2時間

評価方法
毎週の小課題50%、レポート課題50%
授業において提示した課題(試験、レポート等)に対するフィードバック方法について次回の授業日で、課題の中の特徴的な見解や誤解についての解説や学生のよくできた答案、論文等の紹介する。

教科書
必要に応じて、授業中に提示する。
『82年生まれ、キム・ジヨン』　チョ・ナムジュ　著、筑摩書房
『菜食主義者』ハン・ガン　著、新しい韓国文学01、クオン

参考図書
『李箱詩集』蘭　明　訳編、花神社
『李箱　作品集成』崔真碩　編訳、作品社
『空と風と星と詩』尹東柱全詩集、伊吹　郷　訳、記録社

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
韓国の文学作品を多く読み、自分なりの考えや斬新な発想を自由に話し合える授業を目指しています。文学に対しての熱意を持って、積極的に参加しましょう。
オフィスアワー：授業の前後。連絡用メールアドレスについては授業の初回に案内します。

01	ガイダンスー　韓国文学史の概略など
02	ユン・ドンジュ　―　詩「序詩」①
03	ユン・ドンジュ　―　詩「序詩」②・映画『ドンジュ』
04	李箱（イ　サン）　―　詩　「鏡」・「烏瞰図　詩第一號」
05	李箱　―　小説「翼」①
06	李箱　―　「翼」②
07	チョ・ナムジュ　―　小説「82年生まれ、キム・ジヨン」①
08	チョ・ナムジュ　―　「82年生まれ、キム・ジヨン」②
09	チョ・ナムジュ　―　「82年生まれ、キム・ジヨン」③
10	韓国の映画鑑賞①　「82年生まれ、キム・ジヨン」
11	韓国の映画鑑賞と議論②　「82年生まれ、キム・ジヨン」
12	ハン・ガン　―　連作小説「菜食主義者」①
13	ハン・ガン　―　「蒙古斑」（もうこはん）②
14	ハン・ガン　―　「木の花火」③
15	まとめと感想
16	なし

科目名:MG22F6L03　韓国社会論	担当者:都 恩珍	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本科目での学びは幅広い分野にわたる知識を身につけ、より広い視野に立って、物事を考えていくことができる思考力を身につけるものであり、社会生活に必要とされる教養と専門的な技術・知識を身につけるためのものです。アジアの中でも、とりわけ韓国と日本に焦点をしぼり（１）韓国の最新トレンドを中心に取り上げ、両国の違いが何かを理解し、その上で（２）両国の抱えている問題が何か、解決に向けて両国はどうしているかについて学びます。授業では、毎回のトピックについてテキストを予習した上で各自が関連内容を調べてから教員の講義を受けます。最新の韓国ニュースを調べることもあります。

授業の到達目標
次を目標とします。
（１）韓国の社会・文化を理解すると同時に、自国の文化について改めて理解を深める（DP）。
（２）日韓問題を理解することの意義について考える（DP）。
（３）アジアの国々の関連性について学ぶ（DP)。
（４）日本と韓国の過去・現在・未来について自分なりの視点を持つ（DP)。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：毎週のトピックについてテキストを熟読した後、文献、雑誌、ネットなどを利用して関連内容をさらに調べる（約２時間）。
事後学修：講義内容を総合的に理解し授業ノートを完成する。最新ニュースを確認する（約2時間）。
＊オリジナルの授業ノートや課題用のシート類は授業の最初の時間に配布します。

評価方法
授業参加態度20%、授業ノート40%、テキストの要約・週刊ニュースを含む課題（発表1回）40%
○授業ノートは毎回の授業後に提出（出欠チェックも兼ねる）
○課題はMoodleに提出
○フィードバックは、Moodleまたは授業中に行う。
○「授業参加態度」は、授業の参加姿勢や課題などの提出期限を守るかなどを考慮する。

教科書	参考図書
オリジナルテキスト	『新版日韓の文化比較と日韓問題ーよりよいに日韓関係を築くためにー』梁禮先　朝日出版社　2018年

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
自身の視点をもって取り組みましょう。連絡方法はMoodleと大学のメールで。
諸事情により授業内容を変更することがあります。オフィスアワー：水曜日2限、金曜日2限

01	ガイダンス、韓国と言えば？
02	日韓比較（１）似ているようで違う日本と韓国
03	日韓比較（２）韓国概要
04	日韓比較（３）入試戦争と就職難
05	日韓比較（４）兵役制度と恋愛・結婚
06	日韓比較（５）宗教観
07	日韓比較（６）日流・韓流
08	日韓比較（７）韓国トレンド（発表）
09	日韓比較（８）伝統文化（衣）
10	日韓問題（１）映画に見る日韓問題①
11	日韓問題（２）韓国近代史
12	日韓問題（３）映画に見る日韓問題②
13	日韓問題（４）在日コリアン
14	日韓問題（５）日本と韓国の過去・現在
15	日韓問題（６）日本と韓国の未来
16	なし

2024年度シラバス

科目名:MG2101S03　中国語と中国文化ⅡＡ	担当者:布 和	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限: 中国語の入門（ピンイン）を学んだ学生を対象にしている。		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　授業では、1年生で学んだ中国語の発音と入門会話を復習しながら、基本文法及び日常会話を学ぶ。1課ごとにグループワークを行い、練習を通して中国語会話能力を高めることとする。また、必要に応じて視聴覚資料を使って中国の文化や社会事情などを学習する。15回の授業を通して、中国語基本会話及び中国文化についての基本的な教養を身につけるようにする。【AL】

授業の到達目標
　既習した中国語を活用しながら、多くの語句や文章についての知識を深め、基本的な中国語を読んで理解できるようになる。発音練習を重ねることで、日常的な会話などの表現を活用することができ、また中国の歴史や文化を学び、中国の文化への深い理解ができるようになる。【DP】

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　授業で出された課題や授業前の予習・授業後の復習も添付したCDを使いながらしっかりと行ってください。授業で学習した内容を身につけるために、授業時間だけではとても足りません。授業時間と同程度か、場合によっては2倍近くの時間で積極的に取り組んでください。

評価方法
　授業への参加意欲20%、教員の質問に対する回答結果30%、確認テスト50%の割合で評価する。また、授業中や授業外の学生の質問に回答することを以ってフィードバックの方法とする。

教科書
　『わくわくスタディ　実学実用初級中国語』陳淑梅・古屋順子　著　朝日出版社

参考図書
　とくになし

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　連絡先は7302研究室で、教員のメール連作先はbuhe@ohkagakuen-u.ac.jpです。

01	ガイダンスと復習
02	第11課　会話：交番で道を尋ねる
03	第11課の練習
04	第12課　会話：今年はいくつ？
05	第12課の練習
06	文化体験　映画鑑賞
07	第13課　会話：毎日何時に起きますか？
08	第13課の練習
09	まとめと小テスト
10	第14課　会話：セールでの買い物
11	第14課の練習
12	文化体験　中国の歌　中国人の贈り物
13	第15課　会話：歴史記念館で
14	第15課の練習
15	復習と確認テスト
16	試験なし
17	第16課　テニスに誘う
18	第16課　ドリルの練習と会話⑥
19	第17課　バトミントンを楽しんだ後
20	第17課　ドリルの練習と会話⑦
21	食文化体験
22	第18課　中国語が聞き取れなくて
23	第18課　ドリルの練習と会話⑧
24	第19課　今何をしているの？
25	第19課　ドリルの練習と会話⑨
26	現代中国の紹介
27	第20課　引っ越し
28	第20課　ドリルの練習と会話⑩
29	後期のまとめ

30	まとめと確認テスト
31	なし

科目名:MG2201S04　中国語と中国文化ⅡB	担当者:布 和	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限: 中国語と中国文化ⅡAを履修した学生を対象の授業である。		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　授業では、2年生前期に学んだ中国語の会話と文法事項を復習しながら、難易度の高い会話と文法事項を学習する。課ごとにグループワークを行い、会話練習を通して中国語の聞くと話す能力を高め、また、中国語文章を書く練習を通して中国語文章の理解力をも高める予定である。更に必要に応じて視聴覚資料をも使用し、中国文化や中国社会に対する大事な教養を身につけるようになる。【AL】

授業の到達目標
　既習した中国語を活用しながら、多くの語句や文章についての知識を深め、基本的な中国語を読んで理解できるようになる。発音練習を重ねることで、日常的な会話などの表現を活用することができる。また中国の歴史や文化を学び、中国の異文化への理解を深めていく。【DP】

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　授業で出された課題や授業前の予習・授業後の復習も添付したCDを使いながらしっかりと行ってください。授業で学習した内容を身につけるために、授業時間だけではとても足りません。授業時間と同程度か、場合によっては2倍近くの時間で積極的に取り組んでください。

評価方法
　授業への参加意欲20%、教員の質問に対する回答結果30%、確認テスト50%の割合で評価する。また、授業中や授業外の学生の質問に回答することを以ってフィードバックの方法とする。

教科書	参考図書
『わくわくスタディ　実学実用初級中国語』陳　淑梅・古屋順子　著　朝日出版社	授業中に指示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　連絡先は7302研究室で、メールアドレスは、buhe@ohkagakuen-u.ac.jpです。

01	前期の復習と会話練習
02	第16課　会話：テニスに誘う
03	第16課の練習
04	第17課　会話：バドミントンを楽しんだ後
05	第17課の練習
06	文化体験　中国のお茶
07	第18課　会話：中国語が聞き取れなくて
08	第18課の練習
09	まとめと小テスト
10	文化体験　映画鑑賞
11	第19課　会話：今何をしているの？
12	第19課の練習
13	第20課　会話：引っ越し
14	第20課の練習
15	復習と確認テスト
16	試験なし
17	第16課　テニスに誘う
18	第16課　ドリルの練習と会話⑥
19	第17課　バトミントンを楽しんだ後
20	第17課　ドリルの練習と会話⑦
21	食文化体験
22	第18課　中国語が聞き取れなくて
23	第18課　ドリルの練習と会話⑧
24	第19課　今何をしているの？
25	第19課　ドリルの練習と会話⑨
26	現代中国の紹介
27	第20課　引っ越し
28	第20課　ドリルの練習と会話⑩

29	後期のまとめ
30	まとめと確認テスト
31	なし

科目名:MG2101S07　ポルトガル語とブラジル文化ⅡＡ	担当者:竹内 クリスチーナ	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
愛知県内の保育園、学校、職場、その他社会のあらゆる分野において、沢山のブラジル国籍の人が見られます。この授業では、ブラジル文化に触れながら、演習という形態で、会話や文章を通じて子どもから大人まで、コミュニケーションが取れるようにポルトガル語の能力を高めて、現代の多文化共生社会で生きる上で役に立つ知識の習得を目指します。

授業の到達目標
ポルトガル語の「読む」「書く」「聞く」「話す」能力を向上し、日常会話や文章の読み書きができるようにします。(DP)
【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業の内容の復習や練習のための準備をすること。（各授業について１時間）

評価方法
授業への参加意欲・態度　２０％
確認テスト　５０％
発音の確認　３０％

教科書
新たな書籍の購入は不要です。

参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡はメールやラインで行います。毎回の授業の積み上げが重要です。学習を通して分からないところや疑問点が生じた場合は、遠慮せずに質問してください。

01	オリエンテーション、自己紹介
02	名詞、冠詞、発音の確認
03	形容詞、ser動詞
04	指示詞、所有詞
05	第２回～第４回の内容を使っての練習
06	ブラジル文化の紹介①
07	動詞の現在形
08	estar動詞、場所の副詞
09	第７回～第８回の内容を使っての練習
10	未来を表す表現
11	時間を伝える表現
12	これまでの内容を使っての会話の作成
13	会話の発表
14	まとめ
15	ブラジル文化の紹介
16	

2024年度シラバス

科目名:MG2201S08　ポルトガル語とブラジル文化ⅡＢ	担当者:竹内 クリスチーナ	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
愛知県内の保育園、学校、職場、その他社会のあらゆる分野において、沢山のブラジル国籍の人が見られます。この授業では、ブラジル文化に触れながら、演習という形態で、会話や文章を通じて子どもから大人まで、コミュニケーションが取れるようにポルトガル語の能力を高めて、現代の多文化共生社会で生きる上で役に立つ知識の習得を目指します。

授業の到達目標
ポルトガル語の「読む」「書く」「聞く」「話す」能力を向上し、日常会話や文章の読み書きができるようにします。(DP)
【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業の内容の復習や練習のための準備をすること。（各授業について１時間）

評価方法
授業への参加意欲・態度　２０％
文章の作成　５０％
発音の確認　３０％

教科書	参考図書
新たな書籍の購入は不要です。	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡はメールやラインなどで行います。毎回の授業の積み上げが重要です。学習を通して分からないところや疑問点が生じた場合は、遠慮せずに質問してください。

01	これまでの内容の確認
02	querer動詞、要求を伝える表現
03	gostar動詞、好みを伝える表現
04	第2回～第３回の内容を使っての練習
05	ir動詞、誘いを伝える表現
06	ter動詞、義務を伝える表現
07	第５回～第６回の内容を使っての練習
08	動詞の現在進行形
09	疑問を伝える表現
10	動詞の過去形
11	これまでの内容を使って、会話の作成
12	これまでの内容を使って、会話の練習
13	ブラジル文化の紹介
14	会話の発表
15	まとめ
16	

科目名:MG2101S11　英語と英米文化ⅡＡ	担当者:高橋 妙子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
授業を２部構成にし、前半は英米文化を学び、Listening のコツを掴む練習やペアワークなどで会話の練習をします。後半は、欧米のビデオ（映画、海外ドラマなど）を見たり、洋楽を聞いていろいろなActivity にチャレンジします。(AL)(EN)

授業の到達目標
実際に使われている英語に触れ、シチュエーションや文化的背景を理解しながら、「使える英語」を聞き取り、内容を理解し、さらに使いこなす力を身につけていきます。ペア／グループワークを通して、英語でコミュニケーションが取れるようになります。 (DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業で学んだ表現や語彙は必ず覚え、課題や復習はしっかりと行うこと。 moodleに授業で使用する音声ファイルや動画を見ることができるので、適宜アクセスして課題に取り組むことができます。通学などの時間を利用して繰り返し視聴して、各自のペースで学習すること。フィードバックは、主にmoodle & 大学メールで伝達。

評価方法
Activity (Pair & Group Work) = 30 %　　Quiz = 20 %　　Review Test =　50 %

教科書	参考図書
No Textbook	授業内で紹介

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
辞書必携（電子辞書、辞書アプリOK) 普段から英語の歌や映画、ドラマなどを聞くように心がけてください。たくさん英語の音を聞くことで、ある日「聞こえる」ようになる瞬間を、実感して欲しいと思います。

01	Orientation, English & Culture about greetings
02	English & Culture about family and home
03	English & Culture about directions
04	English & Culture about daily routines
05	English & Culture about places
06	English & Culture about times
07	Review 1
08	English & Culture about food preferences
09	English & Culture about people's appearance
10	English & Culture about fashion
11	English & Culture about jobs and skills
12	English & Culture about weather forecasts
13	English & Culture about personal qualities
14	Review 2
15	Movie & Review All
16	なし

科目名:MG2201S12　英語と英米文化ⅡＢ	担当者:高橋 妙子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
授業を２部構成にし、前半は英米文化を学び、Listening のコツを掴む練習やペアワークなどで会話の練習をします。後半は、欧米のビデオ（映画、海外ドラマなど）を見たり、洋楽を聞いていろいろなActivity にチャレンジします。(AL)(EN)

授業の到達目標
実際に使われている英語に触れ、シチュエーションや文化的背景を理解しながら、「使える英語」を聞き取り、内容を理解し、さらに使いこなす力を身につけていきます。ペア／グループワークを通して、英語でコミュニケーションが取れるようになります。 (DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業で学んだ表現や語彙は必ず覚え、課題や復習はしっかりと行うこと。 moodleに授業で使用する音声ファイルや動画を見ることができるので、適宜アクセスして課題に取り組むことができます。通学などの時間を利用して繰り返し視聴して、各自のペースで学習すること。フィードバックは、主にmoodle & 大学メールで伝達。

評価方法
Activity (Pair & Group Work) = 30 %　　Quiz = 20 %　　Review Test =　50 %

教科書	参考図書
No Textbook	授業内で紹介

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業には辞書必携（電子辞書、辞書アプリOK）。普段から英語の歌や映画、ドラマなどを聞くように心がけてください。たくさん英語の音を聞くことで、ある日「聞こえる」ようになる瞬間を、実感して欲しいと思います。

01	Orientation (Summer Vacation Activity)
02	English & Culture about personal and family news
03	English & Culture about directions and destinations
04	English & Culture about appointment details
05	English & Culture about sports & hobby preferences
06	English & Culture about travel arrangements
07	Review 1
08	English & Culture about order at a restaurant
09	English & Culture about medical problems
10	English & Culture about expressions about money
11	English & Culture about problems and solutions
12	English & Culture about zodiac sign
13	Christmas Activity
14	Review 2
15	Movie & Review all
16	なし

2024年度シラバス

科目名:MG2101S15　英会話ⅡＡ	担当者:佐分 ジュディス スミス	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
英会話IIA is an elective course for second year students in the Liberal Arts Department.
The aim of this course is to enable students to provide basic information about themselves in English.
Also, students will learn conversation for survival in environments outside Japan.【ＥＮ】

授業の到達目標
Upon successful completion of this course students can:
1. Communicate in English with confidence, 自信をもって英語で話せるようになります。
2. Understand more spoken English through improved listening skills, 英語の聴解力を高められます。
3. Speak with a strong command of grammatical

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
Students need to review the vocabulary learnt in every lesson and practice conversations with their classmates outside class. They need to talk a lot inside and outside the classroom.

評価方法
Classwork/Preparation/Participation (30%),
Quizzes/Assignments (30%),
Homework (20%),
Final Speaking Check (15%)
Projects (5%)

教科書	参考図書
Out Front 6th Edition	Please bring pen or pencil, notebook, textbook and dictionary to each class.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Don’t forget to bring your textbook and all your handouts to each class.
Participate actively in all activities.
Do all assigned homework on time and review what you study in class.
Finally, do your best and have fun using English with your teacher and

01	Course introduction, explanation of course goals and expectations
02	Unit 7 Vacations: Vocabulary Introduction
03	Unit 7 Vacations : Shadowing and listening activities
04	Unit 7 Vacations: Conversation Practice
05	Unit 7 Vacations: Quiz and games
06	Unit 6 Routine: Vocabulary Introduction
07	Unit 6 Routine: Shadowing and listening activities
08	Unit 6 Routine: Conversation Practice
09	Unit 6 Routine: Quiz and review
10	Unit 8: Help, I am lost: Vocabulary Introduction
11	Unit 8: Help, I am lost: Handouts and directions practice
12	Unit 8: Help, I am lost: Listening activities
13	Unit 8: Help, I am lost: Conversation practice
14	Unit 8: Help, I am lost: Quiz and speaking test practice
15	Speaking test
16	If make up class is needed

2024年度シラバス

科目名:MG2201S16　英会話ⅡＢ	担当者:佐分 ジュディス スミス	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
英会話IIB is an elective course for second year students in the Liberal Arts Department.
The aim of this course is to enable students to provide basic information about themselves in English.
Also, students will learn conversation for survival in environments outside Japan.【ＥＮ】

授業の到達目標
Upon successful completion of this course, students can:
1. Communicate in English with confidence, 自信をもって英語で話せるようになります。
2. Understand more spoken English through improved listening skills, 英語の聴解力を高められます。
3. Speak with a strong command of grammatical

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
Students need to review the vocabulary learnt in every lesson and practice conversations with their classmates outside class. They need to talk a lot inside and outside the classroom.

評価方法
Classwork/Preparation/Participation (30%),
Quizzes/Assignments (30%),
Homework (20%),
Final Speaking Check (15%)
Projects (5%)

教科書	参考図書
Out Front 6th Edition	Please bring pen or pencil, notebook, textbook and dictionary to each class.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Don’t forget to bring your textbook and all your handouts to each class.
Participate actively in all activities.
Do all assigned homework on time and review what you study in class.
Finally, do your best and have fun using English with your teacher and

01	Course introduction, explanation of course goals and expectations. review and games
02	Unit 9 Travel: Vocabulary introduction
03	Unit 9 Travel: Shadowing and listening activities
04	Unit 9 Travel: Conversation Practice
05	Unit 9 Travel: Quiz and review
06	Halloween Around the World handouts and project selection
07	Halloween Project presentation and party
08	Unit 10 Dating Vocabulary and Listening activities
09	Unit 10 Dating Conversation and game activities
10	Unit10 Quiz Unit 11: Eating out Vocabulary Introduction
11	Unit 11 Eating out: listening and conversation practice
12	Unit 11 Eating Out: Review and quiz
13	Christmas party
14	Unit 12 if time allow Speaking test practice
15	Review of Units 9-11 (12 if possible) Speaking test and games
16	None

科目名:MG10L1L01　キャリアデザインⅠ	担当者:茶谷 淳一、高谷 邦彦、辻 広志、綾部 六郎、山下 玲香、小出 祥子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
卒業後、社会で自分を活かしていくために必要な力を養います。各種の講演や講座、社会と接点を持つための研修、そして自分達での調査や報告発表のプレゼンテーションなどを行います。必要な知識や情報の獲得をし、実践方法を体験的に学び、社会人として活躍するための基礎となる力を身につけます。【AL】

授業の到達目標
(1) 社会で必要になる知識やマナー、行動力、思考力、チームワーク力を身につけること (DP)
(2) 自分の進路について具体的に考えられるようになること(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
○幅広い分野にわたる専門知識
◎幅広い知識と広い視野に基づく思考力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
自身の将来計画や自己分析など（毎週1時間程度）
筆記試験対策問題集やオンラインでの小テスト（毎週10分程度）
報告会などでの発表の準備作業、レポート作成（随時2時間程度）
キャリア・スタディにおける企業や事業所の下調べ（随時2時間程度）

評価方法
1. 平常点 30点 （キャリア・スタディルーブリックによる評価：10 点、キャリエノート記入活用状況：5 点、筆記試験対策問題集：5 点、Microsoft Teams 上での小テスト評価点：10点）
2. レポート点 40点 （生き方シンポジウムレポート：5点（500字）、キャリア・スタディレポート：10 点（1000字）、キャリアデザインレポート ：20 点（4000字）、内定者報告会レポート：5点（500字））
3. 発表点 30 点 （キャリア・スタディクロストーク ：10点、面接対策講座：10 点、キャリアデザイン報告会 ：10 点）

教科書	参考図書
『キャリエノート』(現代教養学科作成)	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
この授業の内容はすべて、社会で活躍していくのに必要になることです。毎回の授業に積極的に関与して、内容を吸収していくという姿勢が重要です。また話を聞く、自分で考える、マナーやルールを守ることなどは日常生活でも実践してください。授業内容の変更や持ち物などは学科掲示板で確認してください。緊急の連絡にはLINEや電子メール、teamsを使うので、各自で登録をしておいてください。

01	キャリア・スタディ説明会/就職活動の流れ キャリア・スタディ説明会/就職活動の流れ
02	コミュニケーション講座①
03	コミュニケーション講座②
04	訪問の準備①
05	マナー講座
06	訪問の準備②
07	キャリアスタディ訪問
08	キャリア・スタディ　クロストーク①
09	キャリア・スタディ　クロストーク②
10	学外インターンシップの探し方 学外インターンシップの探し方
11	自己分析
12	履歴書・エントリーシートの書き方
13	生き方シンポジウム
14	業界企業研究　人事担当者
15	筆記試験対策の方法
16	模擬試験
17	求人票/四季報／業界地図／図書館内就活コーナーの使い方
18	業界・企業研究②人事担当者の話
19	メイク講座
20	面接対策講座
21	面接シート作成
22	面接対策講座実践
23	進路講演会
24	2年生内定者報告会

25	模擬テスト②
26	就職活動に関する個人面談
27	就職活動に関する個人面談
28	キャリアデザイン報告会の準備①
29	キャリアデザイン報告会の準備②
30	キャリアデザイン報告会
31	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG10L1S01　教養演習Ⅰ	担当者:茶谷 淳一、高谷 邦彦、辻 広志、綾部 六郎、山下 玲香、小出 祥子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
　1年次に少人数で行われる演習です。大学での学び方や学生生活の過ごし方を考えたり、自分の生き方を含めた進路についても学んだりしていきます。　またこの授業では、他の授業で学んだ知識・スキルを活用しつつ、チームによる問題解決の体験を通じて「読む・聴く・話す・書く・調べる」力を発揮させる仕方も学習します。そのためにゼミの仲間とともに学内外でのさまざまなプロジェクトに取り組みながら、パソコンを使って資料を作成し、その成果を発表します。【ＡＬ】

授業の到達目標
　この授業では、一人ひとりの学生がゼミというチームの中でどのような役割を果たすべきかを考えながら、プロジェクトの企画や実行、まとめなどを行うことで、社会に出てから働くために本当に必要とされる力（社会人基礎力）を身につけ、円滑に仕事に従事できるようになることが目標です。[DP]

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
○幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　この授業においては、社会人基礎力の向上がもっとも重要な課題となります。ゼミの仲間とのチーム学習が中心となるので、日頃から連絡や意見交換などの基本的なコミュニケーションの機会を大切にし、ゼミ活動を充実させるように心がけることが重要です。

評価方法
　平常点（5割・出席状況なども含む）や提出レポート（4割・全6本）、共通テキスト『ゼミノート』の記入内容（1割）などから総合的に評価します。

教科書 『ゼミノート』および配布資料	参考図書 担当教員から指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
担当教員やゼミのメンバーとしっかりコミュニケーションを取り、充実した学生生活を送れるようにしましょう。
困ったことやわからないことは、担当教員に遠慮なく聞いてください。

01	GENKYO FESの説明／レポートの書き方
02	GENKYO FESの準備①役割決め
03	GENKYO FESの準備②内容の決定
04	GENKYO FESの準備③制作物の作成
05	GENKYO FESの実施①
06	GENKYO FESの実施②
07	GENKYO FES振り返り＆大学祭企画話し合い①
08	大学祭企画話し合い②　企画決定
09	読書①　ビブリオバトル説明
10	読書②　図書館講習・本を借りてみよう
11	読書③　実際に読んでみよう／個人面談
12	ビブリオバトルの実施（予選）
13	ビブリオバトルの実施（本選）
14	ビブリオバトル振り返り＆POP作成
15	GENKYO成果報告会に向けて　課外研修予定の報告
16	GENKYO成果報告会の準備
17	GENKYO成果報告会の実施
18	有松絞り体験①　大学祭企画の話し合い
19	有松絞り体験②　大学祭企画の話し合い
20	大学祭の準備①　実施計画の作成
21	大学祭の準備②　役割の確認
22	大学祭の準備③　制作物の作成
23	大学祭の準備④　制作物の完成
24	大学祭での実践
25	大学祭での実践
26	大学祭の振り返り
27	2年ゼミ説明
28	研究室訪問①

29	研究室訪問②
30	1年間の振り返り
31	

2024年度シラバス

科目名:MG11L1S03　日本語表現Ａ	担当者:小出 祥子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
大学生活や、社会生活において、言語によるコミュニケーションは欠かせません。言語表現能力の向上をはかるため、日本語を「話す・聴く・書く・読む」力を培います。具体的には、学内でのインタビュー活動(1回)や、その成果のプレゼンテーション(1回)等を行ないます。活動への取組みを通じて、ディプロマポリシーの3に関連する実践的な日本語表現力を身につけます。提出された課題については、添削を行い返却します。【AL】

授業の到達目標
１．対話の諸形式(1対1、1対複数…)に応じた適切な言葉遣いができるようになる(DP)
２．適切にメモを取ったり、あいづちを打ちながら、対話できるようになる(DP)
３．文章を書く際に、読み手を意識できるようになる(DP)
４．実用書を複数読み、筆者の意見を比較できるようになる

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
・毎週行なわれる漢字小テストの学習をすること(小テストごとに1～2時間程度)
・新聞をスクラップする習慣を身につけ、社会の出来事に対して関心を持つこと(課題ごとに1～2時間程度)
・プレゼンテーションの準備は、授業前までに必ず終わらせること(2時間程度)
・その他、必要に応じて課題が出ることがある

評価方法
授業への参加態度(課題の提出を含む)40%、漢字小テスト30%、確認テスト30%

教科書
『実践 日本語表現 ―伝わる日本語を身につける』小出祥子編　学術図書出版社　2023年
『漢検10日間でできる練習問題』準2級

参考図書
授業内で適宜指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
グループ活動の多い演習形式の授業です。そのため、欠席は他の受講生の迷惑となります。やむを得ず欠席する場合は、事前に受講生同士で連絡を取り合い、お互いに迷惑をかけないように努めましょう。

01	ガイダンス/図書館
02	新聞の読み方
03	レポートの書き方/インタビュー準備
04	新聞学習・漢字学習・メールの書き方
05	新聞学習・漢字学習・メールの書き方
06	新聞学習・漢字学習・インタビュー内容
07	新聞学習・漢字学習・インタビュー実践
08	新聞学習・漢字学習・インタビューのまとめ
09	新聞学習・漢字学習・報告会の準備
10	新聞学習・漢字学習・報告会の準備の完成
11	新聞学習・漢字学習・報告会
12	新聞学習・漢字学習・報告型レポートの書き方
13	新聞学習・漢字学習・報告型レポートの推敲
14	新聞学習・漢字学習・報告型レポートの完成
15	まとめ・確認テスト
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG12L1S04　日本語表現Ｂ	担当者:小出 祥子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
主に、論理的な日本語の文章を「読む力」と「書く力」を養成します。具体的には、図書館を利用し、文献検索の方法を学びます。更に、テーマに沿って、複数の文献を比較しながら読む活動を繰り返します。この活動により、ディプロマポリシーの３に関連する「各文献の要点を明確にし、自らも意見を持つ力」を養います。
また、根拠に基づいた論理的な文章の作成方法を学び、就職活動における書類の作成や卒業研究に役立てます。

授業の到達目標
・自ら必要とする情報を文献から探すことができるようになる
・複数の文献を読み、比較検討することができるようになる
・客観的で説得力のある文章を書くことができるようになる(DP)
・自らの魅力を分かりやすく文章で表すことができるようになる(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
・毎回の授業で、漢字小テストを行うため、学習を行なうこと(テストごとに1～2時間程度)
・新聞のスクラップを行なうこと(スクラップごとに1時間程度)
・授業内で読みきれない文献については、授業外で読むこと(1時間程度)
・授業内で書ききれない文章については、授業外で作成すること(1時間程度)

評価方法
授業への参加態度(課題の提出を含む)40%、漢字小テスト30%、レポート30%

教科書	参考図書
『実践 日本語表現 ―伝わる日本語を身につける』小出祥子編　学術図書出版社　2023年	授業中に適宜指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業中はもちろん、授業外でも多くの文献を読む必要があります。また文章を書く際には、皆さん自身が意見を持ち、文章を作成しなければなりません。そのため、授業に主体的に取り組む姿勢が求められます。

01	漢字学習・就職作文の準備
02	漢字学習・就職作文の完成
03	漢字学習・論文を読む
04	漢字学習・レポートの準備
05	漢字学習・事実と意見の書き分け
06	漢字学習・論証について
07	漢字学習・テーマと主張の決定
08	漢字学習・資料の探し方と引用の方法
09	漢字学習・構成を考える
10	漢字学習・構成を完成する
11	漢字学習・レポートの執筆
12	漢字学習・レポートの完成
13	漢字学習・レポートの推敲
14	漢字学習・レポートの添削
15	漢字総復習・まとめ
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG11L1S05　コンピュータ演習Ａ	担当者:岩佐 孝子、加藤 和幸	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
現代の高度情報化社会を生きていくうえで求められるコンピュータとソフトウェアについての基礎知識や、ウェブの効果的で安全な利用方法などを演習形式で実践的に学びます。
基本的には各自のノートパソコンを使っての作業になりますので、毎回パソコンを持参すること（担当教員の指示に従ってください）。【ＡＬ】

授業の到達目標
コンピュータやオフィスソフトの基本操作だけではなく、情報化社会で生きていくために必要となる総合的な情報活用力とリテラシーを身につけることを目標とします。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
この授業で学んだ内容は、授業の中だけで終わらせずに、サークルや委員会活動、ゼミ活動、学科行事、就職活動など、実際のさまざまな場面で活用してみましょう。
毎回授業後に復習をして知識を定着させること（60分程度）。

評価方法
授業への参加状況（40%）と課題への取り組み状況（60%）によって評価します。
フィードバックはTeamsで行います。

教科書	参考図書
必要に応じてプリントを配布	授業内で指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
各自のノートパソコンを使う実習です。
連絡手段については担当教員の指示に従うこと。

01	オリエンテーション ～ Gmailの利用方法とメールマナー
02	学内システムの利用法：Teams、Moodle、ohka.net、オンラインでのファイル操作
03	Google検索の基本（複数キーワード、マイナス検索、画像検索、ストリートビュー等）
04	インターネットセキュリティ：SNSの注意点、アカウント管理、ドメインの仕組み、フィッシング詐欺、等
05	ビジュアル表現：イラスト・画像の効果的な使い方と加工、配色、レイアウト、著作権、等
06	PowerPoint：基本操作～箇条書きとアニメーション
07	PowerPoint：リンク（外部リンク、スライド間リンク）
08	PowerPoint：プレゼンテーション準備1
09	PowerPoint：プレゼンテーション準備2～実践1
10	PowerPoint：プレゼンテーション実践2
11	Excel：セル操作の基本（追加、削除、連結、連番、コピー、並べ替え等）
12	Excel：基本関数（セルを使った四則演算、SUM、AVERAGE等）
13	Excel：関数（セルの相対指定、絶対指定、If関数等）
14	Excel：各種グラフの作成とカスタマイズ
15	前期のまとめ
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG12L1S06　コンピュータ演習Ｂ	担当者:鈴村 市恵、加藤 和幸	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
現代の高度情報化社会を生きていくうえで求められるコンピュータとソフトウェアについての基礎知識や、ウェブの効果的で安全な利用方法などを演習形式で学びます。
後期は２年次の卒業研究や就活を意識した実践的な情報活用やプレゼンテーションに取り組みます。
基本的には各自のパソコンを使っての作業になりますので、毎回ノートパソコンを持参すること（担当教員の指示に従ってください）。【ＡＬ】

授業の到達目標
コンピュータやオフィスソフトの基本操作だけではなく、情報化社会で生きていくために必要となる総合的な情報活用力を身につけることを目標とします。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
この授業で学んだ内容は、授業の中だけで終わらせずに、サークルや委員会活動、ゼミ活動、学科行事、就職活動など、実際のさまざまな場面で活用してみましょう。
毎回授業後に60分程度の復習をして知識や技術を定着させること。

評価方法
授業への参加状況（40%）と課題やプレゼンへの取り組み状況（60%）によって評価します。
フィードバックはTeamsで行います。

教科書	参考図書
必要に応じてプリント等を配布します。	授業内で指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
各自のノートパソコンを使う実習です。
連絡手段については担当教員の指示に従うこと。

01	コンピュータとネットワークの基礎：OS、アプリケーション、ファイル、フォルダ、IPアドレス、ブラウザ、サーバ、等
02	論文検索（CiNii、Google Scholar）、正しい引用方法、著作権・肖像権の取り扱い、等
03	Word：レポートの書き方（書式、形式、引用、参考文献、等）
04	Word：ビジネス文書の書き方（送付状・お礼状）
05	Word：箇条書き、画像や図表の挿入と配置、等
06	WordとExcelの連携：グラフの挿入と配置～アンケート結果の報告レポートを書いてみよう
07	就活メール作法：基本編（件名の書き方、挨拶と言葉遣い、署名、等）
08	就活メール作法：返信編（CCとBCC、全員に返信、引用、等）
09	オンラインでのグループワーク①（Teamsを使ったファイル共有とチャット）
10	オンラインでのグループワーク②
11	自己PRプレゼンの準備（スライドの作成）
12	自己PRプレゼンの準備（スライドの完成とリハーサル）
13	自己PRプレゼン（発表）前半
14	自己PRプレゼン（発表）後半
15	まとめ
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG11L2S01　ＣＡＤ演習	担当者:町田 由徳	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
コンピュータを使って、製品や建築物などの形状を設計するためのソフトウェアを「CAD（キャド）」と呼びます。本授業では、3DのCADソフト「Fusion 360」を使って基本的な形状の3Dモデリングやアクセサリーのデザインを体験し、CADオペレータとして就業出来るスキルの獲得を目指します。また制作のプロセスを通じて、現代教養学科のGDP.2、GDP.3で謳われている[専門知識]と[思考力]を身につけます。

授業の到達目標
・3D CADを活用したモデリングが出来るようになる。(DP)
・第三角法による図面の読み書きが出来るようになる。(DP)
・CADを活用して簡単な製品をデザイン出来るようになる。(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
3D CAD、3Dプリンタによるものづくり関連の動画鑑賞や、CAD操作方法の復習など、準備・事後学修を計4時間程度行う。

評価方法
提出課題70% 授業への取り組みの姿勢30%　提出作品は最終回講評により評価、フィードバックを行う。

教科書	参考図書
なし。適宜資料を配布します。	「Fusion 360マスターズガイド　ベーシック編」小原照記、藤村祐爾 ソーテック社　2,980円

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
3D CADソフト「Fusion 360」を使用するために無料の「Autodeskアカウント」の作成が事前に必要となります。初回授業前にTeamsにて方法の指示を掲載するので確認してください。
授業時間外の質問等についてはTeams,Moodle,Eメールにて受け付けます。

01	ものづくりにおける「CAD」概論、Autodeskアカウントの確認
02	投影図による図面表現と、製図の規約について
03	スケッチの作成練習
04	ペン立ての制作　(1)スケッチ、押し出し
05	ペン立ての制作　(2)穴あけ、着色
06	コマの制作　(1)スケッチ、回転
07	コマの制作　(2)面取り、フィレット
08	マグカップの制作　(1)スケッチ、ロフト
09	マグカップの制作　(1)スイープ、着色
10	2D図面の作成
11	アセンブリー、レンダリングについて
12	アクセサリーのデザイン　(1)アイデアスケッチ
13	アクセサリーのデザイン　(2)モデリング
14	アクセサリーのデザイン　(3)アセンブリー、レンダリング
15	3Dプリント、作品講評とまとめ
16	なし

2024年度シラバス

科目名:MG12L2L01　ＩＴパスポート入門	担当者:木下 博光	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
ストラテジ系（経営全般）、マネジメント系（IT管理）、テクノロジ系（IT技術）の各分野の基礎から取り組み、毎回CBT（Computer Based Testing）を使って問題を解いていく。

授業の到達目標
経営戦略、マーケティング、財務、法務など経営全般をはじめ、セキュリティ、ネットワークなどのITの基礎知識、プロジェクトマネジメント知識など幅広い分野の知識習得し、国家試験「ITパスポート」取得を目標とする。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
過去問題集を活用して国家試験対策を行う。

評価方法
15回目に行う確認テスト（100%）の成績により評価する。

教科書	参考図書
随時プリント配布 参考図書の購入をお勧めします。	イメージ&クレバー方式でよくわかる 栢木先生のITパスポート教室 出版社 ： 技術評論社

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
就職内定後、企業からITパスポート取得を求められる学生が毎年出てきます。就職活動前に取得することを強く勧めます。
Teamsにて連絡してください

01	ガイダンス　国家試験受験方法と合格基準
02	テクノロジ系（基礎理論）
03	テクノロジ系（アルゴリズムとプログラミング）本年度より国家試験導入課題
04	テクノロジ系（コンピュータ構成要素・システム構成要素）
05	テクノロジ系（ソフトウエア・データベース）
06	テクノロジ系（マルチメディア・ネットワーク・セキュリティ）
07	ストラテジ系（会計・財務・経営戦略）
08	ストラテジ系（ビジネスインダストリ・システム戦略）
09	ストラテジ系（知的財産権・標準化関連）
10	マネジメント系（システム開発技術・開発プロセス・手法）
11	マネジメント系（プロジェクトマネジメント・サービスマネジメント）
12	マネジメント系（システム監査）
13	過去問1
14	過去問2
15	まとめ、確認テスト
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG11L2L02　秘書概論	担当者:吉田 智美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
サービス業の仕事や秘書業務を理解し、社会から求められる資質や要求される役割などを学んでいく。さらに、サービス接遇検定や秘書検定の問題やケースワークをもとに、具体的に必要とされる人材について理解をする。グループワーク（全５回）を行い、社会人としての心構えを認識する。【ＡＬ】
。
【担当者の実務経験】企業での実務経験、接客経験などから机上の内容でだけでなく、卒業後の仕事に活かせる内容を意識し、授業を行う。

授業の到達目標
職業人として取り巻く人間関係、関係対応などを知ることで将来働く姿をイメージし、学生時代とは異なる社会人としての対応ができるようなることを目標とする。
さらに、仕事を行う姿勢などを学び、卒業後び仕事へ向かう意識を身につける。
秘書検定2級、サービス接遇検定2級、準1級の検定合格を目標とする。
社会生活で必要とされる知識を身につけ、その持てる力を活かし、社会へ貢献することを目的とする。「（DP）」

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
社会問題に対して、新聞やニュースなどから積極的に知識を得るようにすること。事前課題や事後課題、検定対策、確認テスト対策などで、おおよそ30時間程度の予習復習を要する。具体的な内容に関しては、授業中に指示する。1回（事前）秘書検定はどのような問題なのか、テキストを読む（4時間）2-3回（事後）今までのコミュニケーションの仕方について、普段の生活に取り入れる（4時間）4～15回（事後）授業内で説明された部分をテキストで確認をし、間違えた問題を解き直し理解する（4時間）

評価方法
授業への参加態度（話し合いへの参加、提出物）40%、レポート20%、確認テスト40%
提出課題については、次回授業時に解説、返却を行う

教科書	参考図書
秘書検定2級クイックマスター（秘書検定2級取得者も必要）、秘書検定2級実問題集（秘書検定2級取得者は準1級実問題集を使用）	授業中に指示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
秘書検定、サービス接遇検定などの検定取得を目指し、主体的に学んでほしい。
質問などはオフィスアワーで対応、連絡先は授業内に伝える。

01	オリエンテーション　学生と社会人との違いについて
02	コミュニケーションについて①　聴き方、話し方　グループワーク
03	コミュニケーションについて②　伝え方　グループワーク
04	第一印象の重要性
05	接遇用語について
06	社交業務
07	接遇の意義について
08	事務仕事の基本知識
09	仕事をするうえで必要とされる基本的能力について
10	秘書の役割機能について
11	秘書を取り巻く人間関係について
12	仕事をしていく上で求められる心構えについて　グループワーク
13	仕事をしていく上で求められる人材とは　グループワーク
14	企業で働くということについて
15	まとめ、確認テスト、解説
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG11L2S04　簿記Ａ	担当者:杉原 誠志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
ビジネス社会で必要な基礎知識としての「簿記」の基本原理を理解する（前半）。企業の在り方や経営の仕組みの一部も「簿記」を通して学ぶ。知識を習得するために多くの演習問題を自ら解く方法として①問題集②Teamsによる課題③プリントによる課題の指示と提出により知識を定着をさせる。確認テストを第15回に実施する。

授業の到達目標
初めて「簿記」を勉強する人を対象として「簿記A」「簿記B」の継続した履修により、日商簿記検定3級レベルの基本原理と知識を理解して技能を習得できるようになる。(DP)
仕訳をすることにより基本的な経営活動の記録ができ、決算手続により財務諸表の作成ができる準備をすることができる。(DP)

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
＜準備学習＞各授業のレジュメで指示（YouTube動画視聴等）30時間
＜事後学修＞各授業のレジュメで指示（課題や授業の復習等）45時間
＜授業開始前学修４月＞YouTubeの動画等「日商簿記３級 入門」等のキーワードで検索して視聴　10時間
＜授業終了後学修８月＞ 「簿記A」のまとめ復習　5時間

評価方法
授業への参加態度：課題・レポート・ノート・問題集提出等を含む（50%）第13回にノートと問題集の提出
確認テスト　　：第15回に実施（50%）

教科書	参考図書
『みんなが欲しかった！簿記の教科書』日商3級（TAC出版）	『簿記ワークブック3級』（中央経済社）授業で使用

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
復習を丁寧にすると次回の授業の理解度があがります。第1回の授業で電卓について説明をします。
第5回目以降から電卓が必要になります。「連絡先は授業で開示します」

01	ガイダンス「簿記」
02	簿記の基礎　勘定科目と仕訳
03	簿記の基礎　仕訳から転記
04	商品売買　現金預金
05	手形と電子記録債権（債務）
06	有形固定資産
07	その他の取引（1）　未収入金と未払金　貸付金と借入金
08	その他の取引（2）　前払金と前受金　仮払金と仮受金　立替金と預り金
09	その他の取引（3）　差入保証金　支払家賃　消費税　株式の発行　商品券
10	帳簿（1）　仕訳帳と総勘定元帳
11	帳簿（2）　現金出納帳　当座預金出納帳　小口現金出納帳
12	帳簿（3）　仕入帳と売上帳　受取手形記入帳と支払手形記入帳
13	帳簿（4）　売掛金元帳と買掛金元帳　商品有高帳
14	総復習
15	まとめと小テスト
16	「試験なし」
17	有価証券の記帳
18	固定資産の記帳
19	純資産（資本）と税金の記帳
20	決算整理（売上原価の計算）
21	決算整理（貸し倒れの見積もり）
22	決算整理（減価償却）
23	決算整理（費用・収益の繰り延べ）
24	決算整理（費用・収益の見越し）
25	８桁精算表の作成（1）
26	８桁精算表の作成（2）
27	財務諸表の作成
28	５伝票制の集計と転記
29	総合演習
30	まとめと小テスト（2）

2024年度シラバス

科目名:MG12L2S05　簿記Ｂ	担当者:杉原 誠志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
ビジネス社会で必要な基礎知識としての「簿記」の基本原理を理解する（後半）。決算手続きを理解して、財務諸表（貸借対照表・損益計算書）を作成する。財務諸表作成までのプロセスを理解し、企業の経営状況に関する判断ができるようになる。知識を習得するために、多くの演習問題を自ら解く方法として①問題集②Teamsによる課題③プリントによる課題を提出することにより、知識の定着をしていく。確認テストを第15回に実施する。

授業の到達目標
初めて「簿記」を勉強する人を対象として「簿記A」「簿記B」の履修により、日商簿記検定3級レベルの基本原理と知識を理解して技能を習得できるようになる。(DP)「簿記」を理解することにより、企業の経理事務に必要な会計知識だけでなく「財務諸表」を読む力により、基礎的な経営管理や分析力も習得できるようになる。(DP)

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
＜準備学習＞各授業のレジュメで指示（例：YouTube動画視聴等）45時間
＜事後学修＞各授業のレジュメで指示（例：課題や授業の復習等）45時間
＜授業終了後学修２月＞　「日商簿記３級 模擬問題」を５回分　実施・採点・見直し
〔①推薦した問題集②自分で選択した問題集または③インターネットから模擬問題〕　10時間

評価方法
授業への参加態度：課題・レポート・ノート・問題集提出等を含む（50%）第13回にノート・問題集の提出
確認テスト　　：第15回に実施（50%）

教科書	参考図書
みんなが欲しかった！「簿記の教科書」日商3級（TAC出版） ：前期に購入したものを使用します	「簿記ワークブック３級」（中央経済社）授業で使用 ：前期に購入したものを使用します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
復習を丁寧にすると次回の授業の理解がより高まります。「日商簿記３級」を受検する場合は多くの模擬問題に取り組み、見直し学習を大切にすると良いでしょう。「連絡先は授業で開示します」

01	試算表
02	決算整理と精算表　　決算手続Ⅰ
03	貸倒引当金　　決算手続Ⅱ(1)
04	減価償却　　決算手続Ⅱ(2)
05	売上原価　　決算手続Ⅱ(3)
06	前払費用と前受収益　　決算手続Ⅱ(4)
07	未払費用と未収収益　　決算手続Ⅱ(5)
08	決算整理後残高試算表　　決算手続Ⅱ(6)
09	精算表①　　決算手続Ⅲ(1)
10	精算表②　　決算手続Ⅲ(2)
11	財務諸表の作成　　決算手続Ⅲ(3)
12	勘定の締め切り　　決算手続Ⅲ(4)
13	伝票と仕訳日計表
14	発展的な内容
15	まとめと小テスト
16	「試験なし」

2024年度シラバス

科目名:MG11L2L03　医療実務Ａ	担当者:塚本 佳子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
医療実務に関連する法規、医療機関のしくみ、医療費のしくみ、医療用語、患者接遇など、医療機関の事務職員として必要な知識を学びます。さらに、ホスピタルコンシェルジュ検定合格をめざします。また、授業で理解した内容を業務に活かせるよう、PBL（問題解決学習）を取り入れます。【AL】
提出された課題については、授業内にて模範解答を示しフィードバックします。

授業の到達目標
　医療事務に関連する法規、医療機関のしくみ、医療費のしくみ、医療用語、患者接遇の方法などを理解するとともに、医療機関窓口等での基本業務について、得た知識を応用し、考えることができるようになる。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
・授業のみの学習では知識の定着が難しいため、必ず復習として自宅学習をすること。
・各回の授業で出された課題を積極的に取り組み、理解しづらい点は付箋などをつけ必ず次の授業にて質問すること。（毎回の準備・事後学修180分程度）

評価方法
確認テスト40%、課題提出30%、授業への取組意欲30%

教科書	参考図書
テキスト１(医療保障制度）（ソラスト）	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先は授業内にお伝えします。授業内で分からないことがありましたら遠慮なくご質問ください。

01	オリエンテーション（受講ルールと到達目標） 接遇の基本について
02	医療サービスとは
03	医療機関における接遇
04	医療機関の概要
05	医療保険給付の仕組み
06	医療保障制度と医療保険制度
07	その他の医療保障制度（公費負担医療制度等）
08	医療機関における組織
09	法律に基づく医療
10	個人情報の取り扱いと医療の質
11	診療報酬と調剤報酬
12	労災保険と自賠責保険
13	損益管理と医事統計
14	実践問題（場面別接遇）
15	総復習と確認テスト
16	試験なし
17	医療用語４（検査・処置）
18	医療事務職員の基本業務を考える（ＰＢＬ）
19	医事業務におけるﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄを考える（ＰＢＬ）
20	薬と薬効
21	調剤基本料のしくみと算定方法
22	調剤基本料算定の実際
23	薬剤料等のしくみと算定方法
24	薬剤料等算定の実際
25	調剤料のしくみと算定方法
26	調剤料算定の実際
27	薬学管理料のしくみと算定方法
28	薬学管理料算定の実際
29	調剤レセプトの書き方

30	調剤レセプト作成演習
31	定期試験

2024年度シラバス

科目名:MG12L2L04　医療実務Ｂ	担当者:塚本 佳子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択必須

授業概要と方法
医療実務に関連する法規、調剤報酬の算定方法、医療用語、患者接遇など、医療機関の事務職員として必要な知識を学びます。さらに、ホスピタルコンシェルジュ、調剤事務管理士などの検定合格をめざします。また、授業で理解した内容を業務に活かせるよう、PBL（問題解決学習）を取り入れます。【AL】

授業の到達目標
　医療事務に関連する法規、医療機関のしくみ、医療費のしくみ、医療用語、患者接遇の方法などを理解するとともに、医療機関窓口等での基本業務について、得た知識を応用し、考えることができるようになる。（DP）
　調剤報酬のしくみと算定方法を知り、調剤薬局における事務とは何かを理解することができるようになる。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
・授業のみの学習では知識の定着が難しいため、必ず復習として自宅学習をすること。
・各回の授業で出された課題を積極的に取り組み、理解しづらい点は付箋などをつけ必ず次の授業にて質問すること。（毎回、準備・事後学修として180分程度）

評価方法
確認テスト40%、課題提出30%、授業への取組意欲30%

教科書	参考図書
テキスト１（医療保障制度）、テキスト2（調剤報酬の算定）、テキスト3（トレーニングブック）、資料ブック、薬価表、調剤報酬明細書　（全て、ソラスト）	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先は授業内にお伝えします。授業内で分からないことがありましたら遠慮なくご質問ください。

01	オリエンテーション（受講のルールと到達目標について）／薬局の基礎知識
02	処方箋の基礎知識
03	調剤報酬の算定１（調剤基本料）
04	調剤報酬の算定２（薬剤料及び特定保険医療材料）
05	調剤報酬の算定３（薬剤調製料）
06	調剤報酬の算定４（薬剤調製料の加算）
07	調剤報酬の算定５（薬学管理料）
08	調剤報酬算定のまとめ
09	レセプトの作成方法について
10	薬の基礎知識
11	調剤薬局における接遇マナー
12	医療用語１（病名略語等）
13	医療用語２（検査、薬品略語等）
14	実践問題（学科）（実技）
15	総復習と確認テスト
16	試験なし
17	医療用語４（検査・処置）
18	医療事務職員の基本業務を考える（ＰＢＬ）
19	医事業務におけるﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄを考える（ＰＢＬ）
20	薬と薬効
21	調剤基本料のしくみと算定方法
22	調剤基本料算定の実際
23	薬剤料等のしくみと算定方法
24	薬剤料等算定の実際
25	調剤料のしくみと算定方法
26	調剤料算定の実際
27	薬学管理料のしくみと算定方法
28	薬学管理料算定の実際
29	調剤レセプトの書き方

30	調剤レセプト作成演習
31	定期試験

2024年度シラバス

科目名:MG11F1L01　コミュニケーションの心理	担当者:岡本 加苗	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本講義では、実際の場面で相手とどのようにコミュニケーションを取るとよいかを考えていく。
① よりよい人間関係を築いていくことができるコミュニケーション力を身につけるために、コミュニケーションに関する様々な心理学の知見を解説していく。②ペアワークなどのコミュニケーションの実習や、心理尺度、グループディスカッションを通して、自己の特性や対人関係の特徴に気づくことにより、講義内容への理解を深める。【AL】
【担当者の実務経験】臨床心理士、公認心理師として携わったカウンセリング経験を踏まえ、実場面での相手とのコミュニケーションの取り方を講義する。

授業の到達目標
①人間関係をうまく形成するためのコミュニケーションの力を身につける。
②コミュニケーションについての心理学的な知識を深める。
【到達目標と深く関連する学科DP】
◎GDP3〔コミュニケーション力〕他者の意見を理解する力と自分の意見を相手に伝える力を身につけ、それらに基づいてよりよい人間関係を築いていける。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業で興味を持った内容について関連図書を読んで、理解を深める（1回の授業につき４時間）。

評価方法
授業時の実習参加態度や小レポート（40%）確認テスト（60%）

教科書	参考図書
指定なし	授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
毎回の授業の最後に授業の感想や疑問点などを小レポートにまとめて提出してもらう。

01	対人コミュニケーションの特徴を知る①：社会的スキル
02	対人コミュニケーションの特徴を知る②：言語･非言語コミュニケーション
03	自分をどのように評価しているかを知る①：自己概念
04	自分をどのように評価しているかを知る②：自己評価
05	人からどのように見られているかを知る①：対人魅力
06	人からどのように見られているかを知る②：自己開示・自己呈示
07	集団の中での自分について知る①：リーダーシップ
08	集団の中での自分について知る②：支配と服従
09	親子関係・友人関係を知る①：愛着理論
10	親子関係・友人関係を知る②：友人関係
11	攻撃性について知る①：攻撃行動
12	攻撃性について知る②：怒りのコントロール
13	ストレスとその対処について知る①：ストレス・コーピング
14	ストレスとその対処について知る②：ソーシャル・サポート
15	まとめと確認テスト
16	なし

科目名:MG12F1L02　カウンセリング入門	担当者:木村 洋太	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
「カウンセリング」とは、相談に来た人の心の悩みをカウンセラーが聞き、自分自身の力で立直っていくきっかけをつくったり、気持ちや考え方を整理していくサポートを行うことを指します。
　本授業では、話の聴き方、質問の仕方などカウンセリングの基本を学ぶことによってコミュニケーション力を向上させると共に、現代の児童・生徒の抱える諸問題や、発達障がい、様々なココロの問題についての理解を深め、種々の心理的支援の方法について学びます。
実践検討や問題解決のためのグループワーク、簡単な実験、ペアワークを複数回行う【AL】

授業の到達目標
①相手の話をうなずきや相づちを用いて、しっかりと相手に共感しながら聞くことができ、よりよい人間関係を築いていくためのコミュニケーション力を向上させることができる。
②自分の考え方のくせや長所に気づくことができる。
③様々な心理療法のアプローチの仕方を知るとともに、カウンセリングの具体的な技法について理解できる。
④現代人の抱える諸問題について適切に理解することができる。
⑤ペアワーク等の体験を通して課題に取り組むことで，実践的な理解やスキルを身につけ，自己理解や他者理解を深める。
【到達目標と深く関連する学科DP】
◎GDP1〔コミュニケーション力〕他者の意見を理解する力と自分の意見を相手に伝える力を身につけ、それらに基づいてよりよい人間関係を築いていける。
◎GDP3〔思考力〕幅広い知識に基づき、より広い視野に立って、物事を考えていくことができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
①授業の中で関心を持ったテーマについて，関連書籍などを読み，理解を深める。
②授業で得た学びを積極的に日々の生活に取り入れ，日常生活における対人関係を通して実践的に学びを深める。
③アップされた各授業での感想や質問（振り返りレポート）を読み、多様な意見があることを知る。また、振り返りレポートに対するフィードバックを出すことで、思考の言語化チャレンジする。
（①②③を合わせて1つの授業につき４時間）

評価方法
持ち込みなしの確認テスト(50%)+授業への参加態度(20%)＋各授業の振り返りレポート（30%）。振り返りレポートに書かれていた疑問点については次授業で説明を加える。

教科書	参考図書
使用しない	授業の中で適宜紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先は、オリエンテーションでお伝えします。
manabaに資料や課題をアップするので、登録し、頻繁に確認してもらいます。

01	人との距離感が心地よさに影響を与える（人のパーソナルスペースと相談）
02	ストレスとストレスコーピング
03	人の気持ちを理解しようとする態度（来談者中心療法から）
04	傾聴のための技法（聴き方、質問の仕方、共感、リフレクション）
05	傾聴のための実践（ロールプレイで模擬カウンセリング体験）
06	主張の仕方　アサーション（相手を尊重しつつ自分の意見を主張する）
07	行動の理由に迫る（行動分析学）と認知行動療法
08	リフレーミング（見方や考え方を変える）
09	そのままを受け入れる　マインドフルネス
10	問題理解と実践検討①　うつ病・双極性障害の理解と対応
11	問題理解と実践検討②　摂食障害の理解と対応
12	問題理解と実践検討③　境界性人格障害の理解と対応
13	問題理解と実践検討④　不安障害（HSP含む）の理解と対応
14	問題理解と実践検討⑤　発達障害の理解と対応
15	まとめと確認テスト
16	

科目名:MG11F1L05　ポピュラーカルチャー論	担当者:梶川 瑛里	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この授業では、日本のポピュラーカルチャーをテーマとし、その特徴、歴史、問題などを横断的な視点から捉えることで、世界の中における日本文化の位置付けについて考察します。普段無意識に受容しているポピュラーカルチャーの「日本」成分とは何かを客観的に考えることで、グローバル社会に必要な思考力と表現力を養います。
1時間ごとに講義と演習を行います。演習では主に、メディア・コンテンツ分析の実践（エッセイ・ライティング）をします。授業はグループワークやディスカッションを含むこともあり、参加人数に応じてプレゼンテーション（挙手制）を実施します。【AL】

授業の到達目標
①現代日本のポピュラーカルチャーをトランスナショナルな視点から批判的に捉えることができる。（DP）
②様々なメディアに関する知識を得たり、コンテンツを分析したりすることで、メディア・リテラシーを身につけることができる。（DP）
③文化や社会に対する考えを、自分の言葉で具体的かつ論理的に表現することができる。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
【準備学修】※約2時間
授業で提示された課題に取り組むこと。授業に関連する話題について積極的にリサーチすること。
【事後学修】※約2時間
授業で提示された質問に回答すること。授業で学んだことをプリントやノート等にまとめること。

評価方法
○授業への参加態度・復習／予習課題：40％
○中間テスト：30％
○期末テスト：30%

教科書	参考図書
適宜紹介します。	授業中に指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
○インターネットに散らばる様々な国や地域の文化に接することで、日本のポップカルチャーを相対的に捉え、世界と日本の関係について考え直してみましょう。
○授業の資料提示やアナウンス、質問の受付等はTeamsを用います。連絡先は授業で開示します。

01	イントロダクション：授業の概要と進め方、成績評価に関する説明
02	音楽①：J-POPとは何か
03	音楽②：音楽の聴き方
04	映画①：日本映画の現在
05	映画②：映画の見方
06	テレビ①：ネット時代におけるテレビ
07	テレビ②：テレビの見方
08	中間テストとこれまでのフィードバック
09	漫画①：世界の中のマンガ
10	漫画②：漫画の読み方
11	アニメ①：「アニメ」とアニメーション
12	アニメ②：アニメーションの見方
13	セレブリティ①：アイドルとトランスアジア
14	セレブリティ②：アイドルの見方
15	コンクルージョン：期末テストとフィードバック
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG11F2L01　コンピュータ・ネットワーク	担当者:木下 博光	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
コンピュータの基本である、2進数の計算から始め、通信の仕組みを学習していく。テレワークなどで広まったVPNの仕組み、ソーラーパネルを使った光通信の実験なども行う。

授業の到達目標
コンピュータやインターネットなど、近年の情報技術の進展は著しい。現代の情報社会において、これらの仕組みを正しく理解し使用することが求められている。この講義ではこれからの社会参加に向けて、コンピュータネットワークに関する基礎的な知識を習得することを目標とする。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
パソコン情報のホームページなどを見て、最新の技術に関心を持つ。

評価方法
15回目に行う確認テスト（100%）の成績により評価する。

教科書	参考図書
随時プリント配布	令和04年 イメージ&クレバー方式でよくわかる 栢木先生のITパスポート教室　出版社: 技術評論社

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
最近では各メディアで情報機器や技術に関する話題を目にする機会も多いと思います。講義の理解を深めるためにも、日頃から関心をよせるように心がけましょう。参考図書の購入を強く勧めます。Teamsにて連絡してください

01	ガイダンス
02	コンピュータネットワークの歴史
03	2進数の計算
04	16進数の計算
05	通信ネットワークの原理　bit、bps
06	パソコンの仕組み（ハードウェア）CPU・RAM・HDD・VGA・Ethernet
07	通信機器の仕組み（ハードウェア）サーバーとクライアント構成
08	ソフトウエアの仕組み（クライアント編）ブラウザーとメーラー
09	ソフトウエアの仕組み（サーバー編）Webサーバの役割と機能　VPNの仕組み
10	ネットワーク層・トランスポート層・アプリケーション層
11	イーサネット（LAN)構成法・IPv4・IPv6, 無線LAN、LANケーブルの作製
12	情報セキュリティ対策　ウィルス対策、不正アクセス
13	クラウドコンピューティング SaaS（アプリケーション）、IaaS（ハードウェア）
14	最新の通信技術紹介
15	まとめ、確認テスト
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG11F2L02　データサイエンス入門	担当者:茶谷 淳一	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
科学技術が発展しビッグデータやAIによって大きく変わろうとしている社会の中で、AIやデータを利活用するための基礎的な知識を習得し、留意点を理解する。また、データ処理の基本ソフトであるExcelを用いて実際のデータを用いた演習を行うことで、統計の知識を身につけ、データサイエンスを体験する。（DP）

授業の到達目標
①社会におけるデータやAIの活用状況を理解し、データで説明することの重要性を理解することができる。②統計の基本的な考え方を身につけ、データを読み、分析することによって、データの特徴を「大づかみ」することができる。③注意すべき点について留意しながら、データやAIを利用することができる。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
毎回、Excelを用いたデータ分析を授業内で行う。もし、授業時間内にできなかった場合は、資料を見ながら自習し、次回までに終えておくこと。また、moodleで行う毎回の小テスト課題は、締め切りまでに提出する。以上の事前事後学習を4時間行う。

評価方法
小テスト課題：60%、授業課題20%、総合演習課題：20%。なお、毎回の小テスト課題は答え合わせの時にmoodle上でフィードバックされます。授業課題は授業で作成した課題を提出していただきます。また、総合演習課題はすべての授業終了後、moodleにフィードバックします。

教科書	参考図書
なし	吉岡、森倉、小林、照屋著「AIデータサーエンスリテラシー入門」技術評論社、2022年

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
１．名短Moodleにアップした（講義）資料は必要に応じて各自プリントアウトすること。ただし、資料ファイルやプリントアウトを他人に配布しないこと。（演習）資料はダウンロード禁止
２．授業には毎回、PCとスマートホンを必ず持ってくること。キャリアスタディの日程によってオンデマンド授業の日が変更されることあります。

01	（講義）社会で起きている変化①、（演習）PCの確認、Excelの基本的な操作方法①
02	（講義）社会で起きている変化②、（演習）PCの確認、Excelの基本的な操作方法②
03	（講義）社会で活用されているデータ①、（演習）時系列データの可視化①
04	（講義）社会で活用されているデータ②、（演習）時系列データの可視化②
05	（講義）データ・AIの活用領域、（演習）平均の算出とその可視化
06	（講義）データ・AI利活用のための技術①、（演習）標準偏差の算出とその可視化
07	【オンデマンド】（講義）データ・AI利活用のための技術②、データ・AI利活用の現場①
08	（演習）大量のデータを扱う方法①、②
09	（講義）データ・AI利活用の現場②、（演習）基本統計量の算出と箱ひげ図①
10	（講義）データ・AI利活用の現場③、（演習）基本統計量の算出と箱ひげ図②
11	（講義）データ・AI利活用の最新動向、（演習）度数分布表とヒストグラムの作成
12	（講義）データ・AIを扱う上での留意事項①、（演習）散布図の作成と相関係数の算出
13	（講義）データ・AIを扱う上での留意事項②、（演習）定性データの扱い方とクロス集計
14	（講義）データ・AIを守る上での留意事項、（演習）総合演習①
15	（演習）総合演習②
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG11F2S01　Ｅｘｃｅｌ演習	担当者:岩佐 孝子、鈴村 市恵	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
「Microsoft Office Specialist (MOS) Excel 2019（一般レベル）」とは企業が求めるパソコンスキルにおいて、有益な資格である。その資格取得対策として、この授業は4日間とプラス非常時用予備日1日で集中開催される。
模擬試験を通して、試験のノウハウを身につけ、必要な操作を習得する。
　また、資格取得試験は授業とは別日に、学外にて予定している。

授業の到達目標
Microsoft Office Specialist(MOS)　Excel 2019（一般レベル）の資格取得を目標とする。
社会で活用が求められる、Microsoft Excelの技術を、MOS Excel 365＆2019対策テキストを利用し、実践的に身につける。
(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
事後学修として、授業で習った操作を繰り返し練習し、身に付けておくこと。（その日の授業内容を30分は復習に当ててください。）
授業後と予備日の教室開放を有効活用する。

評価方法
授業への取組意欲60%　模擬試験30%　資格試験合否の結果10%によって総合的に評価する。
各担当教員の話をよく聞くこと。
模擬試験の結果より、全体および各個人に提示しフィードバックを行う。

教科書	参考図書
MOS Excel 365＆2019対策テキスト＆ 問題集（FOM出版） 2,310円（税込）	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先は授業で開示する。
受験料として学割価格8,580円（税込）が必要となる。
集中開催のため、休むと授業についてこれなくなるので注意すること。
パソコンは大学のコンピュータルームのものを使用する。
教科書は各自で購入し、授業初日には必ず持ってくること。

01	MOS試験概要、出題範囲１（ワークシートやブックの管理）
02	出題範囲２（セルやセル範囲のデータの管理）
03	出題範囲３（テーブルとテーブルのデータの管理）
04	出題範囲４（数式や関数を使用した演算の実行）
05	受験者登録
06	出題範囲５（グラフの管理）
07	模擬試験１
08	模擬試験２
09	模擬試験３
10	模擬試験４
11	模擬試験５
12	模擬試験補足
13	受験準備（最終確認）
14	受験操作説明
15	学外における検定試験
16	なし

2024年度シラバス

科目名:MG11F3L01　経済学	担当者:茶谷 淳一	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
私たちの暮らしがいまどのような状況にあるのか、これからどのように変わろうとしているのかを考える手がかりとして、現代日本の経済が直面し国民生活に大きく影響している諸課題について説明する。授業は基本的に講義形式ですが、意見をまとめ、発表していただく機会もあります。社会福祉主事任用資格取得のための勉強も行います。ノート提出については翌週の授業で講評します。期末確認テストはmoodleに模範解答を1週間程度掲載します。

授業の到達目標
①社会や経済のあり方に関心を持ち、新聞や日々のニュースに、自ら触れようとするようになる。②現代日本の経済社会に関する基礎的な知識を身につけ、現代経済に関連することがらについて、自分なりに考えることができる。（DP）③ニュースなどを鵜呑みするのではなく、批判的に考えることができるようになる。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
①新聞やテレビのニュース、ドキュメンタリーを積極的に見ましょう。そして今、何が起こっているのかを敏感に悟ることができるようになりましょう。②授業の最後に宿題が出される場合があります。③社会福祉主事任用資格取得のために「現代社会における経済の機能や役割」「社会福祉行政について国家財政や地方財政等の側面から理解する」「経済政策や社会政策と社会福祉・社会保障との関連について理解する」「経済と貧困等社会福祉の社会的背景について理解する」ことを目的として「経済学の構成と概要」「国家財政と地方財政」「公共政策と経済政策」「社会政策と国民生活」「国際化時代の経済」に関する課題を5回に分けて出します。以上の事前事後学習を4時間行います。

評価方法
ノート提出など授業への参加度20%、期末の確認テスト80%。授業の最後に出題する課題の解答と解説、及び提出されたノートについてのコメントは授業内で行います。授業内確認試験の模範回答はmoodleに掲載します。

教科書	参考図書
なし。スライドをもとに授業を進めます。	鎌田雄一郎　ゲーム理論入門の入門　岩波新書　2019年。阿部誠　行動経済学　新星出版　2021年などのほか、授業で用いた資料も。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
重要なニュースの説明などのため、授業が予定通りに進まないことがあります。レジュメの余白にメモを取ること。質問は木曜昼休みに研究室へ。途中退出・遅刻・私語など受講マナーを守れない場合は受講を取り消します。

01	授業の目的と方法　経済学が社会を考える手掛かりを与えてくれます
02	トイレットペーパーの経済学～なぜ行列に並ぶのか①買い占めは非合理的か？
03	トイレットペーパーの経済学～なぜ行列に並ぶのか②ゲーム理論で考える
04	トイレットペーパーの経済学～なぜ行列に並ぶのか③別の角度から考える
05	トイレットペーパーの経済学～なぜ行列に並ぶのか④ゲーム理論を使ってみる
06	トイレットペーパーの経済学～なぜ行列に並ぶのか⑤個人的利益と社会的利益の両立をどうはかるか
07	女性の貧困①　ビデオ「調査報告　女性たちの貧困」を見る
08	女性の貧困②・女性の就労と結婚を経済学で考える①
09	女性の就労と結婚を経済学で考える②働く女性が増えた理由
10	女性の就労と結婚を経済学で考える③現代女性の結婚観
11	女性の就労と結婚を経済学で考える④単身女性の貧困について考える
12	現代日本社会の貧困を考える①統計の見方
13	現代日本社会の貧困を考える②日本の家庭の所得と貯蓄の分布を見る
14	「育児」の経済学
15	授業のまとめと授業内確認試験
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG11F3L02　法学	担当者:綾部 六郎	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　本科目では憲法や民法などに代表される法学の諸分野のうち、代表的な領域についていくつか取り上げます。現代社会において自立した市民となるために、法学についての基礎的な知識を学びましょう。
　なお、この科目は社会福祉主事任用資格を取得するために必要なものの1つとなっています。

授業の到達目標
　この授業では、現代社会における法の機能について、具体的な題材を通じて学び、受講生のみなさんがそれまでの自分とは違う視点を得られるようにします（DP）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　日常的な出来事のなかに潜んでいるさまざまな問題を、法的に適切に分析するための視座を獲得することが大切です。教科書の予習・復習が毎回の授業につき4時間程度求められます。

評価方法
1. 確認テストの成績（90%）
2. 受講態度や意欲などの勘案（10%）
★確認テストについての講評を最終回におこなう予定です。

教科書	参考図書
開講までに指示します。	授業中に紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
・公務員採用試験などの受験希望者は、同じ担当者による英語コミュニケーション学科開講科目「日本国憲法」もあわせて受講することが望まれます。
・連絡先はガイダンスで示します。

01	ガイダンスの実施
02	概論①：法とはなにか？
03	概論②：システムとしての法
04	概論③：法の解釈と適用
05	憲法①：総論・人権
06	憲法②：統治機構・地方自治
07	行政法①：総論・行為・手続
08	行政法②：救済・情報公開
09	民法①：総論・財産法
10	民法②：家族法
11	福祉関連法①：成年後見
12	福祉関連法②：消費者保護
13	国際法①：国際公法
14	国際法②：国際私法
15	授業のまとめなど
16	なし

2024年度シラバス

科目名:MG12F3L03　現代の経営	担当者:清水 真	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　この科目では、日常生活とのかかわりを含め、ビジネスの視点から据えた個人の行動や市場・会社の仕組みを理解することを基本とする。理解を深めるため、問題解決学修を取り入れる。
レポートや確認テストについては講評や模範解答などを講義中に説明する。

授業の到達目標
　社会人として社会の諸問題を判断し、解決するための、社会のしくみに関する幅広い知識・素養を身につけることができる「DP」。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　事後学修として、自宅で会社の仕組みについて理解を深める。

評価方法
　授業への参加態度40%、試験60%による総合評価

教科書	参考図書
プリントを適宜配布する。	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
shimizu@isc.chubu.ac.jp

01	経済の基礎
02	ビジネスの発展
03	流通の意義と役割
04	売買業者のビジネス
05	流通活動とマーケティング
06	企業の形態と経営組織(1)
07	企業の形態と経営組織(2)
08	経営戦略（１）戦略パターン・経営資源の配分法
09	経営戦略（２）M&Aの実態と経営手法
10	企業の資金調達
11	サービス業のビジネス
12	金融機関のビジネス
13	企業活動と税
14	人事・労務の仕組み
15	まとめ、確認テスト
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG12F3L04　マーケティング	担当者:清水 真	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
身近に存在する商品が、どのように開発、価格設定、販売促進され、消費者の手元に届くかを学ぶのが本授業の概要である。基本的に講義形式で授業を進めるが、理解を深めるため、グループディスカッションも実施する。【AL】
レポートの講評やテストの模範解答などのフィードバックについては授業中に行う。

授業の到達目標
マーケティングとは如何なるものかを理解し、今日における社会環境の課題を発見するとともに、それを解決する能力を身につけることができる「DP」。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
事後に、ショッピングに出かけ、授業に学んだことを念頭に、商品価格の比較、販売員の態度、広告などを調べる。グループディスカッションの準備学修としてケースを熟読し、課題をまとめる。

評価方法
授業への参加度40%、テスト60%による総合評価

教科書	参考図書
朝岡敏行編『マーケティングと消費者』慶應義塾出版会 ISBN978-4-7664-1508-7	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
shimizu@isc.chubu.ac.jp

01	マーケティングとは何か
02	マーケティングの誕生
03	マーケティング環境としての消費
04	サービス・マーケティング
05	ブランドの構築と消費者との関係性
06	製品計画(1)新製品開発と戦略
07	製品計画(2)製品ミックス, 製品属性
08	価格決定(1)価格の持つ意味
09	価格決定(2)価格の種類と価格の決定方式
10	プロモーション(1)コミュニケーション
11	プロモーション(2)AIDMA, 人的販売
12	プロモーション(3)販売促進, 広告・宣伝・パブリシティ
13	流通チャネル(1)流通チャネルの構築基準と機能, 流通系列化
14	流通チャネル(2)流通系列化をめぐる変化とSCM
15	まとめ、確認テスト
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG12F3L05　国際経済入門	担当者:茶谷 淳一	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
外国貿易や外国為替のしくみや国際通貨ドルの「秘密」など、国際経済問題を理解するために必要な基本的なことがらを学びながら、国際経済の視点から現実の経済社会で起こっている諸問題について自分なりに考える力を養います。小テストは次回答え合わせをします。期末確認テストはmoodleに模範解答を1週間程度掲載します。

授業の到達目標
①世界経済や国際経済に関する新聞記事やニュースに関心を持って触れようとするようになる。（DP）②現代社会を理解するために必要な国際経済の基本的な知識を習得し、今、世界で起こっていることについて自分なりに考えることができるようになる。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
テレビのニュースやドキュメンタリーを見たり、新聞の「見出し」を毎日眺めるようにしましょう。また各単元終了後に出題される課題を解き、提出しましょう。以上の事前事後学習を4時間行います。

評価方法
各単元終了後の確認テスト課題20%、ノート10%、期末確認テスト70%。単元終了後の確認テスト課題の再試験は行いません。欠席した場合、後日試験用紙を受け取ることはできません。単元終了後の確認テスト課題の答え合わせ、ノートの総評については授業内でフィードバックします。

教科書	参考図書
なし。授業時に配布するレジュメを使います	グローバルエコノミー（岩本ほか著　有斐閣）、１ドル札の動きでわかる経済のしくみ（かんき書房）

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
重要なニュースの説明などのため、授業が予定通りに進まないことがあります。レジュメの余白にメモを取ること。質問は木曜昼休みに研究室へ。途中退出・遅刻・私語など受講マナーを守れない場合は受講を取り消します。

01	この講義のねらいと、評価について　日本の貿易構造をみる
02	なぜ後れた国が輸出できるのか？　国によって得意な商品が異なる　比較優位
03	産業の空洞化と保護主義
04	HO仮説と交易条件
05	モノカルチャー構造と貿易
06	新しい貿易の試み～フェアトレード
07	「貿易」のまとめ　単元ごとの確認テストの解答と解説
08	お金は国によって異なる　両替と為替取引
09	外国為替相場はどのように決まるのか？①
10	外国為替相場はどのように決まるのか？②　日本「円」の為替相場の歴史
11	「１ドル＝120円」は単なる数式か？　「ドル」ってなあに？
12	「USドル」が基軸通貨・国際通貨になった理由　「ドル」の前はいつも“１”
13	基軸通貨・国際通貨ドルがアメリカにもたらすメリット　為替相場の変動はよいことか？
14	「ドル」と私たちの暮らし　「外国為替」のまとめ　単元ごとの確認テストの解答と解説
15	授業のまとめと期末の確認テスト
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG12F3L06　ビジネスマナー	担当者:吉田 智美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
ビジネス社会で働いていくために必要な基本的な心構え、知識を会社内でのケースを通して理解する。アルバイトを含め社会生活で必要とされるビジネスマナーを身に付け、様々な状況に臨機応変に対応できるように修得し、行動できるようにする。授業の流れは、最初に内容に関する説明を行い（インプット）、その後、プリントなどで問題を解き（アウトプット）秘書検定2級取得を目的とする。
【担当者の実務経験】企業での実務経験、接客経験などから机上の内容でだけでなく、卒業後の仕事に活かせる内容を意識し、授業を行う。アウトプット）し、知識の定着を図る。秘書検定2級の資格取得を目標にする。

授業の到達目標
大学生活やアルバイトなどの社会経験の中で、最低限のビジネスマナーを身に付け、臨機応変に対応できる力を身に付けていくことを目標とする。インターンシップなどで、社会人との関わりを持ちながら疑問に思ったことを、明らかにし、正しく行動することができるようなる。
社会生活で必要とされる知識を身につけ、その持てる力を活かし、社会へ貢献することを目的とする。「（DP）」
【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
事前課題や事後学修、復習、検定試験対策、確認テスト対策などでおおよそ30時間程度の予習復習を要する。具体的な内容に関しては、授業中に指示する。１～2回（事後）テキストの対応部分を読み、まとめる（4時間）3～4回（事前・事後）自分が使っている言葉や使われている言葉についての疑問点をあげ、正しく使うことができるようにする（4時間）5～11回（事後）テキストの対応部分を読み、授業中に間違えた問題を再度確認する（4時間）12～15回（事後）ビジネス文書を作成し、社内文書を確実にかけるようにする（4時間）

評価方法
授業への参加態度（話し合いへの参加、提出物）40%、実技試験20%、確認テスト40%
提出課題については、次回授業時に解説、返却を行う

教科書	参考図書
秘書検定2級クイックマスター（秘書検定2級取得者も必要）、秘書検定2級実問題集（秘書検定2級取得者は、準1級問題集を使用）　前期に、秘書概論を受講した学生はそのまま同じテキストを使用する。	授業中に指示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
前期の秘書概論と同じテキストを使用する。秘書概論を受講した学生は、ビジネスマナーの授業で新しくテキストを購入する必要はない。
質問などはオフィスアワーで対応、連絡先は授業内に伝える。

01	オリエンテーション　　仕事をする上で必要な心構え
02	職場と人間関係について
03	敬語と接遇用語について①　敬語の種類と使い分け
04	敬語と接遇用語について②　接遇用語
05	命令・指示の受け方、報告・説明の仕方について
06	苦情処理の仕方、断り方について
07	来客応対について①　応接室の対応、茶菓の出し方など
08	来客応対について②　上座・下座、紹介の仕方など
09	電話応対について①　言葉遣い
10	電話応対について②　会議中などの対応の仕方など
11	交際の業務（慶弔、贈り物のマナー）
12	ビジネス文書の作成①　社内文書
13	ビジネス文書の作成②　社外文書
14	書類の取り扱い方、資料管理
15	環境の整備　まとめ　確認テスト
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG11F4P01　みんなのスポーツ	担当者:奥村 直也	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実技
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
バトミントンや球技ほか、さまざまなスポーツを行い基本的なルール・マナーそして競技特性を学び、スポーツの楽しむ姿勢を身に着ける。集団の中での協調性・社会性を身につけ積極的に講義へ参加しコミュニケーション力を向上させる。健康への意識向上、体力向上を図り、生活の質が向上するよう「生涯スポーツ」として役立たせる。
※選択人数次第で種目・回数の変更があります。実技になります。

授業の到達目標
・スポーツの基本的なルール・マナーの習得、基本的なスキルの獲得。DP
・スポーツを実施することによる、意義（社会性・協調性の向上）DP
・効果を把握し実感すること・集団の中での協調性を身につけ自分の課題をみつけ積極的に取り組むこと(自主性)。DP

【到達目標と深く関連する学科DP】
○幅広い分野にわたる専門知識
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
体調管理①授業前：十分に運動できるように体調を整えて参加すること（睡眠・疲労回復・食事）
②授業後：疲労回復を十分行うこと
※前期後半は気温が高くなることが予想されます、指導者の暑さ対策に従って下さい。
・授業外に行うべき学修活動の必要時間：1時間

評価方法
①授業への参加態度：20%
②スポーツへのマナー・ルールの理解、個人技能の向上度：40%
③受講姿勢：メンバーとの協力・準備・片付け・積極的に練習やゲームに参加しているか等）：40%
・授業において提示した課題(試験、レポート等)に対するフィードバック方法について
締め切り終了後の講義の中で、目的に合った模範的な回答、特徴的な解答について紹介し、認識を深める。

教科書	参考図書
なし	授業中に紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
・バトミントンで使用するラケットは大学で用意できています。しかし、自分の使い慣れたラケットがある場合には持参してください。
・毎授業時、必ずタオルや水分(水・お茶・スポーツドリンクなど）を準備すること。
・各種目にふさわしい身だしなみ(爪の長さ等）やスポーツウェア・シューズで授業に望むこと。
・水分補給等については担当者の指示に従うこと。
・体調を整えて授業に参加すること。(寝不足など気を付けましょう)
・遅刻をしないこと。
・質問はMoodleで受け付ける。

01	オリエンテーション：各施設の使用方法
02	バトミントン①：基本技術の習得1（ラケットの操作・サービス）
03	バトミントン②：基本技術の習得2（クリア・ロビング）
04	バトミントン③：基本技術の習得3（スマッシュ・ブロック）
05	バトミントン④：応用技術の習得（ネットショット）
06	バトミントン⑤：ゲーム（ルール・ゲームの進め方・サーブ）・ミニゲーム
07	バトミントン⑥：ゲーム（ダブルス）
08	バトミントン⑦：ゲーム（ダブルス）
09	バトミントン⑧：ゲーム（チーム対抗）ほか
10	フィットネス①：トレーニング機器の使用法（体力測定）
11	フィットネス②：トレーニングメニューの作成
12	フィットネス③：トレーニングメニューの実施
13	フィットネス④：ニュースポーツ（ドッヂビー）
14	フィットネス⑤：ニュースポーツ（ディスクゴルフ）
15	フィットネス⑥：ニュースポーツ（その他）
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG11F4L01　野外活動論	担当者:山下 玲香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
【担当者の実務経験】高等学校教諭
この授業科目では、元高等学校教諭での経験を踏まえ、体育（野外教育）の知見から、野外における自然体験活動の基礎知識を教授していく。野外活動に関する知識を身につけるだけでなく、実際に道具を用いて扱ってみたり、野外活動計画を立ててみたりすることで知識を定着させる。課題の遂行や発表では、計画・準備を通して、仲間と協働して目標を達成していく。この授業はアクティブラーニング形式を取り入れ展開する。（AL）

授業の到達目標
１）様々な角度から野外活動を捉え理解することができる…GDP２◎
２）学んだことを実践・表現することができる…GDP３○
３）仲間と協働して目標を達成できる…GDP１，４◎

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
普段から野外活動に興味関心を持ち、文献や書物、テレビ、新聞などに目を通すこと…約1時間

評価方法
課題、ノート類40%　　発表、ディスカッション50%　　まとめ10%
授業中の迷惑行為（私語、化粧、スマホや携帯電話等の無断使用、遅刻、無断退出等）を行った場合、平常点から減点する。フィードバックは翌週または15回目に実施する。

教科書	参考図書 図書館にある野外関係の書籍を読むこと（キャンプ、ロープ、食事、毒の動植物、防災など）

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
・レジメはTeamsで電子配信または紙面配布する
・動きやすい服装と靴で参加すること

01	野外活動の基礎・考え方
02	野外活動の技術と指導①自然の歩き方過ごし方（テント、イスなど）
03	野外活動の技術と指導②ロープワーク
04	野外活動の技術と指導③ネイチャーゲーム
05	野外活動の技術と指導④グループワーク　（ネイチャーゲーム）
06	野外活動の技術と指導⑤発表
07	野外活動のリスク 危険予知トレーニング
08	火おこしと薪割り
09	応急処置と AED の基礎知識
10	救急法実習　※豊明消防署消防士の方の指導
11	野外炊飯の知識（調理方法や献立）
12	野外炊飯の実践（メスティン、コッヘル、スキレットなど）
13	野外活動の計画①グループワーク
14	野外活動の計画②発表
15	1～14回授業のまとめとフィードバック
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG12F4L03　人間と健康	担当者:山下 玲香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
【担当者の実務経験】高等学校教諭
この授業科目では、元高等学校教諭での経験を踏まえ、保健の知見から、女性の健康問題やスポーツ活動などに関する講義を行う。
女性として強く、たくましく、しなやかに生きるために、自分のカラダの不思議や過去・未来の自分の健康を見つめることや、社会で生活するための知識として、現代社会の健康問題や障がいを持つ人への理解を深める。
この授業を受けることにより、公衆衛生学や学校保健学などの分野の知識を身につけ物事を考えていくことができる思考力と、課題解決に取り組むことができる行動力、様々な方法により他者に伝えようとするコミュニケーション力が身につく。
また、この授業はアクティブラーニング形式を取り入れ展開をしていく。（AL）

授業の到達目標
１）現代病や女性特有の病気や、健康・スポーツなどについて理解を深める…GDP１◎
２）自分の健康や運動について興味関心を持ち、生涯の健康と運動の見通しを立てる…GDP２○
３）健康や運動について様々な視点から考える力を身につけ、他者に向けて発信することだできる…GDP3○

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
１）授業で出された課題についてしっかり取り組むこと。…週あたり最低30分
２）興味関心のあるテーマについて、書籍やインターネットなどで調べること。…週あたり最低1時間

評価方法
１）まとめ30点、課題等70点（出席状況、課題、発表、授業への取り組み姿勢など）の100点満点で評価する。
２）授業中の迷惑行為（私語、化粧、スマホや携帯電話等の無断使用、遅刻、無断退出等）を行った場合、平常点から減点する。
3）課題等のフィードバックは翌週回または、15回目に口頭にて行う。

教科書	参考図書
教員から随時指示する	教員から随時指示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
１）授業には前向きな姿勢で臨んでください。課題やディスカッション、グループワークなど、積極的に取り組んでくれることを期待しています。２）授業中に配布した資料、ノート、メモなどは全て1つのファイルに綴るようにしてください。３）パソコンを使う場合は事前に連絡をします。

01	「健康」を学ぶにあたって　自分の健康を見つめよう
02	発育発達と成長過程の疾病、生活習慣病
03	体力・運動能力について　体力低下が身体に与える影響
04	痩身と肥満　より健康なカラダ作りを目指して
05	疲労とストレス
06	月経とそれに関わる日常の困難
07	女性特有の疾患　妊娠と出産
08	グループ発表準備①　【SDGｓを考える】
09	グループ発表準備②　【SDGｓを考える】
10	グループ発表
11	高齢者の運動と健康
12	女性と運動　生涯スポーツ
13	女性と近代スポーツ　安全に運動を楽しむために
14	運動処方
15	1～14回までの授業のまとめとフィードバック
16	試験なし

科目名:MG12F4L02　食生活と健康づくり	担当者:辻 広志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
私たちの食生活はこの半世紀で大きく様変わりし、豊かさや便利さが増した反面、生活習慣病や食品不安、環境負荷などの新たな問題を生み出している。この授業では、配布プリントを中心に、視聴覚教材、現物資料の提示、新聞記事、アンケート、実習や少人数のプレゼンテーション等を通して、これからの望ましい食生活のあり方について考える。【AL】レポートや確認テスト等、提出物の講評は授業中やmoodle等で行う。

授業の到達目標
食品・栄養に関する基礎知識を習得するとともに、「食と健康」「食の安全」「食と環境」について正しく理解し、自ら実践する習慣を身につける。【DP】

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
食と健康に関する最新の情報を、新聞、雑誌、テレビ、インターネット等で入手するよう心掛けること。食品を購入する際に、パッケージの表示（原材料名、消費・賞味期限、食品マーク等）を確認すること（4時間）。

評価方法
確認テスト50%、平常点50%（授業感想文、授業への参加態度）で総合評価する。授業において提示した課題については、次回以降にフィードバックを行う。

教科書 使用しない	参考図書 授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
「食生活アドバイザー」等の食に関する資格検定取得を目指す学生は是非受講してください。質問等がある場合は、研究管理棟２Ｆの218研究室に来てください。

01	イントロダクション：ヒトの食生態
02	味覚の科学：なぜ食べ物をおいしいと感じるのか？
03	日本型食事の効用：なぜ和食は世界一の健康食なのか？
04	漢方医学と食事：陰の食品と陽の食品
05	生活習慣病と食事：肥満を防ぐには何をどのように食べるべきか？
06	食事・栄養評価法：自分の栄養状態について調べよう
07	有害物質による食品汚染：日本の食の安全を揺るがしたさまざまな事件
08	食品添加物と食品表示：菓子パンの添加物を調べよう
09	食品の腐敗と保存：塩分や糖分を加えるとなぜ腐りにくくなるのか？
10	食品添加物の簡易実験：うがい薬で食品中のビタミンＣやデンプンを調べよう
11	食品と寄生虫：サナダムシの生活史とヒトへの感染経路
12	健康食品とフードファディズム：安全な健康食品の見分け方
13	現代の食問題：新聞の記事をまとめ、グループ内で発表しよう
14	飽食の実態と対策：食品の賞味期限・大量廃棄・リサイクル
15	まとめと確認テスト
16	試験なし

科目名:MG11F5S01　韓国語と韓国文化ＩＡ	担当者:金 昭鎤	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
グローバル化が進む現代社会において他国を理解することは大切です。特に最も近い国、韓国の言語や文化を知ることはお互いを理解するために重要な意味を持つと思われます。本授業では韓国語の文字と基礎文法を学びつつ、韓国の文化に触れながら理解できるようになる。

授業の到達目標
ハングルを習得し、旅行など実際の場面で役に立つ表現が話せるようになります。また実践的な会話能力を身に付け、テキストの読解を通して語彙力、表現能力を高めていきます。「読む、書く、聴く、話す」の四技能をバランスよく伸ばし、コミュニケーション能力を高めることによって、言語にとどまらず、隣国の文化に対する理解を深めることを目標とします。(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：学修する各課の音声サイトを聞き、音読の練習をしてください。（所要時間約60分）
事後学修：学修した単語を単語帳にまとめ、覚えてください。（所要時間約90分）
その他日頃、k-popや韓国語ドラマなどの身近な韓国の文化に触れることをお勧めします。オフィスアワー：授業の前後の時間

評価方法
主体性を持って学習に取り組む姿勢 20%、
学修内容の準備学修や事後学修をきちんと行い、
毎回の課題を真面目に取り組んでいる40%
確認テスト 40%
授業において提示した課題（試験、課題等）に対するフィードバック方法については授業終了後、全体的な講評、模範解答等をメール配信あるいは印刷配付する。

教科書	参考図書
『ひかりとシフのどきどき韓国語』／著：李正子/金昭鎤／出版：朝日出版社	『ハングルの誕生』／著： 野間秀樹／出版：平凡社新書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
語学は日々の重ねが重要です。授業内容を必ず復習するようにしてください。

01	オリエンテーション及びハングルのしくみ
02	文字編　第1課　アンニョンハセヨ？　母音５つ、子音４つ
03	文字編　第2課　私は大学生です　基本母音、基本母音と子音４つの組み合わせ
04	文字編　第3課　ありがとうございます　子音５つ
05	文字編　第4課　どこですか　合成母音①、パッチム①、連音化①、確認テスト
06	文字編　第5課　いらっしゃいませ　激音、合成母音②、日本語のハングル表記
07	文字編　第6課　お誕生日おめでとう　パッチム②、連音化②、合成母音③
08	文字編　第7課　これ、どうですか　激音化、濃音
09	文字編　第8課　サムギョプサル2人前ください　パッチム③、濃音化、漢数詞
10	確認テスト、文化体験
11	文法編　第1課　私の名前は天野ひかりです（1）～は～です
12	文法編　第1課　私の名前は天野ひかりです（2）～は～です
13	文法編　第2課　これはスキヤキですか？（1）　～ですか
14	文法編　第2課　これはスキヤキですか？（2）　～ではありません、～も
15	まとめ、確認テスト
16	なし

2024年度シラバス

科目名:MG12F5S02　韓国語と韓国文化ＩＢ	担当者:金 昭鋏	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
グローバル化が進む現代社会において他国を理解することは大切です。特に最も近い国、韓国の言語や文化を知ることはお互い理解するために重要な意味を持つと思われます。本科目では韓国語の文字と基礎文法を学び、韓国の文化に触れながら理解できるようになる。

授業の到達目標
韓国語の運用に必要な知識と技能の基本を学習するとともに、日本語や日本文化との対比の観点から韓国語や韓国文化に対する理解を深めることが目的です。(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修

準備学修：学修する各課の音声サイトを聞き、音読の練習をしてください。（所要時間約60分）
事後学修：学修した単語を単語帳にまとめ、覚えてください。（所要時間約90分）
その他日頃、k-popや韓国語ドラマなどの身近な韓国の文化に触れることをお勧めします。オフィスアワー：授業の前後の時間

評価方法
主体性を持って学習に取り組む姿勢 20%、
学修内容の準備学修や事後学修をきちんと行い、
毎回の課題を真面目に取り組んでいる40%
確認テスト 40%
授業において提示した課題（試験、課題等）に対するフィードバック方法については授業終了後、全体的な講評、模範解答等をメール配信あるいは印刷配付する。

教科書	参考図書
『ひかりとシフのどきどき韓国語』／著：李正子/金昭鋏／出版：朝日出版社	『ハングルの誕生』 ／著：野間秀樹／出版：平凡社新書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
未知の世界に踏み込み自分の世界を広げるのだという気持ちで、積極的に授業に参加してください。
語学は日々の重ねが重要です。授業内容を必ず復習するようにしてください。

01	オリエンテーション及び前期の復習
02	第3課①　１）～が、２）～ですか
03	第3課②　１）～は何ですか　２）～と
04	第4課①　　１）～に、２）합니다体①肯定文
05	第4課②　　１）합니다体①　　２）～を
06	第３、４課 確認テストと文化授業①
07	第５課①　１）합니다体②
08	第５課②　１）～たい（願望）　　２）～で
09	第６課①　１）～する（意志）　　２）～のために（目的）
10	第６課②　１）形容詞　　２）～だが（逆説）
11	第５、６課 確認テストと文化授業②
12	第７課①　１）해요体①
13	第７課②　１）名詞＋です　２）～から（時間）
14	第８課①　１）해요体②
15	まとめ、第７、８課 確認テスト
16	なし

2024年度シラバス

科目名:MG11F5S05　検定韓国語Ａ	担当者:李 正子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:ハングルが読める程度の韓国語の実力がある		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本授業は、グローバルな視点から言語および異文化を理解する能力を育てるものです。韓国語能力試験TOPIKⅠ（１級）の合格を目指します。過去問題を分析し、語彙と文法の正確な使い方を練習します。授業は、事前に出される課題（練習問題）の答え合わせと解説を中心に進めます。授業の最初に単語テストを行います。

授業の到達目標
TOPIKⅠ（１級）は約800語程度の語彙を用いて身近な話題に関して表現・理解できるようになります（DP)。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○高い教養に資する知識・理解
◎課題発見・分析・解決・発信等の汎用的技能

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修・毎回の授業で必要な単語を予習して単語テストに備えてください。必要時間：約2時間
事後学修・授業で学んだ表現を自分のノートにまとめ、最後の授業で提出します。課題で出された練習問題を解いてください。必要時間：約2時間

評価方法
単語テスト：30%、課題：30%、確認テスト：30%、まとめノート：10%
＊TOPIK未受験者は「不可」と評価します。
単語テストは翌週に返却し、各自、自分の間違えた部分を確認する。
確認テスト①、②はテスト終了後にその場で一緒に答えを確認する。

教科書	参考図書
韓国語能力試験合格対策講座１　NEW TOPIKⅠ・１級・２級編、白帝社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
この授業は毎回の課題が非常に重要です。韓国語能力試験TOPIKⅠ（１級）の合格を目指し、課題に積極的に取り組んでください。連絡方法は授業中に提示します。

01	レベルテスト
02	ガイダンス、今後の授業の進め方とTOPIK受験概要
03	単語テスト、主要項目の確認と解説①
04	単語テスト、主要項目の確認と解説②
05	単語テスト、主要項目の確認と解説③
06	単語テスト、主要項目の確認と解説④
07	単語テスト、主要項目の確認と解説⑤
08	確認テストとまとめ①
09	単語テスト、主要項目の確認と解説⑥
10	単語テスト、主要項目の確認と解説⑦
11	単語テスト、主要項目の確認と解説⑧
12	単語テスト、主要項目の確認と解説⑨
13	単語テスト、主要項目の確認と解説⑩
14	総まとめ
15	確認テストとまとめ②
16	なし

2024年度シラバス

科目名:MG12F5S06　検定韓国語Ｂ	担当者:李 正子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限: 検定韓国語Aを受講しているか、それに相応する韓国語の実力がある		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本授業は、グローバルな視点から言語および異文化を理解する能力を育てるものです。韓国語能力試験TOPIK（２級）の合格を目指します。過去問題を分析し、語彙と文法の正確な使い方を練習します。授業は、事前に出される課題（練習問題）の答え合わせと解説を中心に進めます。授業の最初に単語テストを行います。

授業の到達目標
TOPIKⅠ（２級）は約1500語～2000語程度の語彙を用いて身近な話題に関して表現・理解できるようになります（DP)。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○高い教養に資する知識・理解
◎課題発見・分析・解決・発信等の汎用的技能

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修・毎回の授業で必要な単語を予習して単語テストに備えてください。必要時間：約2時間
事後学修・授業で学んだ表現を自分のノートにまとめ、最後の授業で提出します。課題で出された練習問題を解いてください。必要時間：約2時間

評価方法
単語テスト：30%、課題：30%、確認テスト：30%、まとめノート：10%
＊TOPIK未受験者は「不可」と評価します。
単語テストは翌週に返却し、各自、自分の間違えた部分を確認する。
確認テスト①、②はテスト終了後にその場で一緒に答えを確認する。

教科書	参考図書
韓国語能力試験合格対策講座１　NEW TOPIKⅠ・１級・２級編、白帝社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
この授業は毎回の課題が非常に重要です。韓国語能力試験TOPIKⅠ（２級）の合格を目指し、課題に積極的に取り組んでください。連絡方法は授業中に提示します。

01	ガイダンス、今後の授業の進め方
02	単語テスト、主要項目の確認と解説①
03	単語テスト、主要項目の確認と解説②
04	単語テスト、主要項目の確認と解説③
05	単語テスト、主要項目の確認と解説④
06	単語テスト、主要項目の確認と解説⑤
07	単語テスト、主要項目の確認と解説⑥
08	復習と確認テスト①
09	単語テスト、主要項目の確認と解説⑦
10	単語テスト、主要項目の確認と解説⑧
11	単語テスト、主要項目の確認と解説⑨
12	単語テスト、主要項目の確認と解説⑩
13	単語テスト、主要項目の確認と解説⑪
14	総まとめ
15	復習と確認テスト②
16	なし

2024年度シラバス

科目名:MG11F5P01　Ｋ－ＰＯＰダンス	担当者:本吉 真寿美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実技
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この科目は、ディプロマ・ポリシーに示されている行動力とコミュニケーション力の獲得を目的とするものである。K-POPダンスを通して自己表現力を高め、異国文化を学びながら心身ともに健やかで明るく積極的に活動する力を養う(HDP2)。また、グループ演習において、皆で協力し一つの目標を成し遂げる達成感や連帯感などを学ぶ(HDP4)。

授業の到達目標
ダンス表現の基礎技能を身につけ、自分なりの動きで伸び伸びと表現する。他者と協同して作品を創りあげ、成果を発表する。K-POPカルチャーに触れ、異国文化を学び視野を拡げる。心身ともに健やかで明るく積極的に活動する行動力が身につく。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力(GDP3)
◎主体的・協働的行動力(GDP2)

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
学習した基本動作を一日に15分程度反復練習して身につけたり、必要に応じてテレビやインターネットで様々なダンスの作品を視聴したりすることが望ましい。

評価方法
基礎技能や創作作品（70%）及びレポート等の課題（30%）により評価する。基礎技能や創作作品および毎時間の実技課題の評価も総合点に含む。

教科書 指定なし	参考図書 授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
運動に適した服装と身だしなみで、装飾品は外して受講すること。運動用室内シューズを持参すること。
連絡手段について、連絡先は授業で開示する。

01	基本のアイソレーション
02	アイソレーションの応用とリズム取り
03	リズム取りの応用とウォーキング
04	細かい身体の使い方①とグループワーク
05	ダンス動画鑑賞と発表の選曲
06	細かい身体の使い方②とグループワーク
07	課題曲振付①とグループでの自由曲振付①
08	課題曲振付②とグループでの自由曲振付②
09	課題曲フォーメーション練習
10	グループでの練習①と課題曲固め①
11	グループでの練習②と課題曲固め②
12	自由曲フォーメーション練習
13	全仕上げと衣装チェック
14	総合演習
15	発表
16	試験なし

2024年度シラバス

科目名:MG11F5L01　Kカルチャー論	担当者:李 正子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限: 韓国語1Aを受講しているか、同程度の韓国語の実力があることが望ましい		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
日韓共同開催ワールドカップ以降、日本で起こった「韓流」ブームは、すでに日本での一過性のブームではなく、「Kカルチャー」として世界での地位を確立しているといえます。それらと接することで私たちは新たな視点を得て、創造的なアイデアを生み出す源になることもあります。
授業では映像を通じて、さまざまな韓国発のコンテンツについて学びます。
第６講以降は学生たちにも自分の興味のある分野について10分程度のプレゼンを行ってもらいます。
授業で紹介されたドラマ、映画、小説の中からレポートを１本書いて提出してもらいます。

授業の到達目標
本講義では「Kカルチャー」を通して、韓国社会への多面的な視野と発想力を身につけることを到達目標とします。なお、韓国社会の明るい表の面だけでなく、影の面も合わせて考え、韓国社会への理解をバランスよくできるように学ぶものとします。それは自ずと日本社会への問題意識を養うことにつながるはずです。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
普段からテレビのニュース、新聞に目を通すようにする。必要時間：約１時間
韓国ドラマや映画、K-popなどの「Kカルチャー」に触れる際に、「なぜこのような描き方をするのか、その背景には何があるのか」という視点を持って視聴する。必要時間：約１時間

評価方法
授業に積極的に参加しているか(30%)、自分の意見と客観的な事実を区別して発表しているか(20%)、期末レポートでは自分の意見を論理的に文章化しているか(50%)によって総合的に評価する。なお、私語等､授業を妨げる言動や行動があった場合は出席として扱いません。『履修の手引き』にあるように、3分の1以上を欠席した場合は単位が認められません。

教科書	参考図書
オリジナル教材を授業で配布します。	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
似て非なる隣国、韓国、そして朝鮮。受講者はこの授業を受講することにより、Kカルチャーと韓国社会への理解を深めるだけでなく、日本との関係についても理解を深めてほしいです。

01	授業概要　　(以下の講義は順番が入れ替わる場合があります)
02	朝鮮半島の統一と民族の「ハン（恨）」―『愛の不時着』と『JSA』
03	韓国社会の多様性―『イテウォン・クラス』
04	韓国の軍隊と日本の部活―『D・P』
05	韓国の格差社会と父権―『パラサイト』
06	世界を席巻したKドラマ―『イカ・ゲーム』
07	韓国の受験戦争―『SKYキャッスル』
08	世界に羽ばたくK-pop ― BTSの誕生とその「世界観」
09	ファクトリ・ガールズから世界のガールズユニットへ ―少女時代、BLACK PINK ファクトリ・ガールズから世界のガールズユニットへ―少女時代、BLACK PINK
10	韓国のフェミニズム文学―『82年生まれ、キム・ジヨン』
11	現代韓国最大の悲劇セウォル号事件、その家族
12	『賢い医者生活』が描けなかった90年代―『ハチドリ』
13	韓国の民主化―『1987』
14	日帝時代とは―『マルモイ』
15	『日韓のもやもや』―日本軍「慰安婦」、徴用工、竹島（独島）　　まとめのレポート提出
16	なし

科目名:MG19F5P01　韓国研修Ｓ	担当者:高谷 邦彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期･後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
「韓国研修S」は、名古屋短期大学の協定校である韓国の清州（チョンジュ）大学または又松（ウソン）大学・又松情報大学において２週間もしくは３週間の語学学習や文化体験などを行う科目です。
単位修得には韓国での研修だけでなく、渡航する前の準備となる事前学習や説明会への参加、研修後の課題提出が含まれます。【ＡＬ】

授業の到達目標
(1)　韓国語能力の向上：語学研修や韓国での生活を受を通して、韓国語の能力を向上させる。
(2)　異文化体験：文化や生活習慣の違いを現地で体験することで、視野を広げる／多様な価値観を知る／行動力を伸ばす、など将来につながる貴重な経験を得る（DP）。
(3)　国際コミュニケーション：韓国の大学生との交流を通して、文化や歴史、価値観の異なる人たちとのコミュニケーション能力を高める。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎主体的・協働的行動力
◎より広い視野に立って、物事を考えていくことができる思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
韓国語については初心者でも参加できますが、韓国語の授業などを通して事前に学習しておくことで現地での滞在をより充実させることができます（毎週90分程度）。
韓国の歴史や文化、政治などについても事前に勉強しておくと、現地でのコミュニケーションがスムーズになります。

評価方法
事前学習の参加状況（20%）、研修日誌と研修先からの評価（70%）、報告レポート（10%）をもとに評価します。
フィードバックはTeamsで行います。

教科書	参考図書
特になし	必要に応じて指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
時間割に記載されている時間以外にも随時相談に応じますので、担当者の研究室を訪問するか、Teams・LINE・メール等で連絡をしてください。
関係国の治安状況や感染症拡大など国際的な社会状況によっては実施できないことがあります。

01	(事前学習) ① 担当教員による説明会に参加し、研修に必要な条件等を理解する。 ② 国際交流センターや旅行代理店が実施する海外渡航説明会および海外旅行保険の説明会に参加する。 ③ 韓国での研修目的、実施計画・内容等を所定の書式で提出し、担当教員の許可を得て、事前指導を受ける。 (研修活動中) ④ 予定されている各種研修に参加する。 ⑤ 活動日誌を記録する。 (事後学習) ⑥ 指定された期日までに研修日誌と報告レポートを提出する。 ⑦ 科目「韓国研修S」を履修登録し、単位の認定を申し出る。
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2024年度シラバス

科目名:MG1101S01　中国語と中国文化ＩＡ	担当者:韓 丹	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　この授業は、発音から学習する中国語の入門コースで、主に初歩的な表現とその応用を中心に行い、同時に初級の発音、語彙、文法事項をマスターしていく。1課ごとにグループワークとグループ発表を通して会話能力を高め、更に必要に応じて、テキスト以外の音声教材などにより、言語の土台である中国の文化や社会事情などについても紹介し、中国語を学ぶ上で必要な教養を身につけていく。【AL】

授業の到達目標
　中国語の特徴や入門レベルでの表現形式を学び、実際のコミュニケーションに役立つ基礎的な中国語の会話力を身につける。発音練習を重ねることで、日常の簡単な挨拶や会話などの表現を活用することができる。また中国の歴史や文化を学び、中国の異文化への理解を深めていく。【DP】

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　授業の前に単語の予習及び授業後の復習を少なくとも1時間程度必要である。

評価方法
　平常点（授業への参加態度、宿題、小テストなど）　40％
　口頭テスト　10％
　筆記テスト　50％
　提出された課題について、授業中にフィードバックをする。

教科書	参考図書
『大学生のための初級中国語24回』白帝社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　連絡方法は初回の授業時に知らせる。
　勇気を持って失敗を恐れずに。

01	はじめに ようこそ　中国語の基本と声調
02	第１課　声調と単母音　中国語の挨拶語 第１ 中国語の単母音、複母音
03	中国語の子音
04	中国語の鼻母音+人称代詞
05	中国の世界遺産
06	第5課:名前の尋ね方と答え方
07	「是」の文型と数字の数え方
08	第6課:私はパンを買う
09	動詞述語文と選択疑問文
10	第7課：私は紅茶にする。あなたは？
11	指示代詞と「的」の使い方
12	第8課：あなたは何を買いたいですか？
13	疑問詞疑問文、助動詞「想」
14	復習と口頭テスト
15	まとめと確認テスト
16	試験なし
17	第７課　喫茶店で
18	ドリル練習⑦
19	会話練習と発表
20	文化体験　中国の詩
21	第８課　趣味を語る
22	ドリル練習⑧
23	会話練習と発表⑧
24	文化体験　中華料理
25	第９課　Tシャツを買う
26	ドリル練習⑨
27	会話練習発表⑨

28	文化体験　中国の歌
29	後期のまとめ
30	まとめと確認テスト
31	なし

2024年度シラバス

科目名:MG1201S02　中国語と中国文化ＩＢ	担当者:韓 丹	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　この授業は、発音から学習する中国語の入門コースで、主に初歩的な表現とその応用を中心に行い、同時に初級の発音、語彙、文法事項をマスターしていく。1課ごとにグループワークとグループ発表を通して会話能力を高め、更に必要に応じて、テキスト以外の音声教材などにより、言語の土台である中国の文化や社会事情などについても紹介し、中国語を学ぶ上で必要な教養を身につけていく。【AL】

授業の到達目標
　中国語の特徴や入門レベルでの表現形式を学び、実際のコミュニケーションに役立つ基礎的な中国語の会話力を身につける。発音練習を重ねることで、日常の簡単な挨拶や会話などの表現を活用することができる。また中国の歴史や文化を学び、中国の異文化への理解を深めていく。【DP】

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　授業の前に単語の予習及び授業後の復習を少なくとも１時間程度必要である。

評価方法
　平常点（授業への参加態度、宿題、小テストなど）　40％
　口頭テスト　10％
　筆記テスト　50％
　提出された課題について、授業中にフィードバックをする。

教科書	参考図書
『大学生のための初級中国語24回』白帝社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　連絡方法は初回授業時に知らせる。
　何事でも、努力すれば収穫がある。

01	第9課：日本語は難しい？　+前期要点チェック、復習
02	形容詞述語文、反復疑問文
03	第10課：ボールペン何本持っている？
04	量詞、所有を表す「有」
05	第11課：いま何時？
06	時刻、前置詞「在」
07	映画鑑賞：中国の美食と現代社会
08	第12課：今日は何月何日何曜日？
09	連動文、疑問詞「怎么」
10	第13課：郵便局の向かい側に何がある？
11	方位詞、存在を表す動詞「在」と「有」
12	第14課：私たちは準備できた
13	前置詞「给」、動詞の重ね型
14	復習+口頭テスト
15	まとめと確認テスト
16	試験なし

科目名:MG1101S03　ポルトガル語とブラジル文化ＩＡ	担当者:富松 エミ	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
講義形式と、グループを作ってディスカションをして発表し合う

授業の到達目標
ブラジル・ポルトガル語の基礎段階を総合的に学習します。発音・挨拶表現・文法等・基礎的能力を養成します。ブラジルの文化・歴史について・又、日本の幼稚園・保育園・学校現場でブラジル人園児児童生徒と接する際に必要な言葉等についても言及します。（音楽・映画・ブラジルの遊び・幼稚園・学校の様子、人の生き方などを実物や映像を使って紹介をします）

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
人数的に無理だと思うので予定していないが、状況が許せば、ブラジル料理の店などを紹介したい。

評価方法
（授業の参加態度・意欲・関心）２０％・提出物２０％・小テスト３０％・プレゼンテーション３０％

教科書	参考図書
ブラジルを発見-ブラジル・ポルトガル語入門　兼松シルビア典子著　同学社（必修）学生の携帯電話のアプリケーション（辞書）の使用も可	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
ポルトガル語はブラジル人にとってもとても難しいので、テキストは簡単なものを選びました。それでも日本人には難しいと思いますが、頑張って楽しい授業をするのでいっしょに頑張りましょう。毎回、教科書の日本語訳を予習してきてください。授業の前に単語の予習及び授業後の復習を少なくとも1時間程度必要です。

01	ポルトガル語のこととブラジルのこと
02	ポルトガル語の文字と発音１
03	ポルトガル語の文字と発音練習問題
04	挨拶と簡単な日常会話１
05	挨拶と簡単な日常会話２
06	名詞の性と数
07	否定文疑問文
08	ブラジルと日本の違い　・グループ分け
09	4～7の練習問題・グループ発表課題決め
10	ser 動詞1・グループ発表課題について調査
11	ser 動詞2・グループ発表課題について調査
12	形容詞・グループ発表の準備
13	グループ発表とレポート
14	ブラジルの食文化とブラジルの料理作り
15	会話テスト、まとめ
16	なし

2024年度シラバス

科目名:MG1201S04　ポルトガル語とブラジル文化ＩＢ	担当者:富松 エミ	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
講義形式と、グループを作ってディスカションをして発表し合う

授業の到達目標
ブラジル・ポルトガル語の基礎段階を総合的に学習します。発音・挨拶表現・文法等・基礎的能力を養成します。ブラジルの文化・歴史について・又、日本の幼稚園・保育園・学校現場でブラジル人園児児童生徒と接する際に必要な言葉等についても言及します。（音楽・映画・ブラジルの遊び・幼稚園・学校の様子、人の生き方などを実物や映像を使って紹介をします）

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
人数的に無理だと思うので予定していないが、状況が許せば、ブラジル料理の店などを紹介したい。

評価方法
(授業参加態度・意欲・関心)20%・提出物20%・発表30%・期末試験(会話テスト) 30%

教科書	参考図書
ブラジルを発見-ブラジル・ポルトガル語入門　兼松シルビア典子著　同学社（必修）学生の携帯電話のアプリケーション（辞書）の使用も可	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
ポルトガル語はブラジル人にとってもとても難しいので、テキストは簡単なものを選びました。それでも日本人には難しいと思いますが、がんばって楽しい授業をするので一緒にがんばりましょう。　毎回、教科書の日本語訳を予習してきてください。授業の前に単語の予習及び授業後の復習を少なくとも1時間程度必要です。

01	前期のおさらい
02	所有詞と練習問題
03	命令形と指示詞
04	ＥＳＴＡＲ動詞
05	17～18の練習問題と会話の練習
06	グループで会話作り
07	ＱＵＥＲＥＲ動詞と数詞と会話の練習
08	会話の発表・ＳＥＲとＥＳＴＡＲの違い
09	場所の副詞と時間の言い方
10	20～22の練習問題と会話の練習
11	ＴＥＲ動詞・ブラジルについてのグループ調べ
12	PODER動詞・・ブラジルについてのグループ調べ
13	ブラジルについてのグループ発表
14	ブラジルのお菓子作り
15	まとめと会話のテスト
16	なし

2024年度シラバス

科目名:MG1101S05　英語と英米文化ＩＡ	担当者:三浦 紀美代	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この授業では、イギリスを旅する設定で書かれた会話やエッセイを題材にして、スピーキング、リスニング、リーディングを中心に演習を行い、総合的に英語力を伸ばします。また、イギリスを舞台にした映画や映像も使用し、イギリス文化に対する理解も深めます。加えて、フレーズ集を用い、日常生活で使用する英語表現をペアワークでの練習やプレゼンテーションを通して学びます。英語とイギリス文化の学びを通して、広い視野に立ち考える力とすることが目的です。【AL】

授業の到達目標
１．　簡単な日常英会話を理解し、英語で相手とコミュニケーションが取れる (DP)
２．イギリス文化に対する知識を習得し、異文化を尊重し、広い視野に立ち考えることができる(DP)
３．基礎的な英文を読み、聞き、大意を理解することができる

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業準備として、毎回1時間程度、辞書を用いてテキストを予習することが必要です。
毎回、前回の授業で学んだ重要表現の小テストを行うので、1時間程度の音読を含めた復習が必要です。

評価方法
授業への取組意欲２０％　小テストと発表４0%（次回の授業日に全体的または個別に講評を行う）
確認テスト４０％（最終授業時に全体向けにフィードバックを行う）

教科書	参考図書
Let's Check Out the UK!（金星堂）Active Communication with Phrases（南雲堂）	授業内で紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業には必ず辞書を持参して下さい。連絡先は授業内で開示します。
予習復習を継続していくことで英語の力は伸びていきます。
日頃から英語を聞き、海外ニュースを見るなど異文化に対し意識を向けるようにしましょう。

01	オリエンテーション / フレーズ①
02	Day 1: I Can't Wait to Explore Britain! /フレーズ②
03	Day 2: How about Going to a Pub?
04	Day 1,2 復習 /フレーズ③
05	Day 3: The Scenery Is Breathtaking, Isn't it? / フレーズ④
06	Day 4: What Do You Suggest We Do Today？
07	Day 3,4 復習 /フレーズ⑤
08	イギリスの文化/フレーズ⑥
09	Day 5: This Is a Multi-Ethnic Country/フレーズ⑦
10	Day 6: What's It Like Being a Student in the UK?
11	Day 5,6 復習 /フレーズ⑧
12	Day 7: Mmm...It Sounds Too Risky!/フレーズ⑨
13	Day 8: You Should Try Fish and Chips!
14	Day 7,8 復習/フレーズ⑩
15	まとめと確認テスト
16	なし

2024年度シラバス

科目名:MG1201S06　英語と英米文化ＩＢ	担当者:三浦 紀美代	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この授業では、イギリスを旅する設定で書かれた会話やエッセイを題材にして、スピーキング、リスニング、リーディングを中心に演習を行い、総合的に英語力を伸ばします。また、イギリスを舞台にした映画や映像も使用し、イギリス文化に対する理解も深めます。加えて、フレーズ集を用い、日常生活で使用する英語表現をペアワークでの練習やプレゼンテーションを通して学びます。英語とイギリス文化の学びを通して、広い視野に立ち考える力とすることが目的です。【AL】

授業の到達目標
１．　簡単な日常英会話を理解し、英語で相手とコミュニケーションが取れる (DP)
２．イギリス文化に対する知識を習得し、異文化を尊重し、広い視野に立ち考えることができる(DP)
３．基礎的な英文を読み、聞き、大意を理解することができる

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業準備として、毎回1時間程度、辞書を用いてテキストを予習することが必要です。
毎回、前回の授業で学んだ重要表現の小テストを行うので、1時間程度の音読を含めた復習が必要です。

評価方法
授業への取組意欲２０％　小テストと発表４0％（次回の授業日に全体的または個別に講評を行う）
確認テスト４０％（最終授業時に全体向けにフィードバックを行う）

教科書	参考図書
Let's Check Out the UK! （金星堂）　Active Communication with Phrases （南雲堂）	授業内で紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業には必ず辞書を持参して下さい。連絡先は授業内で開示します。
予習復習を継続していくことで英語の力は伸びていきます。
日頃から英語を聞き、海外ニュースを見るなど異文化に対し意識を向けるようにしましょう。

01	オリエンテーション　/フレーズ⑪
02	Day 9: It's Fun Listening to Different Accents/フレーズ⑫
03	Day 10: Do You Fancy Something Sweet?
04	Day 9,10 復習/フレーズ⑬
05	Day 11: I Guess I Should Have a Black-Cab Experience /フレーズ⑭
06	Day 12: I'm Looking forward to Seeing Wales!
07	Day 11,12復習/フレーズ⑮
08	イギリスの文化/フレーズ⑯
09	Day 13: Don't You Know that UK Designs Are Popular?/フレーズ⑰
10	Day 14: Would You Like to See a Play?
11	Day 13,14 復習 /フレーズ⑱
12	Day 15 That's the Great Thing about Travel! /フレーズ⑲
13	Day 15 復習/フレーズ⑳
14	イギリスの文化/プレゼンテーション
15	まとめと確認テスト
16	なし

2024年度シラバス

科目名:MG1101S07　英会話ＩＡ	担当者:佐分 ジュディス スミス	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
This is a conversation intensive course. Each class students will have to communicate in English with each other and the teacher. Students will be introduced to new vocabulary every week, and topics that relate to the vocabulary. Lessons will be changed to fit the classes needs. 【ＥＮ】

授業の到達目標
The goal of this course is to help develop skills to maintain a basic English conversation. The class will touch on topics that will allow the students to be able to interact in an English-only environment.

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
Students will be required to take quizzes and homework, They will be expected to work in pairs and groups to complete class activities. Homework will include worksheets and topic research. Students will be expected to produce projects

評価方法
Grading scale: Participation ３0%
In class work ２0%
Homework 20%
Quizzes 10%
File 5%
Exam/ Final Project 15%

教科書
This class will use "Out Front" and handouts provided by the instructor.

参考図書
Students will need to prepare the textbook, Out Front. Writing supplies and a binder or flile with clear sheets must be brought to each and every class.We will review every lesson.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Please try to speak in class. Making mistakes is an important part of learning. The schedule may change depending on the class level.

01	Lesson 1 Welcome, Class Introduction / Ice breaker
02	Lesson 2 Unit 1 Meeting people: Vocabulary introduction
03	Lesson 3 Unit 1 Shadowing, listening activities
04	Lesson 4 Unit 1 conversation practice
05	Lesson 5 Unit 1 quiz and review game
06	Lesson 6 Unit 2 Family: Vocabulary introduction
07	Lesson 7 Unit 2 Shadowing and listening activities
08	Lesson 8 Unit 2 conversation practice
09	Lesson 9 Unit 2 quiz and review and games
10	Lesson 10 Unit 3 Hobbies: Vocabulary introduction
11	Lesson 11 Unit 3 Shadowing, listening activities
12	Lesson 12 Unit 3 conversation practice
13	Lesson 13 Unit 3 quiz and review game speaking test practice
14	Lesson 14 Speaking test in pairs
15	Lesson 15 Final class games and review
16	make up if needed

2024年度シラバス

科目名:MG1201S08　英会話ＩＢ	担当者:佐分 ジュディス スミス	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
This is a conversation intensive course. Each class students will have to communicate in English with each other and the teacher. Students will be introduced to new vocabulary every week, and topics that relate to the vocabulary.【ＥＮ】

授業の到達目標
The goal of this course is to help develop skills to maintain a basic English conversation. The class will touch on topics that will allow the students to be able to interact in an English-only environment.

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
Students will be required to take quizzes and turn in homework, They will be expected to work in pairs and groups to complete class activities. Homework will include worksheets and topic research. Students will be expected to produce projects.

評価方法
Grading scale Participation 30%
In class work 20%
Homework 20%
Quizzes 10%
Projects 20%
File 5%
Exam/Project 15%

教科書
Textbook required "Out Front"

参考図書
Out Front textbook is required. Students will need to prepare a binder with at least 30 clear sheets or file. Writing supplies and binder must be brought to each and every class.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Please try to speak in class. Making mistakes is an important part of learning. Schedule may change depending on class level and learning speed.

01	Lesson 1 First Semester Review
02	Lesson 2 Unit 4 Times and Dates Vocabulary Introduction
03	Lesson 3 Unit 4 Times and Dates Shadowing and Listening activities,
04	Lesson 4 Unit 4 Times and Dates time telling practice with handout and quiz
05	Lesson 5 Halloween Topics and project
06	Lesson 6 Halloween presentations
07	Lesson 7 Unit 5 Shopping: Vocabulary Introduction
08	Lesson 8 Unit 5 Shopping: Shadowing and listening activities
09	Lesson 9 Unit 5 Shopping: Conversation Practice
10	Lesson 10 Unit 5 Quiz and Games
11	Lesson 11 Christmas Around the World project introduction
12	Lesson 12 Charismas Around the World project
13	Lesson 13 Christmas presentation and party
14	Lesson 14 New Years topic with worksheets Speaking test Practice
15	Lesson 15 Speaking test
16	make up if needed

科目名:MG1902P01　国内研修	担当者:茶谷 淳一	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期･後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
学生自らが立案したプランにもとづいて現実の社会で様々な人々と交流しながら活動することを通して、普段の学校を中心とした生活では得られない経験をすることで、社会で必要とされる自信、知識や技能を見つけることを目的とします。【AL】

授業の到達目標
①経験や何らかの「力」を身につけ、自分の考えや行動に自信をもつようになる（DP）。②視野が広がり、様々な意見を受け入れることができる。③社会で働くために必要とされる力＝社会人基礎力を向上させ、多様な人びとと協働することができる。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備活動（例えば、研修先の事前調査、研修プランの立案、受け入れ先との交渉、保護者との相談など）、研修、事後活動（研修日誌の整理、研修先への御礼の手紙の作成、レポートの作成、活動報告プレゼンテーションなど）。（4時間）

評価方法
事前に担当者から認められた活動だけが対象となります。準備・事後活動の取組みの様子10%、研修日誌20%、活動報告（レポートと発表）70%　授業内で個別にフィードバックします。

教科書	参考図書
なし	必要に応じて紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
これまでに200人近くの学生が北海道から沖縄までの各地で様々な活動をしました（具体例は随時紹介します）。研修したい学生は「国内研修」の時間に研究室へ相談に来ること。詳細は配布される資料を参照すること。

01	学生が個人の責任の下で行う国内での研修活動のうち、十分な学習経験が得ていると認められる活動を所定の方法で評価し、単位を認めます。詳細は別に配付される資料などで確認すること。（以下、一部抜粋） 1. 国内研修として認められる条件と基準　①研修する課題が明確であること、②事前・事後指導に全て出席すること、③受入機関が明確であること、④期間が合計で実質10日間以上あり、一日あたり3時間以上活動すること、④他の科目の単位認定の対象ではないこと、⑤普段の生活では得られない経験や能力、知識が得られること。 2. 履修 3. 試験はありません。
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2024年度シラバス

科目名:MG1902P02　海外研修	担当者:高谷 邦彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期･後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
「海外研修」は、学生自らが立案した計画にもとづいて、海外で短期の語学学習や文化体験などをする科目である。単位修得には海外での研修を行うとともに、渡航する前の準備となる事前学習や、研修後の課題作成が含まれる。語学力だけでなく、目的に向かって着実に努力を続けられる行動力や、より広い視野に立って物事を考えていくことができる思考力を身につける。【ＡＬ】

授業の到達目標
(1)　語学力の向上：自分の学びたい外国語が使われている環境で生活し、語学力を向上させる。
(2)　異文化の体験：文化や生活習慣の違いを現地で体験することで、視野を広げる／多様な価値観を知る／行動力を伸ばす、など将来につながる貴重な経験を得る（DP）。
(3)　事前学習、事後報告の重要性を学ぶ：単なる旅行とは異なる、計画や事前学習などの重要性についても学ぶ。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎主体的・協働的行動力
◎より広い視野に立って、物事を考えていくことができる思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
ツアーや航空券の手配、旅券の取得、保険の申請、現地通貨や支払い手段の準備などについて、担当教員は情報提供や助言などのサポートをしますが、最終的な手続きは受講生個人で行います。
渡航先の情勢や為替レートなどは、ニュースなどを見て、継続的に把握しておくこと（毎週60分程度）。

評価方法
学生個人による海外での研修的な活動で、現代教養学科が定める基準に従い、十分な学習経験と認められる活動に対し、単位を認める。
事前学習の参加状況（20%）、研修日誌と研修先からの評価（70%）、報告レポート（10%）をもとに評価する。
フィードバックはTeamsで行う。

教科書	参考図書
特になし	必要に応じて指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
時間割に記載されている時間以外にも随時相談に応じますので、担当者の研究室を訪問するか、Teams・LINE・メール等で連絡をしてください。

01	(事前学習) ① 担当教員によるガイダンスに出席し、研修計画立案に必要な条件等を理解する。 ② 研修国・地域、研修課題、実施計画・内容等を所定の書式で提出し、担当教員の許可を得て、事前指導を受ける。 (研修活動中) ③ 研修課題を達成するために必要な活動を行う。 ④ 活動日誌を記録する。 (事後学習) ⑤ 指定された期日までに研修日誌と報告レポートを提出する。 ⑥ 科目「海外研修」を履修登録し、単位の認定を申し出る。
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:MG1102P03　ＮＰＯインターンシップＡ	担当者:辻 広志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　この科目では、夏期休暇にNPOを含む非営利組織の現場で5日間の研修（インターンシップ）をおこないます。
　NPOなど非営利組織は、地域や社会を改善するために多岐に渡る分野で社会貢献活動をする団体です。その団体にインターンシップとして参加し、NPO・非営利組織の現場で研修を受けることで、何が社会や地域の問題であるのか理解し、その解決方法を周囲の人々と一緒に考える力を実践的に養います。【AL】

授業の到達目標
　インターシップを通じて、市民活動の取り組みとその社会的な役割を理解します。5日間の研修で得られた体験が将来の地域活動やキャリア形成に役立つことを目標としています。普段から地域社会や暮らす人びとの生活などに関する情報を積極的に収集し、自分にできる活動や地域の未来を考えられるようになることを目指します。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
【準備学修】NPOに関する情報収集と学習、事前学修レポートの提出（1000字程度）、各書類提出
【事後学習】研修日誌の提出、事後学修レポートの提出（1000字程度）
※提出物は期限厳守

評価方法
　事前・事後レポート、研修の取り組み姿勢、研修先の評価を踏まえて総合的に評価をします。（研修日誌やレポート50%・研修先評価30%・取り組み姿勢20%）

教科書	参考図書
なし	適宜紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
○研修は学外で行うため、安全確保と体調管理に特に注意しましょう。
○時間厳守は社会における基本的なマナーです。真面目に取り組むことが自身の成長につながりますので、研修期間中は積極的な姿勢で取り組んでください。

01	①NPOインターシップAの説明会 １．NPOを含む非営利組織の理解を深める ２．活動内容を理解する ３．研修先と研修内容とスケジュールの確認と調整 ②選別　希望者が多い場合は選別を行うことがある ③事前指導　事前レポート等の提出物は、締め切り厳守 ④実施期間　夏期（5日間） ⑤研修内容　受け入れ先の指示に従う ⑥事後指導　研修日誌の確認と提出／事後レポート等の提出物は締め切り厳守のこと。 諸注意 ※交通費や昼食代が必要です。また、実習先は愛知県内を考えています。
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2024年度シラバス

科目名:MG1102P04　ＮＰＯインターンシップＢ	担当者:辻 広志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　この科目では、春期休暇にNPOを含む非営利組織の現場で5日間の研修（インターンシップ）をおこないます。
　NPOなど非営利組織は、地域や社会を改善するために多岐に渡る分野で社会貢献活動をする団体です。その団体にインターンシップとして参加し、NPO・非営利組織の現場で研修を受けることで、何が社会や地域の問題であるのか理解し、その解決方法を周囲の人々と一緒に考える力を実践的に養います。【AL】

授業の到達目標
　インターシップを通じて、市民活動の取り組みとその社会的な役割を理解します。5日間の研修で得られた体験が将来の地域活動やキャリア形成に役立つことを目標としています。普段から地域社会や暮らす人びとの生活などに関する情報を積極的に収集し、自分にできる活動や地域の未来を考えられるようになることを目指します。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
【準備学修】NPOに関する情報収集と学習、事前学修レポートの提出（1000字程度）、各書類提出
【事後学習】研修日誌の提出、事後学修レポートの提出（1000字程度）
※提出物は期限厳守

評価方法
事前・事後レポート、研修の取り組み姿勢、研修先の評価を踏まえて総合的に評価をします。
（研修日誌やレポート50％・研修先評価30％・取り組み姿勢20％）

教科書	参考図書
なし	適宜紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
○研修は学外で行うため、安全確保と体調管理に特に注意しましょう。
○時間厳守は社会における基本的なマナーです。真面目に取り組むことが自身の成長につながりますので、研修期間中は積極的な姿勢で取り組んでください。

01	①NPOインターンシップBの説明会 １．NPOを含む非営利組織の理解を深める ２．活動内容を理解する ３．研修先と研修内容とスケジュールの確認と調整 ②選別　希望者が多い場合は選別を行うことがある ③事前指導　事前レポート等の提出物は、締め切り厳守 ④実施期間　春期休暇（5日間） ⑤研修内容　受け入れ先の指示に従う ⑥事後指導　研修日誌の確認と提出／事後レポート等の提出物は締め切り厳守のこと。 諸注意 ※交通費や昼食代が必要です。また、実習先は愛知県内を考えています。
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:MG1902P05　企業インターンシップＳ	担当者:茶谷 淳一、高谷 邦彦、辻 広志、綾部 六郎、山下 玲香、小出 祥子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期･後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　大学が協定を結んでいる学外の企業や事業所にて、実際の事務などの仕事を研修生として体験する。研修先での研修だけでなく、事前の説明会やガイダンスなどへの出席、事前訪問および研修終了後の振り返りも単位取得の要件である。希望人数が多い場合には大学による選考が行われる。
　なお、「企業インターンシップS」は1週間程度の研修を対象とする。【AL】

授業の到達目標
　企業や事業所、店舗などでの仕事のイメージを体得するとともに、実際の職場で働くのに必要となる技能、知識、心構えなどを理解して、その後の学習に取り入れていく。
　また、学外での実社会の方との関わりの中で、社会人として必要になるコミュニケーション力や情況把握力、責任感などを養う（GDP１，４）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力…GDP1
◎主体的・協働的行動力…GDP4

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　説明会は他のインターンシップと合同で開催される場合もあり、昼休みなどに実施されるので、掲示版の案内を見て確認すること。履歴書などの書類の提出や、場合によっては事前訪問なども必要になる。
　研習中は現場の職員の方と同様の責任感および緊張感のある行動が求められる。そのために礼儀作法や身だしなみ、一般常識、コミュニケーション能力などについて、普段から(日常的に)意識を高めておく必要がある。訪問前には必ずキャリアデザインⅠなどの授業内容をしっかりと振り返ること（資料の見直し：約2時間、礼儀作法の実技練習：約1時間）。

評価方法
　研修日誌と研修レポートをもとにした研修内容と研修成果（60%）、研習先の評価と事前事後の指導をもとにした研修態度（40%)という割合で評価する。提出された日誌に講評を記載する、あるいは研修が完了した段階で個別にフィードバックを行う。

教科書 ガイダンスなどで適宜指示する。	参考図書 『就職ガイドブック』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
通常の授業科目とは、履修登録の時期や方法が異なるので注意すること。
学生課が窓口となり、緊急の通知などもあるので、メールなどで迅速に連絡ができるようにしておくこと。

01	以下の事前指導、研修、事後指導から構成される。 事前指導：（7時間） （1）研修先や研修概要に関する説明会 （2）希望人数によっては選考 （3）研修先ごとのガイダンス （4）研修先の事前訪問 研修：（50時間） （1）前期は夏季休業、後期は春季休業中に各自の研修実施先にて研修を行う。 （2）研修内容は、研習先によって異なる。基本的に研修者のために用意されたプログラムに従って研修を行い、 実施先での担当者による指導を受ける。 事後指導：（3時）
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:MG1902P06　企業インターンシップＬ	担当者:茶谷 淳一、高谷 邦彦、辻 広志、綾部 六郎、山下 玲香、小出 祥子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期･後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　大学が協定を結んでいる学外の企業や事業所にて、実際の事務などの仕事を研修生として体験する。研修先での研修だけでなく、事前の説明会やガイダンスなどへの出席、事前訪問および研修終了後の振り返りも単位取得の要件である。希望人数が多い場合には大学による選考が行われる。
　なお、「企業インターンシップL」は2週間程度の研修を対象とする。【AL】

授業の到達目標
　企業や事業所、店舗などでの仕事のイメージを体得するとともに、実際の職場で働くのに必要となる技能、知識、心構えなどを理解して、その後の学習に取り入れていく。
　また、学外での実社会の方との関わりの中で、社会人として必要になるコミュニケーション力や情況把握力、責任感などを養う（GDP１，４）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力…GDP１
◎主体的・協働的行動力…GDP４

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　説明会は他のインターンシップと合同で開催される場合もあり、昼休みなどに実施されるので、掲示版の案内を見て確認すること。履歴書などの書類の提出や、場合によっては事前訪問なども必要になる。
　研習中は現場の職員の方と同様の責任感および緊張感のある行動が求められる。そのために礼儀作法や身だしなみ、一般常識、コミュニケーション能力などについて、普段から(日常的に)意識を高めておく必要がある。
・キャリアデザインなどで配布された資料の復習…約1時間
・礼儀作法などのマナーの実技練習…約1時間
・訪問先の情報収集…約2時間

評価方法
　研修日誌と研修レポートをもとにした研修内容と研修成果（60%)、研習先の評価と事前事後の指導をもとにした研修態度（40%)、という割合で評価する。なお、フィードバックは研修終了後に紙面または口頭で行う。

教科書	参考図書
ガイダンスなどで適宜指示する。	『就職ガイドブック』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
通常の授業科目とは、履修登録の時期や方法が異なるので注意すること。
学生課が窓口となり、緊急の通知などもあるので、メールなどで迅速に連絡ができるようにしておくこと。

01	以下の事前指導、研修、事後指導から構成される。 事前指導：（7時間） (1) 研修先や研修概要に関する説明会 (2) 希望人数によっては選考 (3) 研修先ごとのガイダンス (4) 研修先の事前訪問 研修：（50時間） (1) 前期は夏季休業、後期は春季休業中に各自の研修実施先にて研修を行う。 (2) 研修内容は、研習先によって異なる。基本的に研修者のために用意されたプログラムに従って研修を行い、 実施先での担当者による指導を受ける。 事後指導：（3時
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:MG1902P07　病院インターンシップＳ	担当者:茶谷 淳一、高谷 邦彦、辻 広志、綾部 六郎、山下 玲香、小出 祥子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期･後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　大学の提携した病院や医療機関にて、実際の事務や受付などの仕事を研修生として体験する。
　また、それに関して必要となる事前の準備や、研修終了後の振り返りを行う。研習先での研修だけでなく、事前の説明会やガイダンスなどへの出席、事前訪問も授業に含まれる。「病院インターンシップS」は1週間程度の研修を対象とする。
　なお、希望人数が多い場合には大学による選考が行われる。【AL】

授業の到達目標
　病院や医療機関での仕事のイメージを体得するとともに、病院や医療機関などで働くのに必要となる技能、知識、心構えなどを理解して、その後の学習に取り入れていく。
　また、学外での実社会の方との関わりの中で、社会人として必要になるコミュニケーション力や情況把握力、責任感などを養う（DP）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力【GDP1】
◎主体的・協働的行動力【GDP4】

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　説明会は他のインターンシップと合同で開催される場合もあり、昼休みなどに実施されるので、掲示版の案内を見て確認すること。履歴書などの書類の提出や、場合によっては事前訪問なども必要になる。
　研修中は現場の職員や医療従事者の方と同じく責任感および緊張感のある行動が求められる。そのために礼儀作法や身だしなみ、一般常識、コミュニケーション能力などについて、普段から(日常的に)意識を高めておく必要がある。訪問前には必ずキャリアデザインⅠなどの授業内容をしっかりと振り返ること（資料の見直し：約2時間、礼儀作法の実技練習：約1時間）。

評価方法
　研修日誌と研修レポートをもとにした研修内容と研修成果（60%）、研習先の評価と事前事後の指導をもとにした研修態度（40%)という割合で評価する。提出された日誌等に講評を行う。または研修完了後に個別にフィードバックをする。

教科書	参考図書
ガイダンスや事前指導で適宜指示する。	『就職ガイドブック』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
通常の授業科目とは、履修登録の時期や方法が異なるので、注意する。
学生課が窓口となり、緊急の通知などもあるので、メールなどで迅速に連絡ができるようにしておくこと。

01	以下の事前指導、研修、事後指導から構成される。 事前指導：（7時間） (1) 研修先や研修概要に関する説明会 (2) 希望人数によっては選考 (3) 研修先ごとのガイダンス (4) 研修先の事前訪問 研修：（50時間） (1) 前期は夏季休業、後期は春季休業中に各自の研修実施先にて研修を行う。 (2) 研修内容は、実習先によって異なる。基本的に研修者のために用意されたプログラムに従って研修を行い、 実施先での担当者による指導を受ける。 事後指導：（3時間）
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:MG1902P08　病院インターンシップＬ	担当者:茶谷 淳一、高谷 邦彦、辻 広志、綾部 六郎、山下 玲香、小出 祥子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期･後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　大学の提携した病院や医療機関にて、実際の事務や受付などの仕事を研修生として体験する。
　また、それに関して必要となる事前の準備や、研修終了後の振り返りを行う。研習先での研修だけでなく、事前の説明会やガイダンスなどへの出席、事前訪問も授業に含まれる。「病院インターンシップL」は2週間程度の研修を対象とする。
　なお、希望人数が多い場合には大学による選考が行われる。【AL】

授業の到達目標
　病院や医療機関での仕事のイメージを体得するとともに、病院や医療機関などで働くのに必要となる技能、知識、心構えなどを理解して、その後の学習に取り入れていく。
　また、学外での実社会の方との関わりの中で、社会人として必要になるコミュニケーション力や情況把握力、責任感などを養う（DP）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力【GDP1】
◎主体的・協働的行動力【GDP4】

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　説明会は他のインターンシップと合同で開催される場合もあり、昼休みなどに実施されるので、掲示版の案内を見て確認すること。履歴書などの書類の提出や、場合によっては事前訪問なども必要になる。
　研習中は現場の職員や医療従事者の方と同じく責任感および緊張感のある行動が必要になる。そのために礼儀作法や身だしなみ、一般常識、コミュニケーション能力などについて、普段から(日常的に)意識を高めておく必要がある。訪問前には必ずキャリアデザインⅠなどの授業内容をしっかりと振り返ること（資料の見直し：約2時間、礼儀作法の実技練習：約1時間）。

評価方法
　研修日誌と研修レポートをもとにした研修内容と研修成果（60%）、実習先の評価と事前事後の指導をもとにした研修態度（40%)という割合で評価する。日誌等に講評をする。または、研修終了後に個別にフィードバックを行う。

教科書 ガイダンスなどで適宜指示する。	参考図書 『就職ガイドブック』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
通常の授業科目とは、履修登録の時期や方法が異なるので、注意する。
学生課が窓口となり、緊急の通知などもあるので、メールなどで迅速に連絡ができるようにしておくこと。

01	以下の事前指導、研修、事後指導から構成される。 事前指導：（7時間） （1）研修先や研修概要に関する説明会 （2）希望人数によっては選考 （3）研修先ごとのガイダンス （4）研修先の事前訪問 研修：（110時間） （1）前期は夏季休業、後期は春季休業中に各自の研修実施先にて研修を行う。 （2）研修内容は、実習先によって異なる。基本的に研修者のために用意されたプログラムに従って研修を行い、 実施先での担当者による指導を受ける。 事後指導：（3時間）
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:MG1902P09　ホテルインターンシップ	担当者:茶谷 淳一、高谷 邦彦、辻 広志、綾部 六郎、山下 玲香、小出 祥子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　大学の提携したホテルや旅館にて、接客の業務や、関連する現場の管理、事務、行事運営などの仕事を研修生として体験する。研修先での研修だけでなく、事前の説明会やガイダンスなどへの出席、事前訪問、および研修終了後の振り返りも授業に含まれる。【AL】

授業の到達目標
　接客やホスピタリティに関する仕事のイメージを体得する。将来ホテル等で働くために必要となる技能、知識、心構えなどを理解して、その後の学習に取り入れていく。
　また、学外での実社会の方との関わりの中で、社会人として必要になるコミュニケーション力や情況把握力、責任感などを養う（GDP１、４）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力…GDP１
◎主体的・協働的行動力…GDP４

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　説明会は他のインターンシップと合同で開催される場合もあり、昼休みなどに実施されるので、掲示版の案内を見て確認すること。履歴書などの書類の提出や、場合によっては事前訪問なども必要になる。
　研修中は現場の職員やスタッフの方と同様の責任感および緊張感のある行動が求められる。そのために礼儀作法や身だしなみ、一般常識、コミュニケーション能力などについて、普段から(日常的に)意識を高めておく必要がある。

評価方法
　研修日誌と研修レポートをもとにした研修内容と研修成果（60%)、研習先の評価と事前事後の指導をもとにした研修態度(40%)という割合で評価する。

教科書	参考図書
ガイダンスなどで適宜指示する。	『就職ガイドブック』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
通常の授業科目とは、履修登録の時期や方法が異なるので注意すること。
学生課が窓口となり、緊急の通知などもあるので、メールなどで迅速に連絡ができるようにしておくこと。

01	以下の事前指導、研修、事後指導から構成される。 事前指導：（7時間） (1) 研修先や研修概要に関する説明会 (2) 希望人数によっては選考 (3) 研修先ごとのガイダンス (4) 研修先の事前訪問 研修：（110時間） (1) 前期は夏季休業、後期は春季休業中に各自の研修実施先にて研修を行う。 (2) 研修内容は、実習先によって異なる。基本的に研修者のために用意されたプログラムに従って研修を行い、 実施先での担当者による指導を受ける。 事後指導：（3
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:MG9903Z01　キャリア支援	担当者:山下 玲香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期･後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	8
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　本科目は資格の取得や検定の合格に対して単位を認定する形態の科目です。この科目を活用して、自分自身の成長やスキルアップにつながる資格や検定にチャレンジし、将来の視野や展望を広げてください。
　なお、単位の認定対象となるのは、原則として大学在学中に取得・合格した資格・検定になります。

授業の到達目標
１．社会人基礎力を向上させる資格・検定などの取得を目指すことで、高度な教養を広く身につける。
２．各種の資格・検定などを取得することで卒業後の進路の幅を広げる。
３．将来の職業に関連したスキルアップを目指すことで、高度職業人としての知識・技能の修得を目指す。

【到達目標と深く関連する学科DP】GDP2

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　指定された資格・検定を取得するためには、十分な学習時間が必要となります。
　資格・検定によっては、本学で対策のための授業や内容的に関連している授業が開講されていますので、活用してください。また、参考書、問題集、過去問などの資料が図書館や教員の研究室に用意されている場合もあるので、活用してください。
　単位認定が可能な資格・検定などについては、変更や更新が適宜なされるので、その都度確認してください。

評価方法
　指定された資格・検定などの合格証を根拠にして、その難易度に応じた単位数の認定をします。認定の上限は8単位までです。

教科書	参考図書
なし	なし

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　申請の時期は11月と翌年1～2月の2回になります。掲示などで案内されるので、合格証書などの必要書類を用意しておいてください。

01	以下の要件などを確認のうえ、申請してください。 ・別に掲示する本学入学後に取得した検定・資格を対象に所定の単位を認定しますが、特定の条件を満たしている場合、入学前に取得した資格などであっても認定できる場合がありますので、教務課で相談してください。 ・同一日に級位の異なる資格検定を受験して合格した場合は、上位の級位のみを単位として認定します。 ・申請にあたっては、所定の用紙に資格など取得の事実を証明する書類のコピーなどを添えて、教務課へ提出してください。
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	